

国立

# 高知大学 2017 大学案内

人文社会科学部

教育学部

理工学部  
(仮称)

医学部

農林海洋科学部

地域協働学部

土佐さきがけ  
プログラム





# まだ見ぬ自分と出会う旅。



高知大学 学長

星野 宏

高知大学を目指している受験生の皆さん、私たち教職員一同は、皆さんの入学を心からお待ちしております。

土佐は南に太平洋を臨み、北に四国山地を背負う風光明媚で人情味豊かな国です。空は冬も青く、海は碧く水平線は丸みを帯び、壮大な気宇を涵養する風土が維新の志士を多数輩出したように、太平洋から打ち寄せる碧波は皆さんの胸を打ち、心を揺さぶることでしょう。

国立大学で学ぶことは、リーダー候補生を目指すことでもあります。今、この国が求めているリーダー候補生は、広い視野と顕微的解析力を併せ持つ鳥瞰力をもって時代の先を見つめ、自律的・能動的に学び、危機を好機chanceと捉え、失敗を恐れず失敗から学び、自己改革changeと挑戦challengeを継続し、周囲の人々との協力collaborationで課題を解決し、その成果createを社会に還元する実行力そして内省的批判力を備えた若者です。

土佐の風土は、そのような人材を育む要素を備えております。高知大学は次代のリーダー育成を見据えて全学的教育組織改革を推し進めており、地域創生ひいては我が国の持続可能社会の実現を牽引する国立大学として、国際社会に通用する教育研究を推進し、進化し続けております。

この高知大学で皆さん自身ならびにこの社会の未来図を描き、それを具現化するために、私たちと共に学び成長しましょう。

## 歴史深い高知大学。



旧制高知高等学校の学生(高知城のすべり山にて)

旧制高知高等学校や高知師範学校、高知青年師範学校を前身とする高知大学は、平成15年に旧高知医科大学と統合、平成16年に法人化し、現在の高知大学となっています。

長い歴史と伝統を誇り、自由・闊達・情熱の教育風土から幾多の優れた人材を輩出してきました。



# 高知大学進化中

## 時代を一步さきどりする「学び」へ

時流に惑わされず、一步先を考え、展望し、行動をおこす力を育むための、人文科学と社会科学に基づく新たな「学び」へ。

### ▶ 人文社会科学部

11ページへ

## すべての“先生になりたい人”のために

小学校の先生、中学校の先生、幼稚園・保育園の先生。  
教育学部は先生になりたい人のためにパワーアップしました。

### ▶ 教育学部

17ページへ

## 基礎理学から工学的な応用まで学ぶ

理学部は、理学をベースに新たに実用を重視する工学も学べる「理工学部(仮称)」となり、防災に関する学科も新設する予定です。

### ▶ 理工学部(仮称)

23ページへ

## 地域に、世界に役立つ人になる

参加型臨床実習を充実化するとともに、地域医療と先端医療開発研究の現場でアクティブラーニングの環境を進化させています。

### ▶ 医学部

29ページへ

## 「海」に関する教育・研究が深化

農林海洋科学部は、新たに海洋資源について深く学べる学科が加わり、山から海の底まで学びのフィールドが広がりました。

### ▶ 農林海洋科学部

35ページへ

## 「地域協働学部」がスタート

平成27年に全国にさきがけて地域の課題を解決する人材を育成する学部が誕生し、県内各地で地域と協働した活動が進んでいます。

### ▶ 地域協働学部

41ページへ

## 関連する分野を領域横断的に学ぶ!

平成24年から始まった土佐さきがけプログラム。学部を越えた教育プログラムで学んだ卒業生が国内外へ飛び立ち始めました。

### ▶ 土佐さきがけプログラム

45ページへ

## INDEX

学びの構造	05
共通教育	07
▶ 各学部の情報や特徴は?	
学部紹介	
人文社会科学部	11
教育学部	17
理工学部(仮称)	23
医学部	29
農林海洋科学部	35
地域協働学部	41
土佐さきがけプログラム	45
時間割例	49
卒業論文テーマ例	51
教員紹介	53

▶ もっと学びたい時は?	
大学院	59
国際交流	61
▶ 学びの設備や環境は?	
教育研究施設	64

▶ 大学生生活について詳しく知りたい!	
キャンパスライフ	
高知県の紹介	68
学生生活	69
サークル活動	71
朝倉キャンパス	73
岡豊キャンパス	75
物部キャンパス	77
入学科・授業料・奨学金制度	79

▶ 就職に関する情報	
就職活動支援	81
▶ 入試に関する情報	
入試データ	85
入試Q&A	89
オープンキャンパス	90

※学生の学年表記は、平成27年度時点です



# 自然と共に生きる“文化”から学ぶ。

高知県の北部は標高約2000メートル、亜寒帯の気候を持つ山岳地帯から、南は室戸・足摺の亜熱帯植物が生い茂る海岸まで、多様で美しく、また厳しい自然に囲まれています。この自然を形づくっている原動力が南海トラフに沈み込むフィリピン海プレートの動きです。そのスピードは一年にわずか6センチメートル。この動きが、百年に一度大地震を引き起こしてきました。こうした自然の営みは、地球上に人間が文明を築くはるか昔より当たり前に繰り返されてきたものです。しかし、便利で快適な現代生活を送っている私たちは、ついそのことを忘れてしまいがちです。地震から身を守るためには、揺れに強い建物に住む、不用意に重い家具を居室に置かないなど、日頃の生活を見直してみることが大事です。

自然の恵みを享受しながら、自然と寄り添って生きていく。今も自然が豊かに残る地域に暮らす人々は、そうやって生命をつないできました。高知県内の多くの地域は、自然に寄り添う“文化”を継承してきた歴史があります。「自然」を学びながら「命」を守り、次世代に継承する「知恵」を学んで行きましょう。



岡村 眞 特任教授

防災推進センター(理工学部(仮称)担当)

内閣府「南海トラフの巨大地震モデル  
検討有識者会議」委員

文部科学省「南海トラフ巨大地震運動性評価  
研究推進委員会」委員

高知県「南海地震対応アドバイザー」

## 高知大学では、防災に関して、このような取組を行っています。

### ▶ 大学全体の取組

高知大学の建物の耐震化率は平成26年度に100%を達成。朝倉・岡豊・物部の各キャンパスに備蓄庫を設けて、食料品・水など避難に必要なものを備蓄しています。ソフト面では、全学生・教職員を対象とする安否確認システムを採用し、避難訓練時に試行することで「その時」に備えています。また、入学式では新入生・保護者を対象とした講演「南海地震に備えて」を行うなど、防災意識の啓発活動にも取り組んでいます。

### ▶ 朝倉キャンパスでの取組

高知市西部に位置する朝倉キャンパスは、津波による浸水被害は想定されておらず、陸上競技場が避難場所となっています。北体育館等複数の学内施設が高知市の指定避難所となっており、学生・教職員はもとより近隣住民が避難してくることも想定されています。有事に何よりも大きな力を発揮するのが人と人とのつながりであると考え、日頃から周辺住民との連携を深めています。

### ▶ 岡豊キャンパスでの取組

災害拠点病院に指定されている医学部附属病院がある岡豊キャンパスは、災害医療の拠点であると同時に、災害救助関係者の参集拠点・活動拠点となるため、外部機関と連携した各種訓練を繰り返し実施しています。学生を対象とした訓練としては、「生存率100%」を合言葉に、東日本大震災の教訓から、発生しうるあらゆる事項を想定したシナリオのもと、避難訓練や救助訓練、情報伝達訓練などを毎年実施しています。

### ▶ 物部キャンパスでの取組

高知龍馬空港の近くに位置する物部キャンパスは、千年に一度と言われる巨大地震により引き起こされる津波では周辺地域が浸水するとの想定から、建物の3階以上が一次避難場所となっています。避難訓練の際には、最新の防災知識などを学ぶ勉強会を学生及び地域の方々に対して実施しており、災害発生直後からの時間経過の中で自分たちが何をすべきか、何ができるかという視点を持って対策に取り組んでいます。



# 県都 高知市で学ぶ。



五台山から高知市市街地を望む

大学生にとって“都市で学ぶ”ことは様々な意義があります。特に県都・高知市は多くの企業が立地し、ヒト・モノが集中します。高知大生にとって街は至近距離。大学を飛び出し、社会調査に出掛けたり、時には友人と街に繰り出してリフレッシュするなど、都市立地の利点を大いに生かしています。



高知市の中心商店街 帯屋町



日曜市



高知有数の観光名所・桂浜



はりまや橋付近



高知名物 路面電車



# 学びの構造

1年

2年

3年

4年

※医学部医学科は6年

## 共通教育

- 初年次科目
  - 大学基礎論
  - 学問基礎論
  - 大学英語入門
  - 英会話
  - 情報処理
  - 課題探求実践セミナー
- 教養科目
  - 人文分野
  - 社会分野
  - 生命・医療分野
  - 自然分野
  - 外国語分野
  - キャリア形成支援分野

### 学びのポイント

人間と世界についてしっかりとした考え方をつくり上げ、自律的な能力の基盤を形成します。講義形式から体験型まで多様なテーマが用意されており、実践の中で自分の幅を広げながら、専門教育へのプロセスを踏んでいきます。

### どんな力を身につけるのか

論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる力や、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる力を育みます。

## 専門教育

### 分野のキーワード

- 人文科学
- 社会科学
- 異文化間理解
- グローバル社会
- 現代社会
- 社会制度

P.11

- 幼児教育と乳幼児保育
- 教育学と心理学、理論と実践
- 各教科の高度な内容理解と指導法
- 芸術・スポーツの高度な実技と指導法
- 科学技術の面白さ・魅力

P.17

- 科学の基礎法則
- 数学的思考力・英語力・情報処理能力
- コンピュータ、情報理論
- 資源、エネルギー、レアメタル
- 生物の多様性、環境、生命現象、古生物
- 防災、南海地震

P.23

- 生命と健康を守る
- 身体、精神の苦しみやを和らげる
- 病気、負傷などに対する治療を行う
- 身体機能の改善を助ける
- 健康への悪影響、病気を減らす
- 病気、身体、生命の仕組みを解明する

P.29

- 人と自然が共生する社会へ
- 生命の源、水と森を守る
- 海に資源の可能性を探る
- 食から始まる健全な暮らしと環境
- 化学で生命活動を解き明かす
- 循環型・持続型の地球社会を目指す

P.35

- 地域協働による地域産業振興
- 高知のうみ・やま・むら・まちがフィールド
- 大学での学びと地域での実践の往復
- 6次産業化による農山漁村の発展
- コミュニティビジネスによる地域生活の維持
- 官民協働による地域政策

P.41

- 化学、環境、資源
- 語学力と異文化理解で国際貢献
- 生命と環境を守る社会のリーダー
- スポーツ科学で地域に貢献する

P.45

### 学科/課程/コース

人文科学コース

人文社会科学科 国際社会コース

社会科学コース

幼児教育コース

教育学コース

教科教育コース

学校教育教員養成課程

国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育、保健体育教育の各コース

科学技術教育コース

特別支援教育コース

数学コース

物理科学コース

数学物理学科

情報科学科

生物科学科

化学生命理工学科

地球環境防災学科

医学科

看護学科

農林資源環境科学科

暖地農学領域

自然環境学領域

森林科学領域

生産環境管理学領域

農芸化学科

海洋資源科学科

海洋生物生産学コース

海底資源環境学コース

海洋生命科学コース

地域協働学科

グリーンサイエンス人材育成コース(化学スペシャリスト育成コース)

国際人材育成コース

生命・環境人材育成コース

スポーツ人材育成コース

人文社会科学部

教育学部

理工学部  
(仮称)

医学部

農林海洋科学部

地域協働学部

土佐さきがけプログラム



卒業

どんな力を身につけるのか

- 幅広い教養
  - 人文・社会科学に関する専門的知識
  - 国際化への対応に求められる知識や語学力
  - 現代社会並びに地域社会に対する深い洞察力
  - 教養や知識に裏付けされた主体的判断力
  - 「知」を総動員した問題解決へ向けての姿勢
- 
- 幼児教育および乳幼児保育における高度な専門性と研究・実践力
  - 多様で複雑な教育課題を読み解き、よりよい未来を切り開く力
  - 各教科についての豊かな知識と教育実践力
  - 音楽・美術・体育の高度な実技能力と指導力
  - 知的好奇心と探究心を高め、科学的思考・技術に結実させる力
  - 子どもの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力
- 
- 基礎的専門的数学教育による論理的思考能力
  - 主体的な学びによる課題探求能力・問題解決能力
  - 創造力、行動力、柔軟思考と考え抜く力
  - 自然現象を数理的に記述し、分析する能力
  - 多様な生物の諸現象とその歴史を正しく理解する力
  - 野外調査能力、自然観察力、多くの情報を総合して判断する力
- 
- 医師・看護師などの基礎知識、基本技能
  - 患者さんや家族に共感し、意思を通じ合う能力
  - 医療スタッフとともに医療を行う協働能力
  - 自ら問題を見出し、解決に向かう意思と能力
  - 生命、個人を尊重する倫理観、使命感
  - 使命を達成するための自己管理能力
- 
- 現場体験に基づいた“ものづくり”の力
  - 生態系をミクロから地球規模まで総合的に理解する力
  - 環境との調和のもと資源の生産・利用を考えていく力
  - 生命のメカニズムを知り、実用技術に結びつける力
  - 自然環境と人をつなぐ技術やシステムを創造する力
  - 食料・人口・資源問題の調和的解決方法を探る力
- 
- 複雑で多様な地域の特性を理解する力
  - 地域資源を開発・活用するための企画を立案する力
  - 人や組織の協働を作り出し、その活動を促進する力
- 
- 環境・資源問題を解決できる世界レベルの知識や技術力
  - 高い国際コミュニケーション力と相互理解を目指す力
  - 生命科学と環境保全に役立つ研究力と教育力
  - スポーツの科学的諸知識と高い競技力、指導力

進路

進学 → P.59

大学院（総合人間自然科学研究科）

- 修士課程
- 人文社会科学
  - 教育学
  - 理学
  - 医科学
  - 看護学
  - 農学
- 博士課程
- 応用自然科学
  - 医学
  - 黒潮圏総合科学

学びのポイント

専門分野はもちろん、近接分野や異分野も修得できる領域横断型の学びで、専門性を深めると同時に、幅広い素養や視点を養います。

愛媛大学大学院  
連合農学研究科

愛媛大学大学院連合農学研究科は、愛媛大学、高知大学、香川大学の農学研究科が連合し、協力して開設した後期3年だけの博士課程です。

就職 → P.81

主な職業イメージ

- 新聞社、テレビ局、中学校教員(国語、英語、社会)、高等学校教員(国語、英語、公民、地歴、商業)、日本語教員、公務員、銀行、保険業、旅行代理店、航空、流通、教育関連、情報通信業、サービス業など
- 小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、幼稚園教員、公務員、教育関連の企業、文化施設・スポーツ施設・福祉厚生施設の指導員、衣食住・情報関連の企業など
- 教育・学習支援業、情報通信業、製造業、学術研究、専門・技術サービス業、金融業、保険業、卸売業、小売業、公務員、教員、運輸業、郵便業など
- 医学科: 病院・診療所などの医師、医学・生命科学の研究者・教育者  
看護学科: 看護師、保健師、助産師、看護学の研究者・教育者  
共通: 国、地方自治体、団体、企業、国際機関等の専門職など
- 試験研究機関、公務員、教員、民間企業(食品、バイオ、医薬品、種苗、農薬、農業機械、魚介類養殖、木材、測量、設計、土木、水処理、情報、環境アセスメント)、各種コンサルタント(環境科学・土木建設系など)、各種団体(農・林・水産系)、JICA、青年海外協力隊など
- 県・市町村職員、県地域支援企画員、地場産業社員、商工会職員、グラフィックデザイナー、金融機関社員、NPO職員、社会福祉協議会職員、地域おこし協力隊、グリーンツーリズム起業家、地産外商農家、コミュニティデザイナー、マスコミなど
- 民間企業開発部門、公的研究機関
- 国際企業、国連、NGO
- 行政や企業の研究・技術・教育者
- スポーツ振興に関わる指導者や審判員





## 共通教育 General Education

# 目指すのは自律型人材

今、社会は「自律型人材」を求めています。

「自律型人材」とは、「社会や組織の中で自らが考えて判断し、行動できる人」です。具体的には、論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる人、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる人、といえるでしょう。

自律性獲得への第一歩は他者との交流や学問との出会いを通じて自分を知ること、つまり「気づき」から始まります。気づきは学びや成長への「意欲」をもたらし、意欲は「行動力」へとつながっていきます。

高知大学では、この自律へのステップをできるだけ早い段階で踏み出せるよう独自の共通教育を導入し、学生の育ちをサポートしています。

## 教育課程の全体像

共通教育は「初年次科目」「教養科目」の2つの科目群で構成されています。共通教育で自律的な力を育みながら、それを基盤に各学部における「専門科目」を学修していきます。

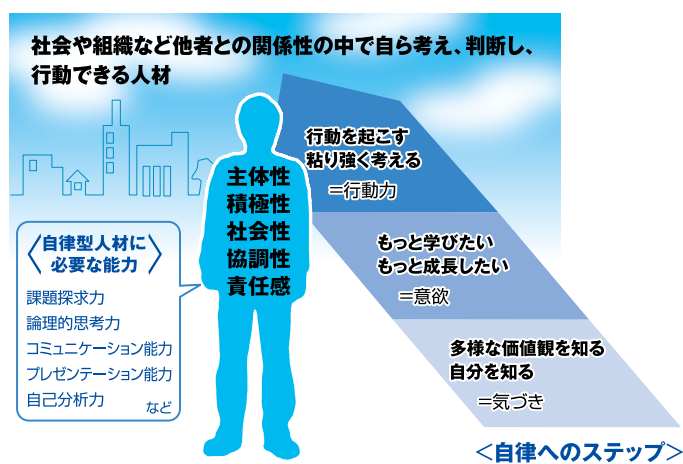
## 共通教育とは

共通教育は、各学部における高度な専門的学習の基礎を身につけるとともに、人生や生活を豊かにするための幅広い教養を身につけたり、自らのキャリア形成を行うための支援を受ける場であり、高知大学で学ぶ全ての学生にとって重要なカリキュラムとして位置づけられています。

大学では、必ず履修しなければならないと指定されている授業（必修科目）以外は、それぞれの設定する学びの目標に沿って自由に選択できます。



### ■ 高知大学の考える自律型人材



### ■ 4年間の履修の流れ



## ▶ 初年次科目

初年次科目は、「大学基礎論」、「学問基礎論」、「大学英語入門」、「英会話」、「情報処理」、「課題探求実践セミナー」の6科目で構成されています。これらの科目は、学習の目的や意義を明確にし、学習を進めるための基本的知識や技法を身につけ、自ら考え、自ら表現し、問題を発見し探求できる基礎的能力を獲得するために設けられたもので、高知大学の学生全員が必修です。

## Step. 1 学びの転換をはかる。 — 与えられる学びから、掴みとる学びへ

### 大学基礎論

大学基礎論は、入学後すぐの1年生第1学期に開講される授業です。その最大の目的は、「学ぶ姿勢を学ぶ」こと。「大学で学ぶ意義は?」「学ぶ目的は?」といった学びの動機を学生自身が再確認し、「教わる」から「掴みとる」へと学びの姿勢を転換します。



## Step. 2 社会と関わり、自律性に目覚める。

### 課題探求実践セミナー

人は、自分以外の他者と関わることで変わります。そこで、できるだけ多くの他者と交わる機会を設け、学生に“気づき”のチャンスを提供しようというのがこの授業。様々なかたちで社会と関わり合う「実践」と、振り返りのための「事後学習」を繰り返し、自律的な自分へと近づいていきます。



## Step. 3 自律的な学びの土台を築く。

### 学問基礎論

1年生第2学期に開講される学問基礎論は、各学部で展開される専門教育の基礎をイントロデュースし、自律的な学びへの土台を築く役割を担います。学問基礎論のプログラムは各学科や各コースによって異なりますが、共通しているのは学生たちの「自発的な思考プロセス」を尊重するという点。教員側から教えたり誘導したりという介入は行わず、学問の本質やその楽しさを体感することに重点を置いています。



### ▶ 教養科目

教養科目は、幅広い学問分野に触れるとともに、現代的なトピックスにも目を向け、人間として、社会人として豊かな教養が育つように人文分野、社会分野、生命・医療分野、自然分野、外国語分野、キャリア形成支援分野の6分野で編成されています。履修については、特定の分野に偏ることのないよう選択履修としています。

## Extra インターンシップで自律性と現実感覚を体得する。

### キャリア形成支援分野 社会協働インターンシップ(CBI: Collaboration Based Internship)

CBIの実習期間は60日間、実習先は首都圏の企業等。CBIは、「本気」と「覚悟」のある学生だけがチャレンジできる、単なる職業体験とは一線を画す高知大学オリジナルのプログラムです。将来どのような社会人になりたいのか。そのためには大学生活で何をすればいいのか。学生はCBIの経験を通して、大学での学びの質を高め、社会で活躍するために必須の自律性と現実感覚を体得します。



#### CBI企画立案(事前学習)

CBI実習にトライする前に、企業研究や働くとはどういうことか学生同士で考えることにより、本気と覚悟を醸成します。

#### CBI実習(インターンシップ)

本気・覚悟が醸成できた学生のみが、大学を離れて春休み30日、夏休み30日の計60日間、企業でインターンシップをします。

#### CBI自己分析(事後学習)

インターンシップ全体を振り返り、今後の学生生活をどのように過ごすか考えます。

## Voice 卒業生の声

鎌倉詩野 仁淀川町役場 平成25年度人文学部卒業(高知県立仁淀高校出身)

大学2年生のときに東京都にあるマテックス株式会社でインターンシップをしました。旅行以外で高知県から出たことがなかった私に、大学1年生の時からお世話になっていた教授が勧めてくださったことがきっかけです。インターン当初は「〇〇しなければならない」という義務感で仕事をしていましたが、インターンが終盤に差し掛かる頃には、「会社の為、働いている社員の方の為に自分ができることは何か。お客様にどのように商品を知ってもらうか」と相手のことを考え、主体的に取り組むことができるようになりました。それまで他人からの評価ばかり気にしていましたが、この時から評価ではなく、私自身がしたいこと、できることは何かを意識するようになり、一つの仕事に対しても様々な選択肢が持てるようになりました。

現在、公務員になり地元の役場で勤めています。インターンを通して民間企業の考え方や取り組み方を身をもって経験したことを糧に、「お役所仕事だから仕方がない」と住民の方々が諦めるような地域にならないよう、まずは地域の方とコミュニケーションを取り、地域を知り、仕事に活かすよう取り組んでいます。



# 学びを支える様々な制度や取組

高知大学では、個々の学生の学びをしっかりとサポートし、高い意欲と能力を備えた人材として社会に送り出すため、様々な支援や取組を行っています。

## アドバイザー教員制度

入学から卒業まで学生全員にアドバイザー教員がつきます。アドバイザー教員は本学の専任教員が担当し、在学中の学習計画や履修指導はもちろん、進学、就職、生活、健康といった大学生活全般における相談役として助言や指導を行います。

## リメディアル教育

リメディアル教育とは、大学教育を受けるために必要な基礎学力を補うことを目的に行われる「補習教育」のことです。



リメディアル教育(入学前教育)

### ▶ 入学前教育

人文社会科学部人文社会科学科社会科学コースでは、推薦・AO入試による入学生を対象に、大学の授業にスムーズに移行できるよう、考える力や問題発見する力を養うための入学前教育を実施します。

### ▶ 大学生として必要な基礎学力を補うための教育

初年次科目の「大学英語入門」と「英会話」では最初の授業にブレースメントテストを実施し、習熟度に応じたクラス編成・授業を実施しています。また教養科目自然分野では理数系分野の「微分・積分学」「物理学」「化学」「生物学」「地球科学」などにおいて、その分野を高校で十分に学習できなかった学生を対象とする通年開講の基礎授業を実施しています。

## オフィスアワー

学生からの質問や相談に教員が応じるための時間がオフィスアワーです。アドバイザー教員や授業担当教員のオフィスアワーをシラバスなどで確認し、予約を入れて質問や相談に行きます。



授業での質問や疑問に思うことがあれば、アドバイザー教員以外の教員のもとにも気軽に行けるシステムです。

## ティーチング・アシスタント

共通教育・専門教育の実験や演習の科目では、きめ細かい指導により学生の理解をサポートするため、優秀な大学院生が授業の補助業務を行っています。



ティーチング・アシスタント講習会

## 他大学との単位互換

協定が結ばれている他の大学であらかじめ定められている科目を履修し単位を修得した場合は、本学の単位として認定を受けることができます。

## 早期卒業

本学に3年間在学し、卒業の要件として所属する学部の定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められる場合は、本人の申請により早期卒業が認められます。(医学部を除きます)

## 特別修学支援室

「高知大学で学びたい全ての学生のために」をキャッチフレーズに、誰もが学びの楽しさ、喜びを感じるキャンパスづくりを目指しています。特別修学支援室は、身体や感覚機能にハンディキャップを持つ学生への支援、授業や実習などで困っている学生へのサポートをしています。



## キャンパスライフ支援ルーム「からふるパレット」 学生スタッフも活躍中!

身体の病気や障がいがあってもキャンパスで安心して過ごせるように、バリアフリー環境の整備などを行っています。聴覚障がいのある方のために、講義や講演などの内容を文字情報に要約するノートテイクボランティア養成講座や、学部、学年に関係なく学生が集い、語り合う場「からふるパレットカフェ」を定期的で開催しています。

▶ パソコンノートテイク講習会を開催しました。聴覚障がいのある学生へのサポートができるように学生と学んでいます。







# もうひとつの学びの場

## 学生の課外活動

自律的な力が育まれるのは授業ではありません。学生が自主的に行っている活動も、成長につながる貴重な機会。そこで高知大学では、学生の課外活動についてもサポート体制を充実させ、活動を推奨しています。

### 学生と社会をつなぐリエゾンオフィス コラボレーション・サポート・パーク

高知大学には、学生に自発的な活動実践の場を提供し、その活動を教員とスタッフが支援していく仕組みがあります。地域や企業、地域の人々との様々な出会いを通し成長していく学生を応援しています。



### 学生の「何かしたい」をかたちに コラボ考房プロジェクト

「自分の持っているアイデアで、高知をもっと元気にしたい!」「やってみたいことがあるけれど、何から始めていいかわからない」など、様々な思いを持っている学生団体の活動をサポートする仕組みがコラボ考房プロジェクトです。1年間、支援教員とコラパ〜スタッフが、企画のブラッシュアップやチーム作りのサポートなどを行います。



企画を整理し形にしていくためには、幾度もハードルを越えなければなりません。充実した経験ができるよう、教員、スタッフが学生たちを応援しています。

### 人との関わりを意識したインターンシップ SBI (人間関係形成インターンシップ)

SBIとは、Society Based Internshipの略称。「社会に出るときに、どんな能力が必要なのか」「自分にその能力があるのかな」「それを身につけるために、学生時代に何をしたらいいのか」そんな疑問や不安を感じている学生におすすめなのがこのプログラム。学生3人一組のチームで3週間、企業でインターンシップを行います。



「学生チーム」「受入企業組織」「社会(取引企業やお客様)」という3層の人間関係の中で、様々な人と接することで、社会で求められている能力や自分の将来について考えます。

### いろんな地域をのぞいてみよう えんむすび隊

高知県内各地を訪ねるワンデイツアーを行っています。地域のすばらしさや、地域の抱える問題に触れることで、社会との関わりを考え行動を起こすきっかけとなることを目指しています。

- ▶ 実施例
  - 本山町吉延地区 田んぼアート田植え体験
  - 須崎市 伝統の七夕飾り"わら馬"づくり
  - いの町伊野地区 まち歩きツアーのブラッシュアップなど

#### Voice 参加者の声

えんむすび隊の活動は1日から参加OKで、自分の希望次第でいろいろな体験ができます。何度も参加して感じたことは、地域によって長所や短所が違って魅力。だからこそ地方はおもしろい!地域活性化のために自分に何ができるのか、机の上では学べなかった大切なことを教わった気がします。



### 小学校区でパトロール、地域のコミュニティ活動に参加 高知子ども守り隊「守るんジャー」

#### 主な活動

##### ▶ パトロールと見守り活動

大学近くの朝倉小学校と朝倉第二小学校の通学路を月替わりでパトロールしています。学生は自分が行ける曜日を事前に選んでシフトを組み、平日に活動を行っています。子どもたちの笑顔が見られるだけでなく、注意の仕方など関わり方の勉強にもなっています。

##### ▶ 地域のコミュニティに参加

見守り活動をしながら見てきたのは、地域とつながる大切さ。子どもは家庭、学校、そして地域の中で育れます。私たち大学生も地域の一員として清掃活動や地域の行事やお祭りに参加し、コミュニティを元気にする一端を担えたらと思っています。

2005年、下校中の児童が狙われる事件が多発したことを受け、子どもの命を事件・事故から守ろうと発足。大学近くの小学校の通学路をパトロールし、下校中の児童の安全を見守っている。



#### Voice 代表の声

枝重 裕美香 理学部3年

様々な学部の子どもが好きな学生が参加しています。子どもたちや地域の方々との交流を深めることができ、楽しく活動しています。

▶ 2011年にSYDボランティア奨励賞 文部科学大臣賞受賞



人文科学と社会科学を織り混ぜた新たな学びのしくみ

# 人文社会科学部

Faculty of Humanities and Social Sciences

学科・コース

人文社会科学科

人文科学コース

国際社会コース

社会科学コース

アプリをダウンロードして  
スマホで  
読み込もう

詳しくは  
90ページ



人文社会科学部

## 人文学部は人文社会科学部へ

グローバル化の進展をはじめとする社会の変化により、近年の社会は、総合的・専門的知識を持った人材だけでなく、従来の分野の枠組みを越えた柔軟な発想力を兼ね備えた人材を強く求めています。

そのため人文学部は、学科の“垣根”を取り払い、新たな理念「人文社会科学（領域）の教養の涵養」を基軸に教育課程を一体化する組織改編を行い、1学科体制の下、「人文社会科学（領域）」の教養を軸としてグローバルかつローカルな課題に取り組み、社会の変化に柔軟に対応できる新たな人材の養成を行います。



～平成27年度

人文学部

人間文化学科

国際社会  
コミュニケーション学科

社会経済学科

平成28年度～

人文社会科学部

人文社会科学科

人文科学コース

哲学・思想プログラム、心理学プログラム、歴史・地理学プログラム  
日本語・日本文学プログラム、英米文学プログラム

国際社会コース

言語・コミュニケーションプログラム、総合文化プログラム、グローバル社会プログラム  
ヨーロッパ地域プログラム、南北アメリカ地域プログラム、アジア・オセアニア地域プログラム

社会科学コース

経済理論プログラム、経済政策プログラム、経営・会計プログラム  
法律・政治プログラム

▶ 人文社会科学部ホームページ <http://jinbun.cc.kochi-u.ac.jp/>





1年生では、  
大学恒例の室戸貫歩<sup>かんぼ</sup>に参加。  
90kmを約22時間かけて  
歩ききました!

# 先輩にきく 大学は、自らの意思で学ぶ場所

桑野 航気 人文学部国際社会コミュニケーション学科3年(兵庫県立夢野台高校出身)

3年生のゼミで、僕は「ファッションのファスト化と外国人実習生」をテーマにしたフィールドワークに取り組みました。安くて人気のファストファッションの裏側にある低賃金などの労働問題や、技能研修が目的はずの外国人実習生が過疎化の進む地方で労働力の代わりになっている問題——その矛盾や課題について、高知県内にあるメーカーや工場などを訪問してヒアリングを行い、みんなで考えていきました。フィールドワークは、基本的にすべて自分たちで調べ、段取りし、行動します。最初は緊張もしましたが、現場に出るのは楽しく、充実感や達成感を感じることができました。

高校までと違い、大学の学びは自由です。学びたい気持ちがあればどこまでも制限なく学ぶことができます。でも逆に、自分から積極性を発揮しなければ何も得られません。実は、2年生のはじめまで僕はそれに気づくことができず、甘えた気持ちでゼミに出ていました。遅刻しても予習不足でも先生は怒りませんでしたが、学期末にひどい点数が返って来て、はっと目が覚めました。今は違います。自分の中から自然に学びたい気持ちが湧いてきます。厳しくも温かく接してくれる先生や刺激し合える仲間と共に、残りの大学生活も精一杯学んでいきたいと思っています。



愛媛大学にて行われた発表会の際の集合写真



# 教員にきく 学びの“協奏曲”で、社会に求められる人材を

吉尾 寛 人文社会科学部 長

私たちが生きる現代社会は、様々な問題が複合し、影響しあっています。例えば、人の幸せを考える時に経済だけで判断するのではなく、地域の文化的特色やそれに根差した価値観とあわせて真の幸福感を追求する。あるいは、国際紛争やテロの問題に向き合う時、国際政治だけでなく宗教やそれに基づく倫理観などをあわせて考える。このように、一つの専門だけでは解決できない問題に向き合うため、近年、学術の世界でも人文科学と社会科学に互いに“橋をかける”人文社会科学(領域)への関心が高まっています。

高知大学人文社会科学部は、こういった社会の要請や学術界の動向にいち早く反応し、誕生しました。人文科学・社会科学双方の視点を学ぶプラットフォーム科目や、3コース15プログラムが表現する学際的な学びで、専門性(＝独奏する力)と広い視野や柔軟な発想力(＝合奏する力)を持った人材の育成を目指します。あなたもこの学びの協奏曲<sup>コンツェルト</sup>に参加し、自分の可能性を大きく広げてみませんか?



## 人文社会科学科のカリキュラム例

人文学科コース	国際社会コース	社会科学コース
講義科目80科目、演習・実習・実験科目70科目と豊富に取り揃えています。	講義科目80科目、演習・実習科目60科目を超えており、広い教養と実践的スキルを養えます。	講義科目50科目、演習科目70科目と充実しています。
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 哲学・思想プログラム: 西洋近代思想・倫理学・宗教論</li> <li>■ 心理学プログラム: 認知発達心理学・認知心理学・社会心理学・感情心理学</li> <li>■ 歴史・地理学プログラム: 日本中世史・日本近世史・日本近代史・東洋古代中世史・東洋近世近代史・西洋社会史・人文地理学・自然地理学・考古学</li> <li>■ 日本語・日本文学プログラム: 現代日本語論・日本語史・日本古代文学・日本中世文学・日本近代文学</li> <li>■ 英米文学プログラム: イギリス文学・アメリカ文学・映像メディア論・言語意味論・言語文法論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 言語・コミュニケーションプログラム: 第二言語習得論、日米異文化間コミュニケーション論、英語オーラルコミュニケーション、英語パブリックコミュニケーション</li> <li>■ 総合文化プログラム: 英米文化史、比較文化論(日欧・日本社会・日米英・日独・日仏・日中)、言語文化論(アメリカ・イギリス・フランス・中国等)</li> <li>■ グローバル社会プログラム: 越境社会論、国際関係論、世界経済論、経済発展論、文化人類学</li> <li>■ ヨーロッパ地域プログラム: ヨーロッパ社会文化論、英語読解研究、フランス語オーラルコミュニケーション、日欧異文化間コミュニケーション論、比較日独文化論、社会思想史</li> <li>■ 南北アメリカ地域プログラム: 南北アメリカ関係論、南北アメリカ特殊講義、ラテンアメリカ経済社会論、アメリカ言語文化論演習、英語読解研究、スペイン語中級</li> <li>■ アジア・オセアニア地域プログラム: アジア経済社会論、日本語教授法、東南アジア社会文化論、メディア論演習、日本文化表現論演習、中国語オーラルコミュニケーション、中国経済社会論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経済理論プログラム: ミクロ経済学、マクロ経済学、ゲーム理論、金融論、労働経済論、自然資源の経済学、経済史、組織の経済学</li> <li>■ 経済政策プログラム: 地方財政論、日本経済論、国際経済論、社会保障論、福祉経済論、農業経済論、産業立地論、国際水産開発論</li> <li>■ 経営・会計プログラム: 経営管理論、人事管理論、競争戦略論、簿記原理、会計学原理、流通論、経営史、マーケティング論</li> <li>■ 法律・政治プログラム: 憲法、民法、商法、行政法、政治過程論、経済法、刑法、経済刑法</li> </ul>



# 人文社会科学科 Department of Humanities and Social Sciences

## 3つの特徴 ➡ プラットフォーム科目、コース・プログラム制、ダブルコア・マルチコア

プラットフォーム科目では、グローバル社会と地域社会がどのような課題に直面しているのか、その課題がどのようなものなのかを理解していきます。人文科学と社会科学の双方の視点を関連付けて課題解決の糸口を学びます。

コース・プログラム制は、人文科学コース、国際社会コース、社会科学コースの各コースに、専門分野・学問的視点に基づいて合計15プログラムを設けています。2年生から関心に沿ったプログラムを選択し、学びの“コア”を体系的に形成します。

ダブルコアとマルチコアとは、複数のプログラムを体系的に学べるしくみです。入学したコースに置かれたプログラムのなかから2つのプログラムを履修することをダブルコア、入学したコースとは異なるコースからもプログラムを選択し履修することをマルチコアと呼びます。複数の学びの“コア”を形成しようとする学生の希望にも応えます。



4年間の流れ	1年生	2年生	3年生	4年生	卒業論文
人文科学コース	共通教育科目	各プログラムにおける体系的な専門科目の履修			
国際社会コース		各プログラムにおける体系的な専門科目の履修			
社会科学コース	各プログラムにおける体系的な専門科目の履修				
少人数ゼミナール	大学基礎論 課題探求実践ゼミナール 学問基礎論	ゼミナールⅠ、Ⅱ (基礎演習)	ゼミナールⅢ、Ⅳ (専門演習)	ゼミナールⅤ、Ⅵ (卒論演習)	
プラットフォーム科目	基礎科目 (1・2年次履修)	外国語科目 (2年次～履修)	発展科目 (2～4年次履修)		

## 人文科学コース Humanities Course

### さまざまな「知」のあり方に触れて、分析力と問題解決能力を養う

#### 学びの特色

人文科学コースでは、哲学・思想、心理学、歴史・地理学、日本語・日本文学、英米文学の5つのプログラムで、人文科学の各領域の専門知識を体系的に学んでいきます。人間や人間がつくり出す文化・社会に対する深い関心を持ち、様々な「知」のあり方に深く、幅広く触れて、柔軟に物事を見る目を養いながら、文献資料やデータを分析する力、文書を作成する力を習得し、問題解決能力を高めていきます。

#### 5つのプログラム

<b>哲学・思想プログラム</b> 歴史に現われた主要な哲学者の思想を吟味・解釈することを通して、わたしたち人間に固有な問題とは何かを探索します。したがって、定評ある古典を読み解いていくことが研究の第一歩です。さらに、そのようにして培った思索の力を、現代の複雑な問題に応用して人間の可能性を拓けていきます。	<b>心理学プログラム</b> 心理学とは「心」を科学的な方法を用いて明らかにし、実際の場面に適用する学問です。本プログラムでも「心」を研究するための様々な実験方法や調査方法を学びます。また、いろいろな観点から研究する心理学には多くの領域があり、基礎から各領域の知識を積み上げることで認定心理士の資格が取得できます。	<b>歴史・地理学プログラム</b> 歴史学および地理学を専攻するためのプログラムです。歴史学では、様々な史資料に基づき、日本そして世界に視野を広げて歴史研究に取り組みます。地理学では、文献調査と現地調査をともに重視することで、真の意味での「地域と関わる学問」に取り組みます。
<b>日本語・日本文学プログラム</b> 古代から現代に至る、日本の様々な時代の文学作品を学ぶことができます。作者の思想や時代背景なども踏まえて、作品や作家について研究していきます。また、文法・語彙・発音など、日本語(方言も含む)そのものを対象とする日本語学の勉強・研究もできます。	<b>英米文学プログラム</b> 英米を中心とする英語圏の文学作品を原文で読みながら、言語・文化、歴史、人種、民族など様々な観点から検討を加え、その過程で批評精神を養成し、最終的に自己や世界を複眼的・相対的に捉えることを目指します。英語圏の文学作品を素材に文学研究を行う意義と魅力を味わってもらいます。	





# 国際社会コース International Studies Course

## 分野×地域を軸に、グローバル社会で国境を越えて連携できる力を養う

### 学びの特色

本コースでは、多元化・複雑化するグローバル社会を見据え、国内外の様々な「壁」を乗り越えて羽ばたくことのできる「グローバル市民」を育てます。学びの核は、少人数ゼミナールとセットの《分野×地域の6つのプログラム》と、国内外での《フィールド・スタディ》です。様々な外国語の運用能力アップはもちろん、専門知識に裏打ちされた深い洞察力と複眼的な思考力を身につけることで、言語コミュニケーションや異文化/自文化、グローバル社会の問題を主体的に考察・判断できるようになります。

### 6つのプログラム

<p><b>言語・コミュニケーションプログラム</b></p> <p>言語・コミュニケーションプログラムでは、言語学およびコミュニケーション論の基本的な理論を学びます。同時に、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの具体的な言語や地域にフォーカスした形で発展的な科目を学びます。また学部開設の日本語教員養成課程の関連科目も組み込まれています。</p>	<p><b>総合文化プログラム</b></p> <p>総合文化プログラムでは、環境・大衆・交流・越境など多様な視点で文化を論じる科目を基盤としています。あわせて、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの様々な地域を対象に社会と文化のあり方を考える発展的な科目も学んでいきます。文化と不可分なメディアに関する科目も、このプログラムの重要な一環です。</p>	<p><b>グローバル社会プログラム</b></p> <p>グローバル社会プログラムでは、現代のグローバル社会のあり方に社会科学の様々な領域からアプローチします。国際関係論や世界経済論、文化人類学に加えて、隣接コースの経済学や政治学の科目もあわせて社会科学の基盤を学んでいきます。さらにヨーロッパ・アメリカ・アジアの様々な地域の政治・経済・社会についても学びます。</p>
<p><b>ヨーロッパ地域プログラム</b></p> <p>ヨーロッパ地域プログラムでは、上の3つの分野から、ヨーロッパ地域に関わる科目を横断的に学びます。英語・ドイツ語・フランス語等の言語系科目を基盤とし、ヨーロッパ地域の言語やコミュニケーション、多様な文化、政治・経済・社会について学ぶことで、この地域のあり方を多面的に捉え、探求します。</p>	<p><b>南北アメリカ地域プログラム</b></p> <p>南北アメリカ地域プログラムは、南北アメリカ地域を分野横断的に捉えようとするものです。英語系科目に加え、スペイン語系科目も基盤として学ぶことができます。さらに、英語圏に関わる言語理論やコミュニケーション論、文化、社会、経済、そして南北アメリカ関係について学びます。</p>	<p><b>アジア・オセアニア地域プログラム</b></p> <p>アジア・オセアニア地域プログラムでは、実質的な共通語としての英語に加え、中国語の科目を基盤として学びます。そして中国・日本・東南アジア諸国を中心に、その言語・文化・社会・経済についての様々な科目を通じて、変動する地域の姿に多角的に迫ります。またこのプログラムには、日本語教員養成課程の科目も、多く組み込まれています。</p>



# 社会科学コース Social Sciences Course

## 経済学、経営学、会計学、法律・政治学を通して調査力・分析力を養う

### 学びの特色

グローバル化する社会においては、貧困や失業、犯罪の増加や景気の後退、労働環境の悪化、民族問題など様々な問題が存在しています。これらの問題を発見・解決するためには複眼的な思考方法が必要となります。本コースでは経済学・経営学・会計学・法学・政治学の専門知識を4つのプログラムを通じて体系的に学習します。様々な学問領域の考え方を学習することで、物事を複眼的・多角的に捉えて考える力を養い、社会における諸問題に対処するための制度をデザインできる人材の育成を目指しています。

### 4つのプログラム

<p><b>経済理論プログラム</b></p> <p>経済理論プログラムでは、ミクロ経済学、マクロ経済学、組織の経済学、金融論、ゲーム理論といった専門科目を学習し、そこで獲得した知識を様々な現実問題へと応用していきます。これにより物事を論理的に考えるための思考力と、複雑な社会問題に対して適切な対処策を考察・提言する能力を養います。</p>	<p><b>経営・会計プログラム</b></p> <p>経営・会計プログラムでは、継続的な企業活動を可能とする企業内の仕組みを考えると同時に、企業外からの規制や関連する集団との関係性の維持のために必要な要因について理論的・実践的に学びます。経営学や会計学の理論について学び、専門性を高めるとともに、問題を解決できる能力を養います。</p>
<p><b>経済政策プログラム</b></p> <p>経済政策プログラムでは、財政や福祉、地域の問題を通じて、現代の社会制度に関わる具体的な諸課題に取り組みます。少子高齢化問題、地域の産業、福祉、行財政のあり方などの具体的な政策課題を学ぶことで、経済的観点から諸課題の分析を行うことのできる能力を身につけます。</p>	<p><b>法律・政治プログラム</b></p> <p>法律・政治プログラムでは、人文社会科学の諸分野を広く学んだ後に憲法、民法、商法、政治学といった専門科目を多く履修していくことになります。知識の修得のみならず、現地調査や施設見学等を通して、鋭い人権感覚とともに、現実の社会問題への解決策を提言できるような能力を身につけます。</p>







■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去2年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

人文社会科学部 人文科学コース ※旧人間文化学科

明石スクールユニフォームカンパニー、アクサ損害保険、アドキャスト、あわしま堂、一畑トラベルサービス(鳥根)、エースワン(高知)、エルブランニング、大阪脳神経外科病院、香川銀行、カトーレック、蒲郡信用金庫(愛知)、技研製作所、合田工務店(香川)、高知銀行、高知システムズ、高知信用金庫、高知電子計算センター、コムバス(岡山)、JA岡山、JA共済連、JAメモリアルこうち、四国化成工業、四国銀行、四国情報管理センター、四国旅客鉄道、SHIFT PLUS(高知)、島根中央信用金庫、セコム山陰(鳥根)、太陽(高知)、大和証券、但陽信用金庫、近森産業、津山中央病院(岡山)、テレビ高知、土佐厚生会、トマト銀行、トミックス、トヨタカラー高知、トヨタ部品四国共販、トランコム、日進製作所(京都)、日本郵便、日本銀行、日本年金機構、服部興業(岡山)、阪急メディアックス、阪神小型モーターズ、姫路ホンダ、ヒワサキグループ、福岡県信用保証協会、マナペインテリア、ハーツ、マルナカ、三木特種製紙(愛媛)、八栗(香川)、ゆこゆこ(東京)、米子聖園天使園(鳥取)、ルミエ・パリ、ルミック(東京)、ワールドビジネスセンター(京都)、関東信越国税局、高松国税局、法務局(四国)、岐阜県(学校事務)、愛媛県庁、高知県庁、沖縄県立埋蔵文化財センター、木津川市役所(京都)、尼崎市役所、佐用町役場(兵庫)、高知市役所、四万十市役所、高知県警、高知県公立学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、京都大学大学院、岡山大学大学院、島根大学大学院、愛媛大学大学院、同志社大学大学院

人文社会科学部 国際社会コース ※旧国際社会コミュニケーション学科

アクシア(広島)、アジアクエスト、IKEA JAPAN、石光商事(兵庫)、伊予銀行、渦潮電機(愛媛)、ウチダレック(鳥取)、SGホールディングス、越健産業(埼玉)、エナジーサプライ(香川)、エフアンドエム(大阪)、カトーレック、加茂繊維(岡山)、関西エアポートエージェンシー、紀伊民報(和歌山)、技研製作所、キャセイパシフィック航空、京都銀行、京都中央信用金庫、クリエアナブキ(香川)、高知銀行、高知ハウス、サイボウズ、山陰合同銀行、JTB中国四国、JTB中部、四国銀行、四国新聞社、システムエグゼ、しまなみ信用金庫、JALスカイ、商船三井、スズキ、住友林業レジテンシヤル、スワロフスキー・ジャパン、ゼリア新薬工業、ダイヤモンドダイニング、タイガー魔法瓶、大東建物管理、中部国際空港、とさでん交通、鳥取県厚生事業団、トラベルシリウス(岡山)、中山靴店、西日本鉄道国際物流事業本部、日本高度紙工業、日本生命保険、日本トムソン、日本年金機構、パナソニックホームエンジニアリング、ハローズ、PHP研究所、ファーストリテイリング、ファニーワーク、フェイス(兵庫)、福山通運、フジキン、プライズワード(福岡)、北陸銀行、本田技研工業、マーキュリー(兵庫)、宮崎ジャムコ、みらい住宅開発紀行、名鉄観光サービス、ヤマハ発動機、読売新聞社、四電工、和歌山ターミナルビル、高知県庁、延岡市役所、湯梨浜町役場(鳥取)、三木町役場(香川)、鳥取県警、高知県警、神戸中華同文学校、岡山市公立学校教員、高知県公立学校教員、高知県私立高校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、大阪大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、鳴門教育大学大学院

人文社会科学部 社会科学コース ※旧社会経済学科

明石被服興業、アクサ損害保険、アスト、あなぶき興産、阿波銀行、一条工務店山陰、伊予銀行、イング(大阪)、SMBC日興証券、エスマート(鳥取)、NTTマーケティングアクト、えひめ飲料、エブリィホームイホールディングス、MBC開発(鹿児島)、大阪湾水先区水先人会、長田電機工業、香川証券、かんぼ生命保険、技研製作所、北村商事(宮崎)、黒田精工(神奈川)、高知銀行、高知信用金庫、高知電子計算センター、高芳園(愛知)、コープハウジングひろしま、コーヨーテック(兵庫)、佐野信用金庫(栃木)、山陰合同銀行、JA倉敷かさや、JA香川県、JA高知市、JKホールディングス、四国銀行、四国労働金庫、四変テック、十八銀行、神鋼不動産、セキスイハイム中四国、ソフトバンク、大和証券、大和美術印刷(兵庫)、中京銀行、中国銀行、中国労働金庫、テイケン、電化のヤマサキ(鳥根)、天満屋、トマト銀行、トランスコスモス、ナガト(広島)、名古屋銀行、ニッタン、日東タグ(岡山)、ニトリ、ニプロ、日本IBMサービス、日本政策金融公庫、日本生命保険、日本通運、日本年金機構、日本郵便、沼津信用金庫、野村証券、ハートネットワーク(愛媛)、幡多信用金庫、パナホーム、ピクセン(埼玉)、百十四銀行、ヒヨシ(愛知)、ヒラタ(大阪)、広島銀行、三井住友銀行、ヤッホーブルーイング(長野)、ヤマト運輸、やよい(京都)、ゆうちょ銀行、ユニクロ、リゾートトラスト、良品計画、ワークスアプリケーションズ、法務省、警視庁、鳥取県警、高知県警、公正取引委員会、高松法務局、高知労働局、徳島県庁、高知県庁、大分県庁、南相馬市役所、和歌山市役所、倉敷市役所、出雲市役所、山口市役所、高知市役所、太子町役場(兵庫県)、津野町役場、松山市消防局、高知市公立学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、横浜市立大学大学院、兵庫教育大学大学院

[一般入試 備考]

- (1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。)  
 利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない。)[英語]についてはリスニングを含む。「数学」の教科については『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
- (2) [個別学力検査等]欄について: 出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試

学科名等	学力検査等の区分・日程(募集人員)	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		科目名等	教科等	科目名等	
人文社会科学部 社会科学部	人文科学コース	推薦入試 I (30)	大学入試センター試験は課さない	その他	面接 (必須)
	国際社会コース	推薦入試 I (A選抜) (B選抜) (20) (15)	大学入試センター試験は課さない	その他	面接 (必須)
	社会科学コース	推薦入試 I (25)	大学入試センター試験は課さない	その他	面接 (必須)

「人が人らしく生きる」場面に深く関わり合う

# 教育学部

Faculty of Education

## 学科・コース

### 学校教育教員養成課程

- 幼児教育コース
- 教育科学コース
- 教科教育コース
  - 国語教育コース
  - 社会科教育コース
  - 数学教育コース
  - 理科教育コース
  - 英語教育コース
  - 技術教育コース
- 家庭科教育コース
- 音楽教育コース
- 美術教育コース
- 保健体育教育コース
- 科学技術教育コース
- 特別支援教育コース



アプリをダウンロードして

スマホで読み込もう

詳しくは90ページ



## アドミッションポリシー

教育学部は、以下のような人物を求めます。

**知 識 ・ 理 解** :入学後に教育について専門的に学ぶために、高等学校までの各教科の基礎が身につけている。

**思 考 ・ 判 断** :物事を多面的に捉え、人の意見を正確に理解し、自らの意見を持つことができる。

**関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度** :教師という仕事に強い関心があり、学校教育をめぐる様々な課題を他者と協力して解決しようとする意欲と態度がある。

**技 能 ・ 表 現** :自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。

**教 科 外 活 動** :クラブ活動やボランティア活動等で、リーダーとしての資質を持ち、集団の中で協力的にコミュニケーションがとれる。

▶ 教育学部ホームページ <http://akebono.ei.kochi-u.ac.jp/>





## 先輩にきく

# 子どもたちと関わりながら成長できる!

池田 啓彰 学校教育教員養成課程3年(宮崎県立延岡星雲高校出身)

高知大学は入学後、  
いろんな分野を見た上で  
教員としての専門を決められます。  
それがとても  
よかったですね

高校時代は野球一筋で、部活中心の3年間でした。だから大学に入ったら好きな野球を続けつつも、もつといういろいろな経験をしてみようという心決めていました。それは将来、教師として教壇に立った時、子どもたちにたくさん話を聞かせてあげたいと思ったからです。自分の経験値を高め、人間として魅力的になりたいと考えました。

その点で、高知大学は非常に恵まれた環境だと思います。4年間を通して授業の中で多様なプログラムが組まれていて、いろいろなかたちで地域の学校や先生、子どもたちと関わる機会があります。2年生で最も大きな経験になったのは、「支援実習」。一つの小学校に1年間続けて通って、運動会や地域の神祭、地域の方と児童と一緒に料理や昔の遊びを体験するのに一緒に参加しました。この時に初めて「先生」と呼ばれ、嬉しかったと同時に「大学生



ボランティアサークルのメンバーと

のお兄さん」ではなく「先生」として接することに身が引き締まる思いでした。地域の方や保護者の方と交流することも多く、皆さんが学校を一緒に盛り上げていることも肌で感じる事ができました。

また、課外活動でも「室戸ボランティアサークル」で、月1~2回のペースで国立室戸青少年自然の家に小中学生の野外活動のお手伝いに行かせていただくなど、学内外問わず幅広く学ぶことができています。目標としている人間性豊かな教員になれるよう、今後もいろいろなチャレンジをしていきたいと思っています。



## 教員にきく

# 1年生から充実した実習系授業で、力を養う

藤田 詠司 教育学部長

「省察」——高校生の皆さんにはなじみがない言葉かもしれませんが、これは実践を理論的に振り返り、できなかったことをできるようにしていくことです。本学部では「4年間一貫した実習系授業」とそれ以外の様々な授業を連動させながら、この「省察」を繰り返していきます。まず1年生では地域活動を通して子どもと仲良くなり子どもを理解する「フレンドシップ事業」、2年生では学校現場で子どもを観察する「観察実習」や中山間地域の小規模校に入って学校行事を支援する「支援実習」で、「教える側」に立つ準備をします。そして3年生の「教育実習」、4年生の「応用実習」などを通じて、教員としての実力を養い、高めていきます。近年、教員採用試験では多くの都道府県が一次試験から面接を行う傾向にあります。その時、4年間の実体験をもとに話ができるのは、大きな強みとなります。高知大学で様々な経験と学びを得て、ぜひ皆さんの夢を実現してください!



### カリキュラム例

教育の原理や子どもの発達、教育の社会的・経営的側面に関する学習	教育の実践的側面に関する学習	教科指導・教科内容に関する学習	幼児教育に関する高度な学習	特別支援に関する高度な学習	教育に関する専門的な学習
教育制度論 教職入門 教育学概論 教育心理学概論 特別活動指導法 教育の方法・技術 教育相談 同和教育論 道徳教育 生徒指導	課題探求実践セミナー(フレンドシップ事業) 教育実習[初等] 教育実習[中等] 観察実習 支援実習 応用実習	教材開発演習 ■初等の教職に関する科目・各教科の指導法 国語、社会、数学、理科、生活、音楽、図工、家庭、体育の初等教科指導法 ■初等の教科に関する科目 国語、社会、数学、理科、生活、音楽、図工、家庭、体育の各初等教科 ■中等の教職に関する科目・各教科の指導法 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の中等教科指導法 ■中等の教科に関する科目 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、技術、家庭、英語の各中等教科	幼児教育指導計画論 保育指導論 幼児理解 ペアレントイング 保・幼・小接続カリキュラム 高知の保育 各教科に関する科目(幼稚園) 保育士に関する科目	特別支援教育概論 知的障害心理学 知的障害生理・病理学 病弱心理・生理・病理学 知的障害教育課程論 知的障害教育の理論と実際 肢体不自由教育指導法 病弱教育指導法 重複障害の理解と教育 発達障害等の理解と教育 特別支援教育実習	専門演習I~IV 卒業論文 教職キャリア開発論 演習 教育哲学 日本教育史 西洋教育史 教育行政学 教育社会学 学校カウンセリング 認知心理学 教育情報演習 小学校外国語活動・英語教育 高知県の教育

# 学校教育教員養成課程

Teacher Training Division

## こどもたちに豊かな人間教育を

### 教育理念

本学部は、質の高い教員の育成を目的としています。特に、高知県の教育課題である道徳教育や特別支援教育など心の教育や、グローバル化に対応した英語教育、理数技術系の向上に質する科学技術教育など学力向上に寄与する教員プログラムに力を入れています。併せて、運動、音楽、絵画等を基盤とした就学前教育にかかわる教育者・保育者の育成も重視しています。

### 学びの特色

小学校および中学校(あるいは特別支援学校)の教員養成を一体的に行うことを特色としています。4年間一貫した実習系授業を履修する中で子どもたちや教職員・地域の方々と関わりながら、教育に必要なコミュニケーション能力や実践的指導力を身につけることができます。そして、幅広い教養科目と教育学や心理学などの教職の基本に関する科目、各教科に関連する科目を学習することで、それらの力を高めることができます。本課程では、教員免許の取得が必須です。



模擬授業教室は、教育現場と同じ機材・教員・雰囲気再現した教室で、実際の教育現場を想定した実習を行うことができます。また遠隔講義システムを完備しており、附属小・中学校と連携しながらの学習を行うことができます。

### コース紹介

#### ▶ 幼児教育コース

##### 幼児教育および乳幼児保育における 高度な専門性と研究・実践力

就学前は人間としての基礎を形成する大事な時期であり、この時期の子どもたちに接する教育者・保育者には、より深い人間理解と高度な専門性が必要です。近年は、認定子ども園法の改正により、幼保連携型認定子ども園では幼稚園教諭免許と保育士資格の両方を持つ保育教諭が配置され、教育と保育の両面に視野を持つことが求められています。

本コースでは、保育士資格と幼稚園教諭一種免許の取得を必修としながら小学校・特別支援科目群の学習を行うことで就学後の教育を見通して、その土台となる乳幼児保育・教育を充実させる力を養います。さらに、高知の保育や親子関係の支援(ペアレンティング)等の授業を通して、地域の子どものとりまく現状について学びます。充実したカリキュラムのもと、理論と実践を往還させながら高い保育・教育研究能力を身につけることを学生に期待しています。



#### ▶ 教育科学コース

##### 多様で複雑な教育課題を読み解き よりよい未来を切り開く力

本コースでは、小学校や中学校教員となるために必要な教員免許取得の他に、教育学や心理学に関する専門的な学習と研究を深め、理論と実践の両面を視野に入れた教員養成を目指します。本コースの学習では、教育を教室や学校でのものだけに限定せず、広い視野からとらえていることが特徴です。

グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に伴い、現代の教育課題は多様で複雑になってきています。社会全体として見たとき、学校・学級を集団やシステムとして捉えたとき、子どもや教師といった個人に焦点を当てたとき、あるいは「教育」そのものをじっくり考えたときに何が見えてくるのでしょうか。

様々な専門性を有する教育学・心理学の教員の指導のもとで、教育を科学することを通して、教育課題を深く読み解き粘り強く思考・試行する力を身につけることを学生に期待しています。



#### ▶ 教科教育コース

##### 教科内容の専門性と教科指導の 実践力を培い、「確かな学力」を育む

学習指導要領の中で「生きる力」として挙げられているのは、知・徳・体の3つの要素です。その中でも知に当たる「確かな学力」とは「基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力」と定義されています。確かに学校で長時間過ごす児童生徒にとって、わからない授業ほど苦痛なものはないでしょう。また、様々な問題を抱える社会の中で、力強く成長していくことのできる力を子どもたちに育むことも重要となっています。学校で辛い時間を過ごす子どもが一人もいないように、子どもたちが豊かに成長して次世代の社会を創っていくための力を獲得できるように、教科内容の専門性と教科指導の実践力の両方を備えたすぐれた教員が求められています。

教科の各コースでは、教科の内容・方法を深く掘り下げ、各教科の目標、新しい教材づくり、授業設計・構築および学習指導法などについて





▶ 教育学部で身につける教員としての力量形成のステップ



国語教育／社会科教育／数学教育／理科教育／英語教育／技術教育／家庭科教育／音楽教育／美術教育／保健体育教育の各コース

の専門的な理論と実践を学び、高度な能力と豊かな知識を身につけ、教科指導にすぐれた実践力を持った学校教員の育成を目指します。さらに、発達段階に応じた教科の指導法や教育内容、あるいは、カリキュラムについて明確な課題意識を持って探求し、現代の子どもたちの課題に応じた新しい教科学習の指導を創造していくことのできる、学び続ける教員の養成を目指しています。



▶ 科学技術教育コース

知的好奇心と探求心を高め  
科学的思考・技術に結実させる力を育む

生活の中で気づく「なぜ?」に対して答えを見つけること、また、自分の手で何かを作り上げることは人間の知的好奇心を満足させる楽しい活動です。幼い頃、遊びの中で小さな発見や発明などを楽しんだ経験はありませんか。未来を担う子どもたちの科学技術力を育成するためには、科学技術の面白さや魅力を引き出し探求心を高め、それらを科学的な思考や技術へ発展させていくことができる専門性を有した教員が必要です。

本コースでは、理科と技術科の両教科を融合した教科内容を充実・強化することにより、理科および技術科を担当できる高い専門性と知識を有する教員を育てます。また、学校教育にとどまらず、知識と専門性を活かして地域の中で理科および技術科教育を積極的に推進できるリーダー的な役割を担える人材を育てます。



▶ 特別支援教育コース

子どもの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力を育む

近年、盲・聾・養護学校が特別支援学校に移行し、また通常学級においても個別の支援を行うしくみが整えられています。幅広い教育の現場で、心身の障害や学習困難から生じる特別な教育的ニーズのある児童生徒に対して、その障害特性に応じた適切な教育を行える教員が求められています。

本コースでは、これまでの特殊教育といわれる分野、主に知的障害の子ども、肢体不自由の子ども、病弱の子どもを教育する方法や視覚障害や聴覚障害、情緒障害、言語障害、発達障害について学びます。また、児童生徒の学習上や生活上の困難を分析するための理論や児童生徒に応じた適切な指導法も学びます。こうした知識や専門性は、通常学級を受け持つ教員にも必要とされています。コースでの学習・研究を通して、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力を身につけることを学生に期待します。









# 壮大なスケールの世界を解き明かす

## 理工学部 (仮称)

Faculty of Science and Technology

学科・コース

数学物理学科

数学コース

物理科学コース

情報科学科

生物科学科

化学生命理工学科

地球環境防災学科

アプリをダウンロードして  
スマホで読み込もう

詳しくは  
90ページ



理工学部

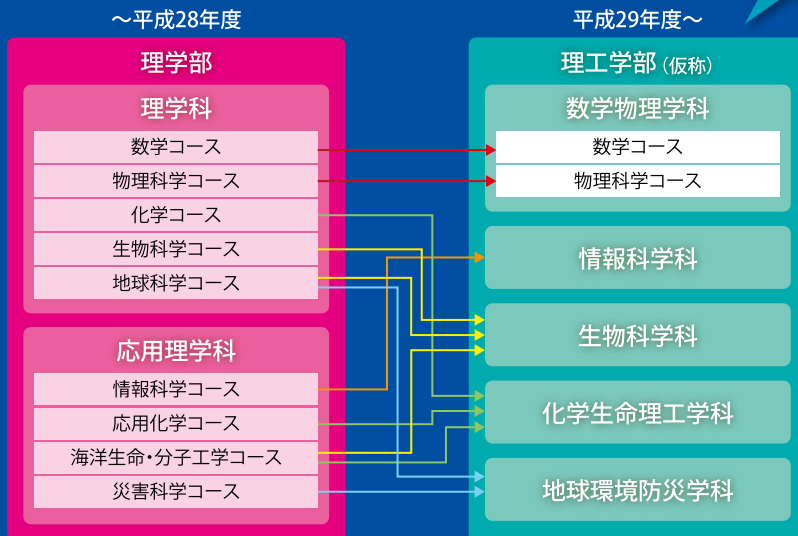


地域・社会のニーズに  
合わせた5学科に  
生まれ変わります!

### 理工学部は理工学部 (仮称) へ

平成29年4月設置申請中

高知大学理工学部は、地域・社会のニーズにあわせた「理工学部(仮称)」に生まれ変わります。この新学部は、論理的思考を重視する理学教育に、実用を重視する工学教育の融合を目指しています。新学部には、自然科学の基礎を支える「数学物理学科」、コンピュータサイエンスの基礎から応用までを扱う「情報科学科」、南四国の豊かな自然を生かす「生物科学科」、化学と生命科学の基礎に高度な技能を積み上げる「化学生命理工学科」、地球を理解して総合的な防災力を身につける「地球環境防災学科」の5学科構成となります。



※理工学部(仮称)は平成29年4月設置に向けて、文部科学省に認可申請中です(平成28年5月現在)。したがって、23ページ～28ページの内容は、予定であり変更する場合があります。

▶ 理工学部ホームページ <http://science.cc.kochi-u.ac.jp/> (平成28年度中は理学部ホームページとして公開中)



## 先輩にきく

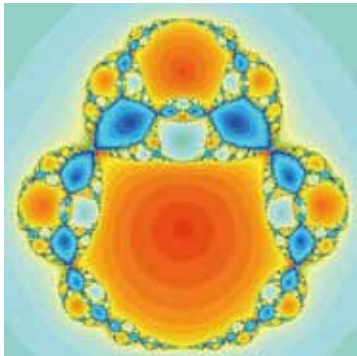
# 大学で広がった知の世界

水野 秋穂 理学部 理学科 数学コース4年(愛知県立豊田高校出身)

入学直後から  
タテ・ヨコいろんな学生同士の  
交流会が催される  
高知大学。友達や先輩とも  
すぐ仲良くなれます!

高知大学に来て、1年生でまず理学の様々な分野を幅広く学び、その後、研究室で密度の濃い学びを得たことで私の世界は大きく広がりました。

解析学の研究室に入るきっかけとなったのは、3年生の夏の集中講義です。名古屋大学から先生が来られ、力学系の講義をしてくださいました。力学系とは、一定の規則に従って時間の経過とともに状態が変化するシステム(系)のこと。その時に聞いた「一つの点が動く様のことを宇宙と呼ぶ」という言葉に、数学のこの紙一枚の中に宇宙があるなんてカッコいい!とぐっと心を掴まれました。



複素力学系から生じるフラクタル(ジュリア集合)(諸澤俊介教授提供)

現在、私が研究しているのは、力学系につながるフラクタルの分野——簡単に言うと、一部分を見ても全体を見ても同じような形になる図形について学んでいます。ゼミでは課題となる専門書を読み、その内容を自分の言葉で先生や仲間にも伝えるよう発表します。人に理解してもらうためにはプレゼンテーション能力はもちろん、エンターテイメント性も必要です。私はゼミを通じてそういった力を磨くと同時に、人にものを伝えることの大切さと喜びを知りました。

4月から、私は大学院に進学します。これまで以上に勉強し、多くの人と交流して自分の世界を広げていきたいと思っています。



## 教員にきく

# 理学を基盤に工学を融合させた新しい学び

福間 慶明 教授

新しい高知大学理工学部(仮称)は、論理的思考力を重視した理学教育を基盤に実用を重視した工学教育を融合させることで、イノベーションの創出や持続可能な社会への転換といった次世代の課題に対応できる人材の育成を目指します。それは例えば、車を運転するときに、運転技術だけを身につけて運転するのと構造や仕組みなども理解して運転するのでは、不測の事態が起きたときにできる対応が違うように、答えや前例のない課題に直面したとき、基礎教育として学んだ理学がしっかりとベースにあってこそ、工学的視点での応用力が発揮されると考えるからです。また、高知大学は南海トラフ地震に関する研究や水熱化学実験所、海洋コア総合研究センター等を通じた共同研究など、地域や産業界との連携がととも盛んです。新学部ではそのつながりをさらに強め、生きた学びで皆さんの成長を促したいと考えています。理工学部の新たな挑戦に、あなたも加わってみませんか?



### カリキュラム例

数学物理学科	情報科学科	生物科学科	化学生命理工学科	地球環境防災学科
<p>■数学コース</p> <p>微分積分学や線形代数学を基盤として、解析学 幾何学、代数学、確率・統計学を中心に学びます。</p> <p>■物理学コース</p> <p>力学分野、電磁気学分野、熱統計学分野、量子物理学分野、応用物理学分野、実験科目</p>	<p>計算機システム学、オペレーティングシステム論、プログラミング演習、情報ネットワーク論、人工知能工学、情報理論、シミュレーション工学、アルゴリズムとデータ構造、数値解析、画像処理論、情報解析学、デジタル回路実験、データベースシステム、離散数学、ヒューマンコンピュータインタラクション、情報社会と情報倫理</p>	<p>植物分類学、動物分類学、生態学、古生物学、比較生化学、動物生理学、細胞生物学、植物形態学、脊椎動物学、系統進化学、保全生物学、古生態学、理論生物学、生物圏進化学、地球表層動態学、タンパク質科学、代謝生理学、分子生理学、原生動物学、植物生理学、細胞構造構築学、生物多様性学、化学分類学、海洋環境学、動物生態学、水界生態学、海洋植物学</p>	<p>分析化学、物理化学、有機化学、無機化学、量子化学、錯体化学、天然物化学、分子生物学、細胞機能学、有機・高分子化学実験、無機・物理化学実験、遺伝子工学実験、生命分子工学実験、高分子化学、光機能創成化学、反応工学、無機材料化学、有機材料化学、ケミカルバイオロジー、発生工学、遺伝子工学、細胞工学、進化工学</p>	<p>■必修</p> <p>地球環境防災実習、地震学</p> <p>■選択必修</p> <p>連続体力学、気象学、地球ダイナミクス、構造力学、地盤工学、水理学、構造地質学、地震地質学、岩石学</p> <p>■選択</p> <p>物理探査法、大気環境工学、耐震工学、防災計画学、鉱物学、テクトニクス、ほか</p>

# 理工学部 Faculty of Science and Technology

## 教育理念

理工学部(仮称)は、論理的思考を重視するこれまでの理学教育に加え、実用を意識した工学教育を融合させて、新しい理工学教育を目指します。このため、他大学の理工学部とは異なり「理学の基礎に強い」人材育成が特徴です。卒業時に取得できる学位も、理学教育を追求する「数学物理学」と「生物科学科」は『学士(理学)』、理学はもちろん理工学教育を充実

させた「情報科学科」「化学生命理工学科」「地球環境防災学科」は『学士(理工学)』となります。さらに、「英会話」や「科学英語」などの英語教育を通して、グローバル化への対応も行います。

## 数学物理学科 Department of Mathematics and Physics

### 知的文化の創造と人類進歩を目指して

#### コース紹介

##### ▶ 数学コース

数学的・論理的思考力はすべての科学に携わる人々に必然的に求められます。しかし、数学を的確に活用するには、正確な数学的知識の習得とそれに基づく訓練が必要です。数学コースでは、数学の代表的な分野である解析学、幾何学、代数学、確率・統計学を中心に数学的・論理的思考力を養成します。また、必要単位を習得することにより中学校・高等学校の数学教員免許を取得することができるので、数学をしっかり学び、卒業後は数学の先生になりたいという方にもおすすめです。



##### ▶ 物理科学コース

素粒子から原子核、原子、分子およびその集合体まで、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などを実験・理論の両面から学びます。力学、電磁気学、量子力学、熱・統計力学、物理化学などの基礎知識を習得し、固体の磁性・超伝導・イオン伝導、宇宙線・電磁現象、核物質・クォーク物質などの研究に応用する力を養います。そして、社会の多種多様な分野で独創性を発揮できる人材の育成を目指します。



## 情報科学科 Department of Information Science

### 未来の情報技術を創造する

コンピュータで何ができ、どう動き、どう作るかについて、コンピュータサイエンスの基礎から応用までを学びます。情報科学の成果は多くの分野で活用され、新しい理論や学問の創出のみでなく、次世代の新技术や産業の発展に貢献しています。情報科学科では更なる高度情報化社会の確かな担い手となる人材の育成を目指します。



## 生物科学科 Department of Biological Sciences

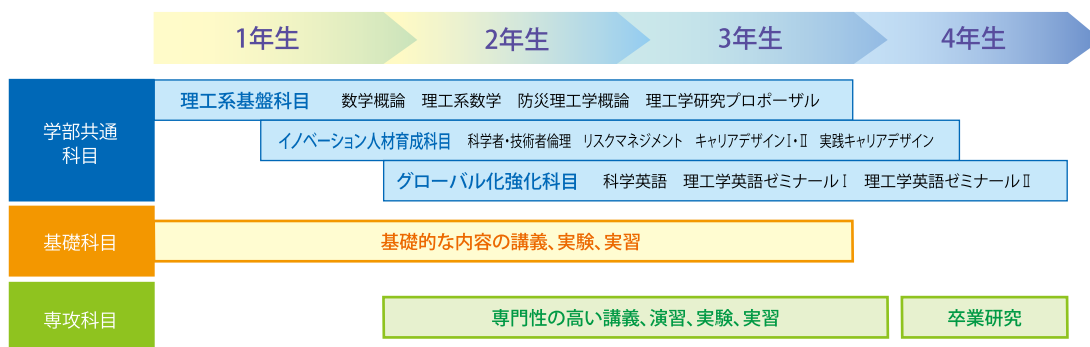
### 生物・環境、その歴史を科学する

地球生態系から分子レベルの現象まで、そして、太古の地質時代から現在、未来まで、スケールや時空を越えた幅広い領域におよぶ「生物科学」を、多様で充実したカリキュラムのもとに学びます。そして、生物科学に関する総合的な知識と技能を有し、生物多様性の保全や自然環境教育などを通じて広く社会に貢献できる人材を育成します。





## ▶ 4年間の流れ



1年次は共通教育初年次科目に加え、「数学概論」など学部共通科目、様々な基礎科目を履修します。2年次以降は専門性の高い授業・実験を履修し、4年次に「卒業研究」を行います。

## 化 学 生 命 理 工 学 科

Department of Chemistry and Biotechnology

### 分子の視点で環境・材料・生命に挑む

身近な日用品も最先端の機能性材料も生き物も、みな化学物質でできています。化学と生命科学に関する知識と実験技術を習得し、分子や細胞の性質と機能およびその仕組みを理解できるように教育を行います。環境・材料・生命などの分野において重要な課題を解決できる能力を身につけ、持続可能で豊かな社会の実現に挑む人材を育成します。



## 地 球 環 境 防 災 学 科

Department of Global Environment and Disaster Prevention

### 地球に生きる!

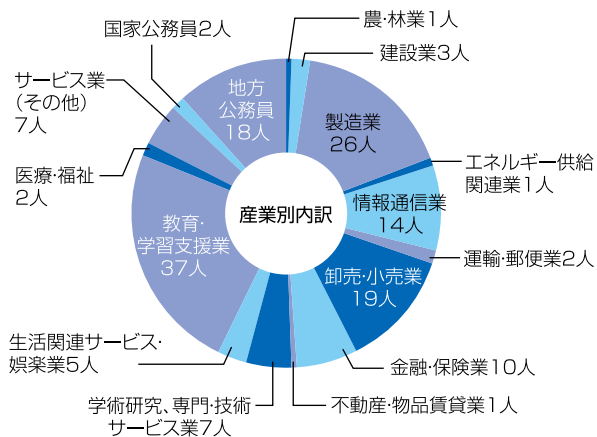
地球構成要素の特性、自然現象の発生機構、自然災害の進行準備過程、災害に対する生命財産と構造物の保全や維持に関する教育・研究を行います。理学および工学の両分野から学ぶことで、環境変化や自然災害に対する問題解決能力を持ち、かつ、自然共生型社会の構築・発展に貢献できるような高度職業人・技術者・教員・公務員・地域リーダーの育成を目指します。



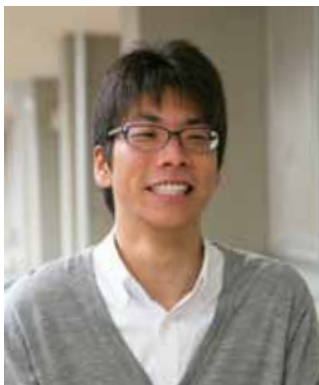
#### ■取得できる資格等(主なもの)

- 数学物理学科 数学コース:中学校教諭一種免許状(数学)/高等学校教諭一種免許状(数学)
- 数学物理学科 物理科学コース:中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/他
- 情報科学科:高等学校教諭一種免許状(情報)/情報処理技術者[要試験]
- 生物科学科:学芸員/中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/生物分類技能検定[要試験]/中級バイオ技術者[要試験]/上級バイオ技術者[要試験]
- 化学生命理工学科:学芸員/中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/毒物劇物取扱責任者[資格審査有]/危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験]/環境計量士[要試験]/有機溶剤作業主任者[要試験]/特定化学物質取扱責任者[要試験]/中級バイオ技術者[要試験]/上級バイオ技術者[要試験]
- 地球環境防災学科:学芸員/測量士補[要試験]/技術士補[要試験]/防災士[要試験]/中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/気象予報士[要試験]

#### ■就職データ 2015年3月卒業生



# Voice! 内定者の声



庭瀬 裕章 (香川県立坂出商業高校出身)

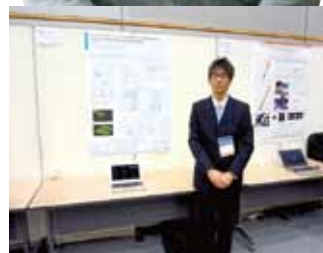
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ 技術職 平成27年度卒業

私にとって研究室との出会いは、一つのチャンスでした。先生が新しく着任され、すべてが一からスタートする中で自分を試すことができました。私の研究テーマは、究極の3Dテレビ「電子ホログラフィ」の開発です。ホログラフィは実用化されている3Dテレビと違い、見る角度を変えても違った立体像を見ることができます。電子ホログラフィの実現には様々な課題がありますが、その一つに計算量が膨大であるという問題があります。私は学部よりホログラムの計算高速化に関する研究に取り組んでおり、多数の計算機を用いて並列計算を行っています。

研究の過程では、学会活動に積極的に取り組みました。学部4年生の時には、3D関連の国際会議でポスター発表に挑戦。英語に苦労しましたが、先生の指導のおかげで何とか乗り越えることができました。大学院2年生の秋には、情報系の学会が主催する情報科学技術フォーラムで論文発表を行い、奨励賞を受賞。この時は論文提出と就職活動の時期がかぶり、就職活動先で論文の編集をするという大変な状況になりましたが、論文も就活も望んだ結果を出すことができました。

せっかくの大学時代、人と違うことが一つくらいあっていい。私の場合はそれが新しい研究室に飛び込むことでした。どんな世界でも、おもしろいことや発見に出会えます。私が大学で得たのは、そんなかけがえのない経験だったのだと思います。

就活では、学会活動を通し物事を計画的に実行する力を得たことをアピールしました



学部4年生時に参加したディスプレイ関係の国際会議でのポスター発表の様子

## 平成29年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

「●」は必須科目を表す。  
「○」は選択必須科目(その教科は必須で教科内に選択科目がある)を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。

理工学部は平成29年4月に理工学部(仮称)に改組予定です。ここに掲載した入学者選抜の実施教科・科目等は予定であり、変更もあり得ます。

### 一般入試、AO(アドミッションズ・オフィス)入試

学科名等	区分・日程	学力検査等の(募集人員)	教科・科目数	大学入試センター試験の利用教科・科目名																			個別学力検査等															
				国語	地理歴史・公民						数学				理科				外国語					教科等	科目名等 〔 〕は受験の選択・必須や必要科目数など													
			科目数	国語	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	政経	科目数	数I	数II	簿会	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数				
数学物理学科	前期(19)	5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	●	●			2					○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	1	数	数I・数II・数III・数A・数B	〔必須〕
	前期(15)	5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○			2					○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	1	理	物理基礎・物理、化学基礎・化学から1科目	〔1科目を選択必須〕
	後期(2)	4教科5科目	●	1												○	○			2					○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	1	その他	面接	〔必須〕
情報科学科	前期(16)	5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○			2					○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	1	数 理 情報	<数学>数I・数II・数III・数A・数B <理科>物理基礎・物理 <情報>情報の科学	〔1科目を選択必須〕
	後期(3)	4教科5科目	●	1												○	○			2					○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	1	その他	面接	〔必須〕
生物科学科	前期(29)	5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○			2					○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	1	理	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学から1科目	〔1科目を選択必須〕
	後期(5)	4教科5科目	●	1												○	○			2					○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	1	その他	小論文	〔必須〕
化学生命理工学科	前期(46)	5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○			2					○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	1	理	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1科目	〔1科目を選択必須〕
	後期(10)	3教科5科目														○	○			2					○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	1	その他	面接	〔必須〕
地球環境防災学科	前期(19)	5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○			2					○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	1	理	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学から1科目	〔1科目を選択必須〕
	後期(5)	4教科5科目	●	1												○	○			2					○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	1	その他	面接	〔必須〕
地球環境防災学科	AO入試I(7)			大学入試センター試験は課さない																			その他	第1次:模擬授業理解力試験	〔必須〕													
																								第2次:ゼミナール形式授業、面接	〔必須〕													



**卒業後の進路** 学部卒・大学院修了者の過去2年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です) ※旧理学部9コースで掲載

**数学コース**

伊予銀行、EMシステムズ(大阪)、宇和島自動車(愛媛)、愛媛信用金庫、かんぽ生命保険、高知銀行、国立病院機構(大阪)、後藤会計事務所(徳島)、個別教育舎、コモテック(愛媛)、Konfidence(北海道)、シー・アイ・シー、四国情報管理センター(高知)、ソリトンシステムズ、TEP(愛知)、天満屋(岡山)、東亜システム、ピーシーインクス(広島)、ヒワサキコンピュータシステム(高知)、ファーストリテイリング、高知地方検察庁、高知県庁、福山市役所、宜野湾市役所、愛媛県警、鹿児島県警、大阪府公立学校教員、神戸市公立学校教員、徳島県公立学校教員、高知県公立学校教員

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、芝浦工業大学大学院、筑波大学大学院、愛媛大学大学院

**物理科学コース**

エナミ精機、SKK(高知)、NECネットエスアイ、エルテック、関西バッテリー、グリフィン、鉦研工業、さなる(東京)、三社電機製作所、セントラル情報センター、ソフテック、東宝芸能、日亜化学工業(徳島)、日本電磁測器、日本郵便、富士通エフエス、三菱UFJインフォメーションテクノロジー、ユー・エス・イー、ワールドコーポレーション、高知県庁、広島県警、徳島県警、大阪府公立学校教員、香川県公立学校教員、高知県公立学校教員、高知県私立学校教員

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、名古屋大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、岡山大学大学院、九州大学大学院

**化学、応用化学コース**

石敏鐵工(愛知)、石原ケミカル(兵庫)、上野ガス(三重)、沖縄ココ・コーラボトリング、オムロン、香川銀行、科研製薬、技研製作所、京都銀行、寿製菓(鳥取)、コンピューターマネージメント(大阪)、三洋化成工業(京都)、四国銀行、昭和樹脂工業(長野)、スカイネットアジア航空(宮崎)、大王製紙、ダイソー(大阪)、但馬信用金庫、中国水工(山口)、東邦ゴム工業(石川)、東洋技研(高知)、東洋電化テクノリサーチ(高知)、トライス(三重)、ナガト(広島)、日亜化学工業、日研トータルソーシング、日本航空、ノザワ(兵庫)、ビッグモーター(山口)、ヒワサキ(高知)、北興化学工業、マイクロメモリジャパン、森田化学工業(大阪)、レッドパロン、大阪府立産業技術総合研究所、丹波市役所、高知市役所、警視庁、愛知県警、静岡県公立学校教員、大阪府公立学校教員

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、北海道大学大学院、富山大学大学院、岐阜大学大学院、名古屋大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、神戸大学大学院、兵庫教育大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院

**生物科学コース**

アイリスオーヤマ(宮城)、阿波銀行、伊予銀行、NTT西日本、NTTマーケティングアクト、香川銀行、鴨川シーワールド(千葉)、関西電機機器(兵庫)、共立製菓、共栄フード、クラブ(岡山)、山陽薬品、サンダイコー(大分)、サンブラザ(高知)、シー・アイ・シー、GMOクラウド、四国銀行、四国医療機器、四国労働金庫、シノプフーズ(大阪)、新保哲也ワッフルケーキR.L. 関(高知)、チャーム、土佐料理司(高知)、富田製菓、日東メディック(富山)、日本気象協会、日本プロセス、ベストケア、本部三度(大阪)、まつだ寝具店(高知)、モンベル(大阪)、理研食品(宮城)、鳥取県庁、姫路市役所、高知市役所、天草市役所、静岡市消防局、川崎市公立学校教員、和歌山県公立学校教員、岡山県公立学校教員、岡山県私立学校教員、高知県公立学校教員

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、北海道大学大学院、横浜国立大学大学院、神戸大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、琉球大学大学院、大阪市立大学大学院

**地球科学コース**

環境科学研究所(愛知)、キンキ地質センター(京都)、コベルコ科研、三洋テクノマリン、シモハナ物流、住鉱資源開発、ダイヤコンサルタント、地圏総合コンサルタント、東建ジオテック、トータルメディア開発研究、ドリコ(東京)、レジェンド・アプリケーションズ、兵庫県庁、津島市役所(愛知)、香美市役所、高知市消防局

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、茨城大学大学院、九州大学大学院

**情報科学コース**

IDEC(大阪)、AVCテクノロジー、エクサ(神奈川)、SGシステム、エスユーエス、NTTビジネスソリューションズ、愛媛銀行、エルテック(兵庫)、ケイ・オブティコム(大阪)、高知システムズ、佐賀電算センター、スクラップカスタムPCスクラップ(香川)、セリオ(岡山)、ソフテック(高知)、デジタルピア(愛媛)、デンソーテクノ、トッパン・テクニカル・デザインセンター、日本郵便、日本データスキル(神奈川)、ピープルソフトウェア(岡山)、日立システムズ、赫山慶光園(岡山)、ファームサービス(愛媛)、富士通九州ネットワークテクノロジー、富士通システムズウエスト、富士通ソフトウェアテクノロジー、マツダ、マルウ接着、三井造船システム技研(千葉)、三菱自動車工業、三菱電機インフォメーションシステムズ、三菱電機マイコン機器ソフトウェア、山口フィナンシャルグループ、大分県庁

▶**大学院進学先** 高知大学大学院

**海洋生命・分子工学コース**

AOKI、アドバンテック(愛媛)、イカリ消毒、井上誠耕園(香川)、イーピーアイ・コーポレーション、エスアールエル、エフコープ生協(福岡)、MRP(広島)、岡山木村屋、カネ美食品(食品)、熊本赤十字病院、倉敷化工、ケー・イー・シー、構管技術コンサルタント、高知県市町村総合事務組合、高知電子計算センター、コスモ工機、コスモス薬品(福岡)、再春館製菓所、サンブラザ、JTB中国四国、翔楽(福岡)、白金鍍金工業(愛知)、住友生命保険、全星薬品工業(大阪)、創生(京都)、SOLIZE Engineering、中野製菓(京都)、日亜化学工業、日本たばこ産業、ニヨド印刷(高知)、ノーバス、野口観光(北海道)、久光製菓、ビッグモーター(山口)、ヒワサキグループ、アジアノ岡山スポーツクラブ、伏見製菓所(香川)、北越東洋ファイバー(静岡)、丸住製紙(和歌山)、みやさん食品(宮崎)、山口茶業(山口)、よんやく(愛媛)、京丹後市役所、御坊市役所、美波町役場(徳島)、神戸市公立学校教員、香川県公立学校教員

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、広島大学大学院、愛媛大学大学院

**災害科学コース**

アウトソーシングテクノロジー、ウェザーニュース(千葉)、愛媛銀行、エルテック(兵庫)、川崎地質、ケースグループ(ビッグ・エス)、JTB情報システム、新来島どっく(愛媛)、T&D情報システム(埼玉)、東京大学地震研究所、日立ソリューションズ・クリエイト、広島信用金庫、真鍋造機(愛媛)、Wano、国土交通省四国地方整備局、沼津市役所、福山市役所、太宰府市役所、長野県公立学校教員

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、新潟大学大学院、京都大学大学院、九州大学大学院

[一般入試 備考]

- (1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。  
 利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない)。「英語」についてはリスニングを含む。「数学」の教科については『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
- (2) [個別学力検査等]欄について: 出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

**推薦入試**

学科名等	学力検査等の区分・日程(募集人員)	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		科目名等		教科等	科目名等
数学物理学科	数学受験	推薦入試 I (10)		その他	小論文、口頭試問を含む面接 [必須]
	理科受験	推薦入試 I (8)		その他	口頭試問を含む面接 [必須]
情報科学科	推薦入試 I (10)	大学入試センター試験は課さない		その他	口頭試問を含む面接 [必須]
生物科学科	推薦入試 I (10)			その他	口頭試問を含む面接 [必須]
化学生命理工学科	推薦入試 I (13)			その他	口頭試問を含む面接 [必須]
地球環境防災学科	推薦入試 I (8)			その他	口頭試問を含む面接 [必須]
				その他	口頭試問を含む面接 [必須]

人間とその病態の中に真理を見出す

# 医学部

Medical School

学科・コース

医学科

看護学科

アプリをダウンロードして  
スマホで読み込もう

詳しくは  
90ページ



## 高知県の地域医療に貢献する

近年におけるサイエンスとしての医学・医療の飛躍的な進歩は、社会全体にさまざまな衝撃を与え続けており、これに対応するためには、医学・医療に携わる個人が自ら自分自身の倫理体系を構築しなければなりません。その基盤となるのは、長時間を要して培われた、強靱な倫理的能力とバランス感覚に支えられた多面的な考察力及び問題解決能力です。

医学部では、このような能力、医学・医療に対する強い志望動機、ならびに適性を具備した人材を広い領域から発掘し、今世紀における多様な社会的ニーズに応えうる高い倫理観、使命感、ならびに思考の柔軟性を有するとともに、高知県の地域医療に貢献する強い意欲をもつ医療人の育成を目指しています。

## アドミッションポリシー

近年におけるサイエンスとしての医療の飛躍的な進展は、国際社会に様々な衝撃を与え続けており、こうした社会情勢における多様な価値観の変動に的確に対処するためには、各医療人が自分自身の「倫理体系」を構築することが求められます。

高知大学医学部では、倫理体系構築の基盤となる資質としての、「強靱な論理的思考能力」「バランス感覚に支えられた多面的な考察力」「共感的能力」および「問題解決能力」を有する人材を求めています。

▶ 医学部ホームページ <http://www.kochi-ms.ac.jp/>





## 先輩にきく 災害医療に貢献したい

小松 明日香 医学科4年(高知県 私立高知学芸高校出身)

高知大学は、やる気さえあれば、学びのチャンスがとて多い大学です。私はこれまで基礎となる授業や実習に取り組む一方で、自分の志す災害医療の授業や被災地でのフィールドワークなど、様々な経験を得てきました。

私が災害医療に興味を持ったのは、医系の職にある父が東日本大震災の被災地支援に入ったことがきっかけ



高知大学で行った東北での実習報告会の様子



東北大学主催の被災地医療実習では、病院関係者から被災時の状況や対応を聞いた。(写真中央は、ホテル観洋語り部の伊藤さん)

です。入学後、1年生の夏休みには父の勧めで東北の被災地を見て回りました。4年生では救急医療の講座を必修で受講。南三陸町で震災にあった病院の医師の話を書く機会をいただきました。さらには先生方の手助けもあって、4年生の夏休みに同級生たちと一緒に東北大学主催の被災地医療実習に参加。震災を経験した病院やホテルを回って話を聞かせていただいたり、他大学の医学生と意見を交わしたりする中で、いざという時のために普段何が必要かを意識するようになりました。

入学当初は漠然と災害医療をイメージしていた私ですが、DMAT(災害時派遣医療チーム)だけでなく、避難所生活を支える公衆衛生、診療所などで日頃から患者さんを支える地域医療など、すべての医療が災害医療につながっているとわかり、今はどの道に進むか模索している最中。患者さんや地域の役に立てる医療人になりたいと思っています。

勉強や実習の傍ら  
バレーボール部にも所属。  
両立のポイントは、  
「どちらも全力投球!」



## 教員にきく

### 真理を探究し、人間性豊かな医療人に

本家 孝一 医学部長

あなたはどんな医療人になりたいですか?ただ成績がいいから医学部に進むのではなく、高い志をもって自分だけのプラスαを見つけ、“一味違った”医師、看護師になってほしいと思います。

本学の学びの特徴としてまず挙げられるのは、医学科2~4年生の希望者が学ぶ「先端医療学コース」です。研究の面白さと達成感を体感して、真理を探究するリサーチマインドを育てることが目的です。また、高知の地域特性を活かした学びに「家庭医療学講座」があります。これは、プライマリ・ケア(患者さんの身近にある総合的医療)を担う家庭医について地域の現場で学ぶものです。さらに「災害・救急医療学講座」では、近い将来必ず起こる南海トラフ地震に備え、災害・救急医療のシミュレーションや研究を行っています。こういった学びは、次世代の医療を担う上できっと大きな糧になります。みなさんもぜひ高知大学で学び、人間性豊かな真の医療人を目指してください。

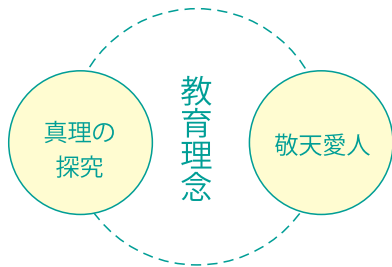


### カリキュラム例

<p><b>医学科</b> 6年間を通じて地域医療を学ぶカリキュラムや、PBL/先端医療学の選択コース制を導入しています。</p>	<p><b>看護学科</b> 4年間を通しての看護専門職としての基礎能力の育成、学生のニーズにあわせた専門科目(保健師、養護教諭、高校看護教諭、実践能力の高い看護師)の選択制を導入しています。</p>
<p>6年一貫の医学教育を目指して高知大学医学部独自のKMSコアカリキュラムを実施している。 カリキュラムの構成と学年配置は、共通教育科目(1年)、専門科目I[コア準備](1~4年)、専門科目II[コア科目基礎系](2~4年)、専門科目III[コア科目臨床系](3~4年)、専門科目IV[臨床実習・統合医学](5・6年)。 さらに専門科目II~IVの授業科目はコアカリキュラムの区分に従い、A 基本事項、B 医学・医療と社会、C 医学一般、D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療、E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療、F 診療の基本、G 臨床実習に分類される。</p>	<p>カリキュラムは共通教育科目と専門科目で構成される。共通教育科目は、大学生として身につけるべき基礎知識・技術を学ぶ初年次科目と各学生がある程度自由に選択できる教養科目からなる。専門科目は専門共通科目として基礎看護学、臨床看護学および地域看護学から構成され、1年生から履修を開始する。さらに保健師を目指す人は保健師養成科目を3年生から履修し、看護師の実践力育成を目指す人は看護師実践力育成科目を4年生から履修する。なお、養護教諭や高校看護教諭を目指す人はそれに必要な科目を1年生から履修する。</p>

# 医学科 Medical Course

## 高度な知識・技能を身につけた「心を診る医師」を養成する



### 教育理念

医学科は、前身である高知医科大学建学の精神「敬天愛人」と「真理の探究」に則り、人間性豊かで、医の倫理と高度な知識・技能を身につけ、地域と時代の要請に柔軟に応じうる医師を養成します。

### 求める学生像

医師には、患者さんとの良好な関係を築く技能、多岐にわたる医療スタッフとの円滑なコミュニケーション能力、情報収集能力、総合判断力などが強く求められます。

### ▶ 1年生から6年生までの概要

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	医師国家試験	
教養科目							
	基礎医学・実習 解剖／病理／生理／薬理／微生物／公衆衛生／生化学／免疫／他				advanced OSCE (態度・技能)		
EME 初期臨床医学体験		臨床医学 内科学総論／外科学総論／老年病学／呼吸器病学／消化器病学 内分泌・代謝学／脳神経外科／循環器病学／血液病学／他		診療参加型臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)			
				共用試験※ CBT(知識)／OSCE(態度・技能)			

※学生の能力と適性についての一定水準を確保するために実施する全国共通の標準評価試験。この試験に合格後、臨床実習へ進む。



## 学びの特色

地域医療を理解するために、全学年において様々な科目が用意されています(EME初期臨床医学体験、大学基礎論、基礎社会医学、診療施設体験学習、地域医療学、保健医療制度、社会医学演習、臨床実習など)。また、2～4年生の間はPBLによるグループ学習が先端医療学推進センターでの研究体験のいずれかを選択します。

地域医療学の充実	先端医療学研究	PBL学習の導入
6年間を通じて実際の地域医療に触れる様々なカリキュラムが用意されています。ヒューマニズム溢れる豊かな医療人を育てます。	先端医療学推進センターを設立。研究・教育・診療を有機的に連動させたリサーチマインドを持った研究者の育成に力を入れています。	自ら学び、問題を解決する能力を身につけるためにPBL(Problem Based Learning)を導入。少人数グループで議論し能力を研ぎます。

## +α 家庭医道場

医学部

看護学科

地域の中で、患者さんのことを家族や生活も含めてよく知った上でその人の健康問題に幅広く対応し、長期的に支える医師が家庭医です。その心構えと必要な能力を学ぶため、毎年春と秋の二回、家庭医道場が開かれています。

### 地域医療を現場で学ぶ、熱い合宿!

道場では中山間地域や離島に出向き、地域の人々や地域医療を実践している医師と交流します。家庭医に必要な技術、コミュニケーション力を養うほか、「人を診る」という医療の本質にも触れられます。医学科・看護学科とも1年生から参加できるので、ぜひ挑戦してください!



## 医療者のあり方を考える機会に

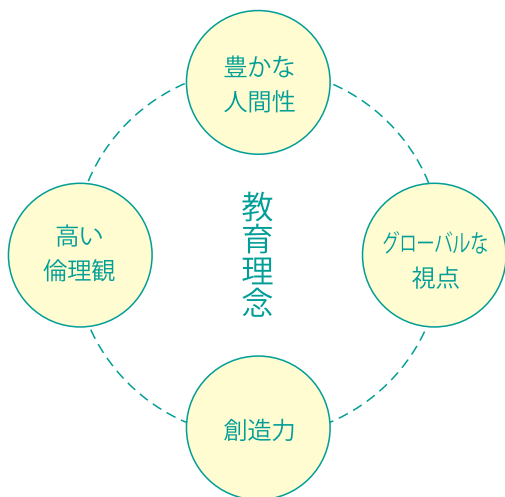
佐藤 春花 医学科3年(高知県 私立高知学芸高校出身)



家庭医道場では普段の授業とは違い、道場という名の通り、実際に地域に行き、その土地の人々とふれあい、フィールドワークを行うなどして五感を使って自主的に学べます。実際に地域に足を運ぶことで、その地域の現状を知り、地域の特性に合わせた医療を提供する必要があるなど、授業だけでは知り得なかったこともたくさん学びました。また、普段話す機会が少ない先生方や学生と話すことができるのも魅力の一つです。学生のうちに多くの価値観に触れることは、将来の自分にとって貴重な経験になると思います。家庭医道場は将来や医療について考えるきっかけを与えてくれる場です。この道場で得た経験を、これからは活かしていきたいと思っています。



## 次代のニーズに応え、地域保健医療に貢献する看護専門職



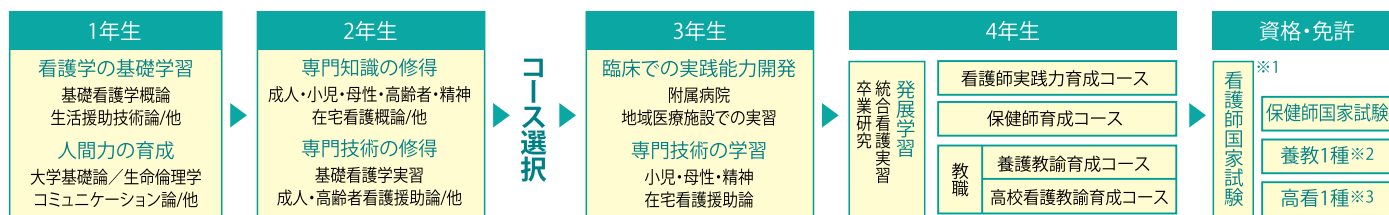
### 教育理念

看護学科は豊かな人間性と高い倫理観に裏付けられた感性を持ち、看護をグローバルな視点からとらえ、人々の健康生活上のために援助し、看護学の発展に貢献しうる創造力を有する人材を育成します。

### 求める学生像

看護学科では、人間に興味があり、命と生活を支援する「ライフサポーター」を目指す、「人間力」溢れる人材を求めます。看護学科が考える「人間力」は、次のような能力です。

1. 豊かな倫理的感性を持つ
2. 生命の尊厳を理解し、人権を尊重する
3. 問題解決に向かって積極的に取り組む
4. チームワーク達成に尽力できる
5. 基本的生活習慣を身につけ、自己管理できる



※1：看護師国家試験受験資格は、全員が取得できます。

※2・3：4年生では、保健師養成科目、看護師実践能力育成科目、教職科目のどれかを選択。ただし、保健師養成科目・教職科目を履修するためには、3年生までに関連科目の修得が必要。

### 学びの特色

1年生から、附属病院の外来や病棟で患者さんに接する体験や看護の基礎技術を学ぶなど専門性のある授業を取り入れています。グループで協力して課題に取り組む授業、社会で必要な教養を身につける授業など、人間力を高める授業も充実しています。実習では、附属病院や地域の施設などで、先端医療から地域で求められる確かな看護実践力を身につけることができます。卒業研究では、探究心や自分で学ぶ姿勢を養います。知識、技術は日々進歩します。自ら未知の課題に取り組むことにより、卒業後も継続して学び続ける力がつきます。4年生では自分の将来に向けて、より専門性を高めるコースが準備されています。

施設との連携体制	専門育成コース
高知大学は県内広域の多数の施設と連携体制にあります。地域看護学実習では、その地域に宿泊することで、技術と人間的な成長も望めます。	保健師育成コース、教諭(高校看護または養護)育成コース、看護師実践力育成コースの中から、目的に応じたコースを選択できます。

## +α 台湾留学

医学部  
看護学科

看護学科では、国立台湾大学看護学科と国際交流協定を結び、相互に交換留学生を派遣しています。本学からの留学生は、台湾の学生と共に講義や実習を受けたり、施設見学や学生間交流を持つことにより台湾の看護学教育や文化に触れることができます。

### 海外留学で国際看護を考える

看護基礎教育カリキュラムの中でも「国際看護」がクローズアップされ、これからの看護職にとって国際的視点は欠かせないものとなりました。「国際看護」はそれぞれの文化や考え方、生活習慣の違いを理解することから始まります。この短期留学での体験は、国際的視点から看護を考える第一歩に役立つはずです。



## 学びの多い台湾留学

藤原 麻那 看護学科3年(高知県私立土佐女子高校出身)



同じ看護を学んでいる海外の学生と交流し、自己の視野を広げてみたいと思い、参加させていただきました。台湾大学の学生や先生方も親身になってサポートしていただき、充実した留学生活を送ることができました。

台湾大学では授業・実習の一部にも参加しました。台湾大学付属病院、地域医療の拠点である金山分院の見学や台湾の医療制度や看護教育を知り、日本との違いを学びました。また、留学中には文化施設や観光地を案内してもらえるので台湾の医療だけでなく歴史や文化についても体感できました。台湾大学は、海外交流も活発で、学生がより国際的な看護教育を受けていることや積極的に学ぶ姿に多くの刺激を受け、新たな学びを得ることができました。





**卒業後の進路** 学部卒者の過去2年間の主な就職先・進学先です。

**医学科**

卒業して医師国家試験に合格したのち2年以上の臨床研修修了が義務づけられています。大学病院等の臨床研修プログラムに従い外部の病院も含め各診療科をまわって研修を行います(初期研修)。初期研修修了後はより専門性の高い修練を行いながら医師としての能力を身につけていきます。初期研修から給料が支給されます。

**▶卒業者が研修を行っている高知県内の基幹型臨床研修病院**

高知大学医学部附属病院、国立病院機構高知病院、高知赤十字病院、高知医療センター、高知県立幡多けんみん病院、高知県立あき総合病院、近森病院、細木病院

**▶卒業者が初期研修を行っている高知県外の大学病院(大学名のみ)**

自治医科大学、千葉大学、東京大学、東京医科歯科大学、昭和大学、慶應義塾大学、杏林大学、日本医科大学、東京慈恵会医科大学、横浜市立大学、福井大学、新潟大学、三重大学、京都大学、大阪医科大学、神戸大学、和歌山県立医科大学、岡山大学、広島大学、徳島大学、九州大学、福岡大学

**▶卒業者が初期研修を行っている高知県外のその他の基幹型臨床研修病院(抜粋)**

札幌東徳州会病院、気仙沼市立病院、会津中央病院、寿泉堂総合病院(福島)、日立製作所ひたちなか総合病院、千葉市立青葉病院、成田赤十字病院、聖路加国際病院(東京)、東京北医療センター、東京労災病院、横浜市立市民病院、伊勢原協同病院、川崎市立井田病院、沼津市立病院、伊東市民病院、名古屋記念病院、名古屋市立西部医療センター、渥美病院(愛知)、春日井市民病院、第二岡本総合病院(京都)、大阪市立総合医療センター、大阪市立総合医療センター、公立豊岡病院(兵庫)、神戸市立医療センター、神戸中央病院、甲南病院(兵庫)、姫路赤十字病院、岡山済生会総合病院、岡山労災病院、水島協同病院(岡山)、広島総合病院、香川県立中央病院、愛媛県立中央病院、千鳥橋病院(福岡)、飯塚病院(福岡)、沖縄県立中部病院

**看護学科**

**■看護師**

**▶高知県内の病院**

高知大学医学部附属病院、高知医療センター、高知県立幡多けんみん病院、高知県立あき総合病院、近森病院、細木病院、高知生協病院、高須病院

**▶高知県外の大学病院(大学名のみ)**

自治医科大学、東京大学、杏林大学、順天堂大学、東海大学、京都府立医科大学、大阪大学、大阪医科大学、近畿大学、神戸大学、兵庫医科大学、和歌山県立医科大学、岡山大学、川崎医科大学、広島大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、九州大学

**▶高知県外のその他の病院**

市立札幌病院、土浦共同病院(茨城)、市川総合病院(東京)、立川病院(東京)、横浜労災病院、関東労災病院(神奈川)、静岡県立こども病院、静岡赤十字病院、三菱京都病院、大阪市立総合医療センター、住友病院(大阪)、国立循環器病研究センター(大阪)、牧方公済病院(大阪)、兵庫県立加古川医療センター、兵庫県立がんセンター、兵庫県立こども病院、神戸市民病院機構、神戸市立医療センター、兵庫県立西宮病院、西神戸医療センター、北播磨総合医療センター(兵庫)、近畿中央病院(兵庫)、兵庫県病院、明石市立市民病院、岡山市立市民病院、倉敷中央病院、鳥取県立中央病院、県立広島病院、マツダ株式会社マツダ病院(広島)、広島市民病院、呉共済病院、徳島赤十字病院、徳島県病院、香川県立病院、四国がんセンター(愛媛)、愛媛県立病院、北九州市立八幡病院、佐世保中央病院、大分県立病院、鹿児島市立病院

**■保健師**

高知県、奈良県、滋賀県、山口県、高知市、香美市、香南市、宿毛市、室戸市、宝塚市、岡山市、宇和島市、中土佐町(高知)、いの町(高知)、佐川町(高知)、本山町(高知)、琴平町(香川)、伊方町(愛媛)、日之影町(宮崎)、大川村(高知)、四国電力株式会社、成仁病院(東京)

**■養護教諭(非常勤、臨時講師を含む)** 高知県、島根県、広島県、島根県、山口県、徳島県、福岡県、長崎県、名古屋市、尾道市、かつらぎ町(和歌山)

**■保育士** 社会福祉法人いずみ保育園(徳島)

**■大学院等進学先** 高知大学大学院看護学専攻、高知県立大学大学院、日本赤十字社助産学校(東京)、名古屋大学大学院、神戸医療福祉専門学校、岡山大学教育学部養護教諭特別別科、岡山大学教育学研究科、島根県立大学別科助産学専攻、県立広島大学助産学専攻科、穴吹リハビリテーションカレッジ理学療法学科(香川)、愛媛県立医療技術大学助産学専攻科

※医学部医学科入学者の方を対象に「高知県医師養成奨学金貸付制度」があります。

なお一般入試「地域枠」及び推薦入試Ⅱ「四国・瀬戸内地域枠」での入学者は、本制度の貸与申請を行うことを原則としています。詳細については、学生募集要項及び高知県ホームページの健康政策部医師確保・育成支援課の「医学生・研修医への貸付金」サイトから「高知県医師養成奨学金貸付金等制度のご案内(pdf)」をご覧ください。

**【一般入試 備考】**

- (1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。)  
利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない。)[英語]についてはリスニングを含む。「数学」の教科については『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
- (2) [個別学力検査等]欄について: 出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

**推薦入試** [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄については、一般入試「備考」を参照のこと。※医学科推薦入試Ⅱは「四国・瀬戸内地域枠(四国4県と兵庫県、岡山県、広島県、山口県の高専出身者)」として募集する。

学科名等	区分・日程 学力検査等の (募集人員)	大学入試センター試験の利用教科・科目名																	個別学力検査等																	
		教科・科目数		国語					地理歴史・公民					数学					理科					外国語					教科等	科目名等 〔 〕は受験の選択・必須や 必要科目数など						
		国語	科目数	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	政経	倫政経	科目数	数I	数II A	数II B	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	科目数	英語			独語	仏語	中国語	韓国語	科目数	
医学科	推薦入試Ⅱ(15)	5教科7科目	●	1		○	○	○						○	1	●	●			2					○	○	○	2	●				1	その他	面接	〔必須〕
看護学科	推薦入試Ⅰ(25)																																	その他	総合問題、面接	〔必須〕

# 人と自然が共存していく道を探求する 農林海洋科学部

Faculty of Agriculture and Marine Science

## 学科・コース

農林資源環境科学科

暖地農学領域

自然環境学領域

森林科学領域

生産環境管理学領域

農芸化学科

海洋資源科学科

海洋生物生産学コース

海底資源環境学コース

海洋生命科学コース

アプリをダウンロードして  
スマホで  
読み込もう

詳しくは  
90ページ



## 農学部は、農林海洋科学部へ

国の施策、高知県の産業振興計画として生産現場の強化、農畜産物の高付加価値化、中山間地域対策の強化等が挙げられています。また、国の「海洋基本計画」等では、地域間あるいは国際間で天然資源の維持管理に必要な基礎的知識を有する海洋人材の育成が強く求められています。

このような課題に対応するため、農林海洋科学部では、農林資源環境科学科、農芸化学科、海洋資源科学科の3学科体制により、農学・海洋科学分野のバックグラウンドとなる専門的知識をもって、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する人材を育成します。また、特別教育プログラムとして、国際協働特別プログラム及び農山漁村地域連携プログラムによる分野横断的教育が実施できる体制の再構築もあわせて行います。

～平成27年度

農学部

農学科

暖地農学コース

海洋生物生産学コース

食料科学コース

生命化学コース

自然環境学コース

流域環境工学コース

森林科学コース

国際支援学コース

平成28年度～

農林海洋科学部

農林資源環境科学科

農芸化学科

海洋資源科学科

これからの日本を  
創るために  
必要な専門性が  
身につくシステムに!



▶ 農林海洋科学部ホームページ <http://www.kochi-u.ac.jp/agrimar/>





## 先輩にきく

### 好きなことに挑戦できる環境がある

大学は自分の手で、  
世界を広げていける場です。  
貪欲に学んでいって  
ください!

蔭山 博子 大学院総合人間自然科学研究科(農学専攻)1年(大阪府立豊中高校出身)平成26年度農学部卒業

私はこれまで、研究活動、サークル活動と並行して中山間地域での農業インターンや地場産品開発プロジェクトに取り組み、忙しいけれど充実した時間を過ごしてきました。

研究室での私のテーマは、微生物で発酵させた発酵茶の機能性や高付加価値化。乳酸菌を使って野草から健康増進効果のあるお茶が作れるか、またそこに特産品のユズを添加して付加価値を高められるか、という研究をしています。

サークルは、よさこいチーム「<sup>ほむら</sup>炎」に所属。踊るのが楽しくて、物部キャンパスへ移ってからも、毎日朝倉へ通っていました。



「JAPAN FOOD FESTA 2013」に出展。  
他大学の学生からもいい刺激もらった。

農業インターンで過疎高齢化の進んだ怒田地域に入ったのは、学部2年生です。畑を借りて自分たちで耕し、様々な野菜を育てました。その後、3年生の授業で怒田特産の紫豆の商品開発に挑戦。お世話になった地域の活性化に近づきたいと、甘納豆を作りました。完成品は日曜市で販売したほか、農林水産省主催の「JAPAN FOOD FESTA」にも出品。「食と農林漁業大学生アワード」でプレゼンする機会もいただきました。

これらの経験を振り返って思うのは、大事なのは大学のランクや知名度ではないということ。思いっきり学べる環境があるか、それを自分が活かせるかどうか大切だと感じています。



## 教員にきく

### 陸から海までの地球資源の活用法を探る

尾形 凡生 農林海洋科学部長

高校生のみなさん!新しい農林海洋科学部は、これまでの農の学びをパワーアップさせ、かつ海の学びの幅を広げた、全国どころか世界でも例を見ない新しい学部です。

農学は、地球に降り注ぐ太陽エネルギーを生物のちからで人間が利用できる資源に変え、その資源の効率的獲得・利用方法をあみだすことで人のいのちと暮らしを支えてきた科学分野です。これまで海の資源というが魚だけがイメージされがちでしたが、実は海は、海底の鉱物や海中の微生物など有用な資源の宝庫であり、今その活用・管理ができる人材の確保が急がれています。また陸の資源についても、人をとりまく自然環境との共存や、化学を切り口にした農芸化学の生命科学全般への展開など、新時代の産業科学への期待が急速に高まっています。新学部ではこうした社会ニーズに対応した学びを、みなさんに提供していきます。

農林海洋科学を学ぶ格好のフィールドである山・川・海に近いのが高知大学の何よりの取り柄です。学部全領域を体験するフィールドサイエンス実習や、国際協働特別プログラム、農山漁村地域連携プログラムなど、体験型の学びも充実!ぜひ一緒に新しい世界に挑みませんか?



カリキュラム例 1年次は、一般的な教養科目のほか、農林海洋科学部の全教員が総動員で担当する山・川・農地・海での現場体験型授業「フィールドサイエンス実習」が必須となります。

農林資源環境科学科	農芸化学科	海洋資源科学科
<p>■学科共通</p> <p>農林資源環境科学基礎実習、水資源学、植物生育学、物理学概論、生態学、統計学、現代応用生物学</p> <p>■暖地農学領域</p> <p>農場実習、暖地園芸学概論、動物生産学概論、農業経営学、食用作物学、植物育種学、施設生産学概論、花卉園芸学、果樹園芸学、家畜管理学、蔬菜園芸学、農山村資源利用論、熱帯園芸学、環境保全農業論、植物栄養学、食品流通論</p> <p>■自然環境学領域</p> <p>自然環境学実習、地域生態学、昆虫学、生物環境システム学、魚類生態学、熱帯環境論、動物生態学、施設生産システム学、生物多様性管理学、農業気象学、植物機能科学、農業化学、植物微生物相互作用論</p> <p>■森林科学領域</p> <p>森林生産技術実習、森林マネジメント論、森林資源環境利用学、地理情報システム学、木質成分化学、森林生態学、木材利用学実習、森林経済学、森林土木学、樹木学実習、樹病学、木質材料工学、山地測量設計実習、森林保護学、林産製造学</p> <p>■生産環境管理学領域</p> <p>土壌物理学、環境デザイン、水理学、環境水質学、測量学、地域協働インターンシップ、制水施設工学、土質力学、構造力学、地域環境管理学、食料品質評価学、生産環境管理学、農地環境保全学、食料生産プロセス学</p>	<p>農芸化学概論、植物資源科学、無機化学、微生物学、食品生化学、基礎分析化学、土壌学、基礎有機化学、生物化学、食品化学、植物感染病学、動物生産・繁殖学、土壌環境科学、植物栄養学、有機化学、植物細菌学、動物発生工学、食品分析学、代謝生化学、応用微生物学、微生物生理学、植物生育環境学、農産物利用学、食品保存学、生理活性物質化学、植物微生物相互作用論、栄養化学、微生物遺伝子工学、食品衛生学、土壌微生物生態学、生体高分子化学、生物環境分析学、植物医学概論、フードビジネス概論</p>	<p>■学科共通</p> <p>海洋科学概論、水質学、海洋観光論、海洋基礎生態学、台形形成学、科学英語コミュニケーション</p> <p>■海洋生物生産学コース</p> <p>水産生物学、沿岸環境学、魚類生理学、魚病学、水産物利用学、環境微生物学、水産化学、水産増殖学、水産遺伝学、育種学、魚類防疫学、水産環境学、魚類栄養飼料学、水産物品質管理学、水産資源学、水産食品原料学、水産法規学</p> <p>■海底資源環境学コース</p> <p>海底地形処理、海底資源岩石鉱物学、海洋情報化学、海底資源学、資源探査学特論、流体力学、水圏地球化学、地球年代学、資源分析化学、現場化学計測、海洋環境アセスメント学、海底資源物性学、地球物質循環学、海底資源地質学</p> <p>■海洋生命科学コース</p> <p>海洋生物生理・生態学、海洋深層水科学、社会栄養学、分子細胞生物学、天然物有機化学、天然物医薬品化学、海洋進化生態学、バイオインフォマティクス、海洋天然物化学、活性発現機構、生物有機化学、機器分析学、医薬関連法規</p>

# 農林海洋科学部 Faculty of Agriculture and Marine Science

## 教育理念

山から海までの広範なフィールドを有する高知県のメリットを最大限活かして、「人と環境が適切な共生関係を保ちながら持続的発展する未来社会」の構築に貢献できる意欲ある人材を育成します。

農学・海洋科学分野の専門的知識や実践的技術、及び豊かな教養を身につけて、ものごとを広い視野から科学的に捉えることができ、課題発見能力、自律的な問題解決能力、さらには世界に向けての発信能力を備えた人材を育てます。

## 学びの特色

- 必修の「フィールドサイエンス実習」をはじめとする多くの実験・実習科目を履修でき、経験と実践力を身につけることができます。
- 「基礎科目」、「応用科目」、「発展科目」の区分に分けられた専門科目を、体系的に効率よく学ぶことができます。

## 求める人材像

- 農学・海洋科学の専門知識を修得するために必要となる高校履修教科の基礎的事項を身につけている人。
- ものごとを客観的に捉えることができ、科学的・論理的に判断することのできる人。
- 農学・海洋科学に強い関心を持ち、意欲的、かつ真摯に学ぶことのできる人。
- 自分の考えを、言葉や図表を適切に用いて正確に伝えることの基礎が身についている人。

実物に勝るものなし — 高知を体験する フィールドサイエンス実習	国際協働と地域社会について さらに深く学ぶ — 学部横断型プログラム
体験的コンテンツを盛りだくさんに組み合わせた「フィールドサイエンス実習」を学部新入生全員が履修します。高知県で学ぶことのメリットを強く実感できます。	地域社会、国際社会の持つ諸課題に取り組む能力を養う「国際協働特別プログラム」や「農山漁村地域連携プログラム」を、どの学科の学生でも履修することができます。
 農林資源環境科学	 農芸化学
 海洋資源科学	

# 農林資源環境科学科

Department of Agriculture, Forestry, Bioresource and Environmental Sciences

## 農的ものづくりと環境との持続的調和を担う

### 学びの特徴と求める人材像

農林資源環境科学科では「農業、林業とそれをとりまく生産環境」や「人と自然環境の共生」、さらにこれらの勉強・研究に必要な「バイオテクノロジー」に興味を持つ学生を広く受け入れ、農学関連分野に関わる諸課題を自律的に解決できる人材を育成します。1年次〜2年次前半で農学の基礎を幅広く学び、2年次後半から「暖地農学」「自然環境学」「森林科学」「生産環境管理学」の4領域から主専攻・副専攻を各1領域ずつ選択し、3年次以降は産業や資格に対応した専門性を養います。また、生産環境管理学領域ではJABEE認定のカリキュラムコースが準備され、卒業と同時に技術士補相当の修習技術者の資格が取得できます。



暖地農学領域	自然環境学領域	森林科学領域	生産環境管理学領域
太陽の恵み豊かな高知で農学を学ぶ 高知県には、急峻で狭隘な地形の不利を克服するために、温暖多照な気候を活かして、工夫ある農業を営んできた長い歴史があります。農作物の生産技術の開発、高度な環境調節・遺伝的改良など、世界に発信できる農学を高知で学びませんか？	生命と自然の未来地図を描く。 様々な問題が複雑に絡み合う地球。これからは、深い専門知識と生態系を地球規模からマイクロレベルまで様々なスケールで総合的に理解する人材が求められます。自然環境と人間の共生について考え、豊かな生態系を次世代に引き継ぐことのできる人材の育成を目指します。	都市を支え、海を恵む森林の可能性に迫る。 森林は、地球の二酸化炭素の循環を担い、海に養分を供給しています。森林の公益的機能と生態系を理解し、健全な森林の育成・管理、資源の高度利用を目指し、亜熱帯から亜寒帯まで多様な森林植生に恵まれた高知で、現場主義に基づいた実践的な教育研究を行います。	産業・人・自然にとつての「真の豊かさ」を評価する。 稲作は、一次産業の場でありながら、流れ込んだ濁水を浄化・排水する自然浄化機能を持っています。農業の生産基盤や人々の生活空間を整備するとともに、それに伴う環境の改変を考えることはとても大切です。森〜農地〜まち〜沿岸域の環境の保全・修復の理念と技術を学びましょう。



# 農芸化学科 Department of Agricultural Chemistry

## 化学的視点から生物生産を幅広く探求する

### 学びの特徴と求める人材像

農芸化学科では、動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、安全な食料生産と健康増進、環境保全と修復、生物生態系等を多面的に理解するために必要となる知識と技術を修得し、それらを活かした社会貢献の新たな道筋を創造する力や構想力を育み、化学的視点から生物生産を幅広く探究でき、その成果を地域社会への貢献に結びつけられる技術者・研究者を育成します。



#### 生物環境化学科目群

汚染土壌の浄化など  
土壌環境の保全に  
地球規模で取り組む!

「植物栄養学」、「土壌環境科学」、「植物生育環境学」など、生物の生命活動を支える土壌環境や土壌—植物系における物質動態に関する基礎知識と、植物の養分吸収機構、土壌環境の保全と修復、生物生態系などについて多面的に学びます。

#### 動植物健康化学科目群

植物・動物・ヒトの健康を守る  
安全・安心の実現!

「植物細菌学」、「動物発生学」、「生理活性物質化学」、「食品分析学」など、植物・動物・ヒトの健康、生物が生産する有用物質、安全な食料生産と健康増進と、食料生産への応用について幅広く学びます。

#### 微生物化学科目群

微生物は多彩な産業に  
大きな可能性を与える  
永遠の資源!

「応用微生物学」、「代謝生化学」及び「微生物遺伝子工学」など、有用微生物の育種と産業利用、生命機能分子の開発と応用、微生物機能の食料生産への利用について学びます。

# 海洋資源科学科 Department of Marine Resource Science

## 水産・海洋資源の有効利用で新時代を拓く

### 学びの特徴と求める人材像

海洋生物生産学コース・海底資源環境学コース・海洋生命科学コースの3コース制。「海」を知る、「海」を使う、「海」を護る」ことに興味のある学生を広く受け入れ、分野横断的な科目として海洋資源管理に不可欠な知識や手法を身につかせるとともに、海に面した高知県の地理的優位性を最大限に活かし、海洋生物生産、海底資源環境、または海洋生命科学に関する専門的な知識を併せもった実践力のある海洋専門人材の育成を目指します。



#### 海洋生物生産学コース

海の恵み、生命の息吹。  
ここが黒潮の最前線。

黒潮に洗われる土佐の海。  
荒々しくも澄みきった海流と山野の自然が出会うこの豊かな水域で、健康で安全な魚介類をつくり育てます。食料問題を解決する上で海洋生物は大きな可能性を持つ資源。そこで、生態、環境、病理、栄養など様々な角度から海の保全と生物資源の持続的生産・利用を研究します。

#### 海底資源環境学コース

太平洋に眠る次世代の資源を、  
太平洋を望むココ(高知)で学ぶ。

次世代の産業を担う海底資源—。  
その開発に向けては、資源の成因論や、回収・利用技術の開発、環境モニタリングなど、要素技術の研究開発が今まさに進行中。  
私たちは「過去を知り(資源学)、今を学び(化学利用)、未来を予測する(環境モニタリング)」、そんな人材を育てます。

#### 海洋生命科学コース

海からの贈り物。  
海の生き物は薬の宝庫。

海洋と医薬・医療は一見かけ離れたものと思われませんが、海洋生物・微生物から医薬品が開発され治療に用いられているのです。  
干潟のちっぽけな生き物が、実は宝の山だったりするかも!?  
当コースでは、海洋生物・化学・医薬に関する専門知識と技術の習得及び専門英語教育を通じて、国際社会でも活躍できる海洋生命科学人材の育成を目指します。

# Voice! 内定者の声



齋藤 寛俊 (茨城県立並木高校出身)

不二製油株式会社 研究開発職 平成27年度卒業

食品加工会社に勤めていた祖父の影響で、僕は小さい頃から食に興味を持っていました。高知大学を選んだのは、土づくりから商品開発まで幅広く学べたからです。専攻は、微生物。腸内環境をよくする乳酸菌は、実は胃酸に弱く、腸に届く前に死んでしまいます。しかし多糖類の一種β-グルカンに乳酸菌を守り生きたまま腸まで届ける効果があるのではないかとということで、卒業論文ではその機能について多角的に研究を行いました。同じ研究室に企業から来ている研究者の方がおられ、実験は一部その方と共同で進めました。大学内にいながらインターンシップをしているようだったし、何より働きながら学ぶ姿を見せていただき刺激を受けました。

就活は、食品会社の研究職を第一志望に臨み、三つの点をアピールしました。一つは、4年間を通じ土から食品加工まで体験的に学んだこと、二つ目は卒業で実験結果の考察から次の実験の展開を自分で計画し進めたこと、三つ目は音楽サークル代表として仲間の意見を尊重しながらまとめていったことです。高知で学んだすべてを評価してもらえました。

4月から働く不二製油は、油脂、製菓・製パン素材、大豆たん白の領域で食の素材を開発している企業。念願の研究職として新商品を開発し、お客様に提案していきたいと思っています。

高知の自然は本当に豊か!  
アパートの周りを普通に  
ホタルが飛んでいて、  
感動しました!



高知大学は産官学連携が盛ん。企業人や学外の研究者と触れ合う機会も多い!

## ■取得できる資格等

### 農林資源環境科学科

家畜人工授精師(受講一部免除)、学芸員、教員免許(中学一種理科、高校一種理科、高校一種農業)、JABEE認定修習技術者(技術士補)、測量士補、樹木医補、森林情報士二級

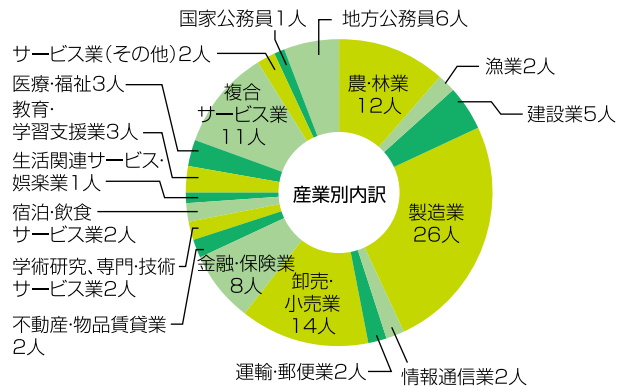
### 農芸化学科

食品衛生監視員、食品衛生管理者、家畜人工授精師(受講一部免除)、学芸員、教員免許(中学一種理科、高校一種理科)、甲種危険物取扱者(受験資格)

### 海洋資源科学科

学芸員、教員免許(中学一種理科、高校一種理科、高校一種水産)

## ■就職データ 2015年3月卒業生



## 平成29年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

「●」は必須科目を表す。  
「○」は選択必須科目(その教科は必須で教科内に選択科目がある)を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。

### 一般入試

学科名等	区分・日程	学力検査等の(課外)員	教科・科目数	大学入試センター試験の利用教科・科目名																	個別学力検査等														
				国語	地理歴史・公民					数学				理科				外国語			教科等	科目名等 ( )は受験の選択・必須や 必要科目数など													
			科目数	国語	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	倫理	政治	倫理	科目数	数I	数II	簿会	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	英語	独語	中国語	韓国語	科目数			
農林資源環境科学科	前期(50)	4教科5科目又は4教科6科目	● 1												○	○			2	○ <sub>2</sub> 又は○ <sub>1</sub>						1~2	○	○	○	○	○	1	その他	小論文	(必須)
	後期(12)	4教科5科目又は4教科6科目	● 1												○	○			2	○ <sub>2</sub> 又は○ <sub>1</sub>						1~2	○	○	○	○	○	1	その他	小論文	(必須)
農芸化学科	前期(35)	3教科4科目又は3教科5科目													○	○			2	○ <sub>2</sub> 又は○ <sub>1</sub>						1~2	○	○	○	○	○	1	その他	小論文	(必須)
	後期(5)	4教科5科目又は4教科6科目	● 1												○	○			2	○ <sub>2</sub> 又は○ <sub>1</sub>						1~2	○	○	○	○	○	1	その他	面接	(必須)
海洋資源科学科	海洋生物生産学コース 前期(18)	4教科5科目又は4教科6科目	● 1												○	○			2	○ <sub>2</sub> 又は○ <sub>1</sub>						1~2	○	○	○	○	○	1	その他	面接	(必須)
	海底資源環境学コース 前期(9)	4教科6科目又は4教科7科目	● 1												○	○			2	○ <sub>2</sub> 並びに○ <sub>1</sub> ~2						2~3	○	○	○	○	○	1	理	<理科>化学基礎・化学、地学基礎・地学から1科目(1科目を選択必須)	
	海洋生命科学コース 前期(14)	5教科6科目又は5教科7科目	● 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			2	○ <sub>2</sub> 又は○ <sub>1</sub>						1~2	○	○	○	○	○	1	理	<理科>化学基礎・化学、生物基礎・生物から1科目(1科目を選択必須)	
	後期(7)	4教科5科目又は4教科6科目	● 1												○	○			2	○ <sub>2</sub> 又は○ <sub>1</sub>						1~2	○	○	○	○	○	1	その他	面接	(必須)



■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去2年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

**農林資源環境科学科** ※旧暖地農学コース・自然環境学コース・流域環境工学コース・森林科学コース・国際支援学コースの該当者

アーサーアグリ、アイオ(兵庫)、青木松風庵(大阪)、アステラス製薬、荒木造園設計(大阪)、阿波銀行、一保堂茶舗(京都)、医療システムズ、院庄林業(岡山)、N.G.C、オオキファーム(広島)、大田花き、オービーステム、岡山県南部水道企業団、オネスト、香川証券、川淵牧場(高知)、クオーレ、鞆工房山本、くらコーポレーション、倉敷化工、高知銀行、高知県園芸農業組合連合会、高知県森林組合連合会、神戸屋、ゴールドフラッグ(大阪)、国華園(大阪)、サタケ(広島)、JA淡路日の出、JAえひめ中央、JAおちいまばり(愛媛)、JA香川県、JAコスモス(高知)、JA静岡経済連、JA兵庫南、JA宮崎経済連、敷島製パン、四国銀行、ショーボンド建設、スミフル、関(高知)、大鉄工業(大阪)、竹内園芸(徳島)、チカミルテック、東亜建設技術、東亜建設工業、トーヨ(愛媛)、ときわ(徳島)、徳島赤十字病院、ドンク、那須高原自然学校、西垣林業、日泉化学(愛媛)、日本植生、日本森林林業振興会、日本郵便、日本郵便沖縄郵便局、ネットトヨタ南国、バイオファーム、ビーパートナーズ、平田ナーセリー(福岡)、平林金属(岡山)、ヒロコンフーズ、広島スバル、広島トヨペット、フジ、フジタ、フューチャーインスペース(大分)、ベルグアース(愛媛)、マルウ接着、マルキョウ、丸和林業、みさき公園動物園(大阪)、水島合金鉄(岡山)、モンベル(大阪)、リファレンス、岡山県庁、高知県庁、呉市役所、高松市役所、四国中央市役所、松山市役所、高知市役所、安芸市役所

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京大学大学院、東京農工大学大学院、奈良先端科学技術大学院、佐賀大学大学院

**農芸化学科** ※旧生命化学コース、食料科学コースの該当者

安芸水産(高知)、あさの(高知)、旭テクノプラント、新井産業(愛媛)、あわしま堂(愛媛)、イシイ(徳島)、伊丹産業(兵庫)、エスフーズ、オイシス(兵庫)、大田花き、太田油脂(愛媛)、大場上下水道設計(静岡)、オカベ(愛媛)、岡山木村屋、絹谷産婦人科、高知銀行、貞光食糧工業、JA馬路村、JA高知中央会、JA全農ミートフーズ、四国八洲薬品、庄司酒店(大分)、大信産業(広島)、大水(大阪)、タカキペーカー、とくしま生協、西尾歯科医院、日亜化学工業、日本生態系協会、日本ゼネラルフード、ハタダ、ファーストフーズ名古屋、不二製油(大阪)、ヘンミ、松屋フーズ、マネジメントソリューションズ、丸和林業、山崎技研、山崎製パン、やまひろ、島根県庁、岡山県庁、徳島県庁、高知県庁、高知市役所、綾川町役場(香川)、大阪府公立学校教員

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、名古屋大学大学院、京都大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院

**海洋資源科学科** ※旧海洋生物生産学コース、理学部応用化学コース、地球科学コースの該当者

安岐水産(香川)、男鹿水族館GAO(秋田)、香川県漁協、科研製薬、加寿翁コーポレーション、キョーリン、極洋、久保アグリファームアルトピアノ(広島)、廣記商行(兵庫)、コンピュータマネージメント(大阪)、サンテック、三洋化成工業(京都)、JA馬路村、シオノギ総合サービス、須磨海浜水族園、セリオ、大起水産、但馬信用金庫、つくで高原農場(愛媛)、日本ハム西販売、NOSAI岡山、NOSAI高知、ノザフ(兵庫)、ハウステック、藤友五幸会(静岡)、ホテイフーズ、マーベリック、マリナーパレス(大分)、山崎技研、ライドオン・エクスプレス、岡山県私立学校教員

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、九州大学大学院

【一般入試 備考】

- (1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。)
 

利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない)。「英語」についてはリスニングを含む。「数学」の教科について『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
- (2) [個別学力検査等]欄について: 出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

**推薦入試、AO(アドミッションズ・オフィス)入試** [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄については、一般入試[備考]を参照のこと。

学科名等	区分・日程 学力検査等の (募集人員)	大学入試センター試験の利用教科・科目名																	個別学力検査等																			
		教科・科目数	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	教科等	科目名等																													
農林資源環境科学科	暖地農学 主専攻領域	推薦入試Ⅱ (4)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1															1	2	○	○	○	○	○	○	○	1	その他	小論文、面接	[必須]						
		推薦入試Ⅰ(2)	大学入試センター試験は課さない																	その他	口頭試問を含む面接	[必須]																
	自然環境学 主専攻領域	推薦入試Ⅱ (3)	4教科6科目又は 4教科7科目	●	1																	2	3	○	○	○	○	○	○	1	その他	面接	[必須]					
		AO入試Ⅰ(3)	大学入試センター試験は課さない																	その他	第1次:授業理解力テスト 第2次:面接	[必須]																
農林資源環境科学科	森林科学 主専攻領域	推薦入試Ⅱ (一般推薦)(5) (専門推薦)(1)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1																								1	その他	小論文、面接	[必須]						
		推薦入試Ⅰ(2)	大学入試センター試験は課さない																	その他	口頭試問を含む面接	[必須]																
農林資源環境科学科	生産環境 管理学 主専攻領域	推薦入試Ⅱ (4)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1																								1	その他	面接	[必須]						
		推薦入試Ⅰ(4)	大学入試センター試験は課さない																	その他	口頭試問を含む面接	[必須]																
農芸化学科	推薦入試Ⅱ (5)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1																									1	その他	小論文、面接	[必須]						
海洋資源科学科	海洋生物 生産学コース (専門推薦)(2)	推薦入試Ⅱ (6)	4教科4科目又は 4教科5科目	●	1																								1	その他	面接	[必須]						
	海底資源 環境学コース	推薦入試Ⅱ (5)	4教科6科目又は 4教科7科目	●	1																								2	3	○	○	○	○	1	その他	面接	[必須]
	海洋生命 科学コース	推薦入試Ⅱ (4)	5教科6科目又は 5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	その他	面接	[必須]					

地域で学び、地域の未来をひらくリーダーになる

# 地域協働学部

Faculty of Regional Collaboration

学科・コース

地域協働学科

アプリをダウンロードして  
スマホで読み込もう

詳しくは  
90ページ



地域協働学部

## アドミッションポリシー

文系・理系を問わず幅広い教科を積極的に学んで、読解力等の基礎学力に秀でるとともに、社会または自然の理解に関する素養を有している学生であり、様々な問題に対する知識や関心を持っている学生であること。さらに、実習を柱とする地域協働学部のカリキュラムに沿った学習に必要な学生間、学生・教員間及び学外の「おとな社会」とのコミュニケーションに適應できる資質を持っている学生を求めます。



▶ 地域協働学部ホームページ <http://www.kochi-rc.jp/>







## 先輩にきく

# 地域と一緒に成長したい!

青野 冴郁 さあや 地域協働学科1年(愛媛県立今治東中等教育学校出身)

現場に出て人と  
関わり合いながら学ぶので、  
意欲がわくし、  
刺激も多い!

楽しみにしていた地域での実習がスタートしたのは、5月。第1学期は山あいから海沿いまで個性の違う6つの地域を体験して回り、第2学期以降はその中から1つの地域を選んで活動を行っています。

私が選んだのは、仁淀川町長者地区です。第1学期の実習では菖蒲祭りという地域行事のお手伝いで、



子どもたちを対象にしたモグラたたきゲームのお店を出しました。実習は、大学で事前学習、現地実習、その後大学で振り返り学習というのが1セットになっています。私たちは事前に様々な状況を想定して準備をしましたが、当日は想定外の雨。子どもたちの笑顔はうれしかったけれど、準備不足など反省点が残りました。



第2学期の実習では、棚田にろうそくの火を灯すイベント「キャンドルナイト」をお手伝い。この時は第1学期の反省を活かすことができました。その他に地域の人の思いを知るための聞き取り調査をしました。

仁淀川町長者地区での活動の様子  
(上: マラソン大会のお手伝い、下: キャンドルナイトの準備)

私たちが地域に入って学ばせてもらうことで、地域が元気になることが学部目的の一つです。卒業までの4年間でそこにたどり着くのは難しいけれど、地域活性化につながる流れに乗せることが私の目標。地域と一緒にコラボし、成長していきたいと思っています。



## 教員にきく

# 地域と学生、教員が「未来」への思いを共有する

中村 哲也 准教授

地域協働学部は、地域と学生の協働によって、学生の成長と地域課題の解決を目指す日本初の学部です。学び方も斬新です。本学部では、地域に出て行う実習が授業の核になっています。グループワークなど、学生が主体的に学ぶアクティブラーニングも多く取り入れています。学期ごとで必修となる実習では、授業時間全体のうちの約半分、30時間が現地での実習に充てられています。

1年生の実習は、協働に向けたいわば「土台づくり」。地域に入り、人と出会い、物事の見方や地域の理解を深めていきます。2、3年生は、地域理解をベースに事業を企画立案し、地域の人と協働で実践していきます。すべてのプロセスにおいて、学生の主体的な参加が基本です。学生の成長を促すために、教員は経済学、経営学、社会学、農学、教育学、美術、スポーツ、環境などの専門分野から、知識や考え方のヒントを提供していきます。幸せの「ものさし」は一つではありません。地域の未来とあなたの未来、ここで一緒に見つめませんか?



### カリキュラム例

#### 地域協働学科

- **講義科目** 地域協働論、地域組織論、産業論、地域社会学概論、組織学習論、地域計画論、非営利組織マネジメント論、経営組織論、地域資源管理論、行政政論、会計学概論、社会教育論、起業・経営実務講座、行政実務講座、金融・税務実務講座、実践情報処理経済学入門、地域デザイン論、フードビジネス論、六次産業化論、農業振興論、地域産業政策論、国際ビジネス展開論、食品生化学、森林経営学、地域産業連関論、中心市街地活性化論、国際農林水産物市場論、生涯学習論、地域スポーツ振興論、環境社会学、ダンス、地域スポーツ社会学、地域福祉論、コミュニティ振興論、地域防災論、比較地域社会論、地域生活と女性、ソーシャルキャピタル論、非営利組織論、環境文化論、家庭経営学
- **演習科目** プロジェクトマネジメント演習、地域協働マネジメント演習、地域協働研究、地域協働実践・卒業研究、外国語特別演習、海外特別演習
- **実習科目** 地域理解実習、地域協働企画立案実習、事業企画プロジェクト実習、地域協働マネジメント実習、教えるプロジェクト実習

# 地域協働学科 Department of Regional Collaboration

うみ・やま・むら・まちをフィールドに地域とともに課題を解決する力を養う

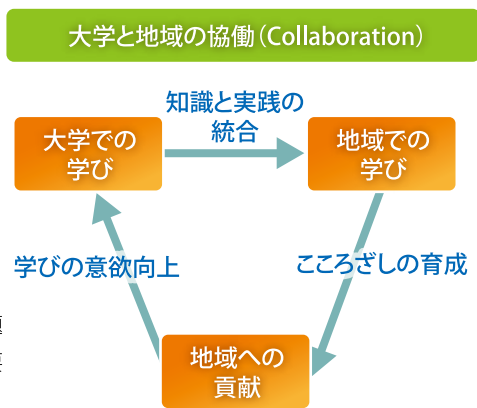
## 地域協働学部での成長サイクル

様々な地域との本気の協働を通じて、4年間を通じた「大学での学び」「地域での学び」「地域への貢献」のサイクルを実践。

地域の未来をひらくリーダーに欠かせない「生きた技能・知識・考え方」を育むための「知識と実践の統合」「こころざしの育成」「学びの意欲向上」を図ります。

## 教育理念

高知県各地の農山漁村やまちをフィールドに、その地域との継続的な協働を通じて地域の課題を共感的に理解し、改善に取り組みます。豊富な活動実習に加えて、活動の振り返りと活動に必要な専門知識の獲得を重視し、地域の課題を解決するための「知識」と「経験」の統合を図ります。



**目指す人材像** 地域協働マネジメントに必要な3つの力(地域理解力、企画立案力、協働実践力)を身につけた「地域協働型産業人材」を育てます。



## 人材育成プロセス

学年ごとの積み上げ型の教育プログラムで「地域協働型産業人材」に必要な能力を着実に育成します。学年末の学習成果報告会では、企業経営者、社会起業家、NPO職員など社会や地域の第一線で活躍する人たちのアドバイスをもらいながら、1年間の学習成果を整理します。







# リーダー人材育成を目指す新しい教育プログラム 土佐さきがけプログラム

TOSA Innovative Human Development Programs

## コース

グリーンサイエンス人材育成コース

国際人材育成コース

生命・環境人材育成コース

スポーツ人材育成コース



アプリをダウンロードして  
スマホで読み込もう

詳しくは  
90ページ



## 特別プログラムでリーダー人材を育成

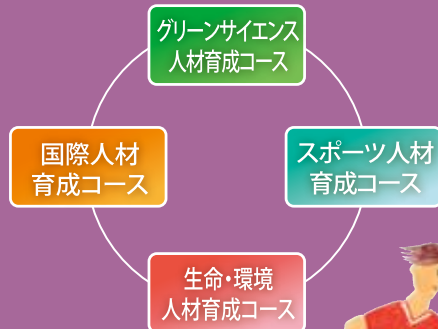
現代社会の課題に積極的に取り組んでいける次世代リーダーを育成するため設けられたのが、「土佐さきがけプログラム」です。

これは、本学がこれまで培ってきた教育・研究実績や特色を活かしながらも、既存の学部・学科等のカリキュラムからは独立した、全く特別な教育プログラムです。



## 従来のカリキュラムを超えた分野横断型の学び

このプログラムでは、すでにある学部・学科のカリキュラムにとらわれず、関連する様々な分野を横断的かつ総合的に学び、幅広い知識(基礎力)とそれらを組み合わせる力(応用力)を養います。



▶ 土佐さきがけプログラムホームページ  
[http://www.kochi-u.ac.jp/sakigake\\_program/](http://www.kochi-u.ac.jp/sakigake_program/)







# グリーンサイエンス人材育成コース (化学スペシャリスト育成コース) Green Science Education Program

## 育成する人材像

化学を基盤とし、環境に配慮した技術開発・学際研究(グリーンサイエンス研究)を通じて、国際的に通用する高度な専門知識や技術を身につけた、環境問題や資源問題などの解決に貢献できる人材を育成することを目指します。学部で4年間学んだ後は2年間の大学院修士課程へ進学することを前提とした6年一貫のコースです。

## 教育の特色

- 化学を総合的かつ体系的に履修して化学の基礎を身につけ、少人数で多くの研究実験を行い、化学者としての技量を高めます。
- 入学後の早い時期から、高知大学で実施されている最先端の研究に参加し、課題探求能力や問題解決能力を高めます。
- 大学院では、英文で研究論文を自ら執筆したり海外の研究機関で実験を行い、専門性や国際性を高め、研究者としての実践力を身につけます。



## 実践的「化学」への招待 柳澤和道教授

私たちの身の回りで起こっている様々な現象は、化学的变化としてとらえることができます。ですから、「化学」は私たちの生活を豊かにしてくれているだけでなく、環境問題や資源問題を解決するための大切な糸口なのです。



## ▶ カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目
学部 1・2年	入学後すぐに高知大学で実施されている最先端研究に触れ、課題探求能力や問題解決能力を養います。同時に大学院進学時の海外留学を見据えて、英語や中国語などの語学についても力を磨きます。	GS特別講義 I・II GS実験 I・II
学部 3年	3年第1学期から研究室に配属され、理工学部化学生命理工学科(仮称)の学生らと共に、最先端の研究に参加します。	GS実験 III・IV
学部 4年	研究室生活2年目。さらに研究活動を充実させると同時に、科学者として不可欠な倫理観なども学んでいきます。当コースは6年一貫ですが、他の学部生と同様に大学院の試験を受け進級します。	科学者倫理学 知的財産論 GS課題研究
修士 1年	海外の大学に1ヶ月程度の短期留学を行い、化学に関するグローバルな視点を身につけ、研究を深化させます。	海外インターンシップ 学術論文作成セミナー
修士 2年	研究の集大成。論文作成や国内外の学会での研究発表と活躍の場を広げます。夏までに就職または博士課程への進学について検討し、さらなるステップへつなげます。	GS特別研究

## 卒業後の進路イメージ

- 大手企業(食品・製薬・化学・エネルギー産業)や公的研究機関の高度技術者や研究開発者を目指します。
- 大学院博士課程(3年)に進学し、大学教員や国際的な研究者を目指します。

# 国際人材育成コース International Education Program

## 育成する人材像

今や世界共通語となった英語、近年ますます重要度が高くなっている中国語および日本語を駆使し、高い国際コミュニケーション力とともに、文化的・歴史的背景による価値観の違いを乗り越えて自文化と異文化を理解する心を持ち、国際社会の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

## 教育の特色

- 日本人学生と外国人留学生が同じプログラムの中でともに学ぶことで、国や文化の違いを越えて相互理解を目指す姿勢を身につけます。
- プログラム前半の2年間では語学力の向上と異文化理解に重点を置き、後半2年間では社会のグローバル化に貢献するための専門知識を中心に学びます。
- 日本人学生は海外協定校への留学や海外インターンシップ、外国人留学生は国内研修や国内企業でのインターンシップを行い、グローバル化の進む社会で活躍できる実践力を身につけます。



## 日中英の3ヶ国語を駆使して国際舞台へ! 前西繁成 准教授

本コースは、21世紀のグローバル社会で活躍できる国際人の育成を目指します。国際人として活躍するために必要な、多言語による高度な言語運用能力、自文化と異文化の理解力、世界的な視野に立つ思考力、世界の人々との協働による遂行能力などを涵養し、国際社会の発展に寄与できる人材を社会に送り出します。



## ▶ カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目
学部 1年	本コースにおける特色ある教育方法、勉強方法を身につけながら、特に英語・中国語・日本語の運用力を磨きます。グローバル化する世界の現実、国際機関、企業行動、市民社会の変化などについても理解を深めます。	Public Speaking in English、実践中国語特別演習、国際講座(海外勤務経験者等による実践的講座)等
学部 2年	国際的に活躍するために必要な異文化理解マインドの育成を中心として国際コミュニケーション力を磨きます。日本人学生・外国人学生ともに英語を含む二言語の研究を深めます。(日本語、中国語等)	English for International Studies、実践中国語演習、異文化理解、対人コミュニケーション論、国際講座等
学部 3年	日本人学生は海外研修・インターンシップ、外国人留学生は国内研修・インターンシップを行い、実践的な国際社会での対応能力を磨きます。(日本人学生は英語圏や中国語圏への留学が必須です。外国人留学生は日本国内でのインターンシップが必須です。)	海外研修・インターンシップ、国内研修・インターンシップ 等
学部 4年	留学の成果をさらに進展すべく、高度な言語表現力、コミュニケーション力を磨き、国際社会へ巣立つ準備を行います。	卒業課題研究、Graduation Reviews、実践ビジネス中国語、海外(国内)研修・インターンシップ報告会 等

## 卒業後の進路イメージ

- 本学や他大学の大学院への進学、国際的な企業や組織・団体に多言語能力を活かし、グローバルな視野で活躍できる人材を目指します。



# 生命・環境人材育成コース Life and Environment Education Program

## 育成する人材像

生命活動とそれを支える環境についての専門的な知識と様々な研究手法を学びます。そして、自分の考えを社会へ発信する能力を身につけて、人類の健全な生存環境を創り出すことに貢献できるように、学部を越えた豊かな見識を持った未来の社会的リーダーを育成することを目指します。さらに、実践的な研究体験型教育によって、大学院進学も視野に含めた高度な研究活動をサポートします。

## 教育の特色

- 専門知識と自分の考えを論理的に伝える表現力と英語力の育成
- 基礎教育と実践的な体験型教育、英語理解力の習熟を促す教育
- 生物資源の育成から利用まで活躍する社会的リーダーの育成
- 研究実践型の高度な生命科学教育と環境教育
- 大学院進学を含む長期的履修計画で研究経験に富む人材育成



## 生命の営みと健全な環境を守る未来人に! 永田信治教授

専門科目で鍛えるのは、農芸化学というバイオサイエンスを核とした「農学力」です。理科4科目の概論や実習で「基礎力」を養い、学部の枠を越えたカリキュラムが国際情勢に対応した「貢献力」を伸ばし、早からの研究活動で「研究力」を鍛えます。さらに、世界の研究者に自らの研究成果を伝えるために、国内外の学会で「表現力」や「英語力」を高め、未来の科学者を育てる「教育力」も備えた人材を育てます。



## ▶ カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目など
学部1年	生命科学と環境に関する基礎知識を身につけ、社会に役立つ専門研究を意識した課題を探索し、様々な最先端研究を学ぶことによって、学習意欲と目的意識を高めます。	生命と環境I、英文読解・理解力養成セミナー
学部2年	様々な研究室を巡回する体験重視な実践教育を通じて、専門的な実験技術から課題解決力まで、優れた研究能力を養います。	研究室インターン実習I~IV、実践英語セミナー、生命と環境II
学部3年	研究室で、余裕を持った研究活動を開始します。また、産官学の試験機関や研究所でのインターンシップや共同研究によって、実践力を培います。さらに学会に参加して最新の研究を学びます。	産官学連携インターンシップ、生命・環境学集中実習、国内学会参加
学部4年	研究課題の立案や企画力と、後輩に対する指導力を高めながら、成果発表や論文作成を目標に、研究活動を充実させます。	卒業論文演習I・II、卒業論文、国際学会参加
大学院進学(希望者)	高度な研究活動の推進に加え、産官学の現場で即戦力として社会に貢献できる実力と、理科教育の教員免許の取得や教育現場で役立つ様々な手法の開発力を育てます。	農学専攻・植物医学専攻、黒潮圏総合科学専攻など

## 卒業後の進路イメージ

- 国や県、市町村にある様々な試験研究機関や行政機関の技術者や研究者
- 理科及び生命や環境に関わる分野の教育者
- バイオ・医薬・食品・化学・農業・環境など様々な分野の民間企業の技術者や研究者

# スポーツ人材育成コース Sports Education Program

## 育成する人材像

人文社会科学部・教育学部・理工学部(仮称)の推薦入試または一般入試の合格者の中から、それぞれの学部での学びに加えて、入学後に副専攻プログラムとしてスポーツ人材育成コースで学ぶことを希望する人を対象に選考します。所属する学部・学科等の専門分野の学びとスポーツ活動を両立させ、さらに副専攻としてスポーツを科学的に学ぶことで、在学中は高知大学のスポーツ活性化を担い、卒業後は国内外においてスポーツ文化の発展に貢献できる人材を育成することを目指します。

## 教育の特色

- それぞれの所属学部・学科の専門分野に加えて、副専攻として運動時の心身の働き、メカニズムについて、スポーツ生理学、スポーツ心理学、トレーニング論を通してスポーツ科学の理論について学びます。
- トレーニング実習や専門実技演習I~IIIを通して実践について学び、競技力の向上を目指します。
- スポーツ指導やコーチング理論、地域スポーツクラブの運営について学び、競技の指導能力や地域のスポーツ振興に貢献できる力を身につけます。



## 文武両道を大学でも実現! 矢野 宏光 准教授

専門分野の学びとスポーツ活動どちらを極めるのも大変な努力と熱意が必要です。こうした文武両道の意味をもつ人材を求めるとともに両立を図れるよう支援していきたいと考えています。



## ▶ カリキュラムのイメージ

	所属学部学科の卒業に必要な単位 124単位以上	スポーツ人材育成コース24単位
学部1年	← 並行して履修します →	専門実技演習I トレーニング実習 専門実技演習II 専門実技演習III スポーツ指導演習
学部2年		
学部3年		
学部4年		

スポーツ生理学  
トレーニング論  
スポーツ栄養学  
スポーツ心理学  
などの  
スポーツ科学の  
授業から自由に選択

## 卒業後の進路イメージ

- 中学校や高等学校の教員となり、部活動の指導者として運動部活動の普及・発展に貢献する。(人文社会科学部・理工学部(仮称)及び教育学部にて教員免許を取得した場合。本コースでは保健体育の教員免許は取得できません。)
- 民間企業や公務員職に就職し、地域スポーツの指導者や審判員として地域スポーツ活動の普及・発展に貢献する。
- 海外勤務の場合、日本の伝統スポーツ(剣道など)の普及の一翼を担う。



# 時間割例


Examples of timetable

大学は、高校までのように決まった時間割があるわけではありません。興味のあること、学びたいことを自分で選択することができます。

実際、高知大学生はどんな時間割で日々学んでいるのか。

各学部の「先輩にきく」コーナーで大学生活についてお話ししてくれた皆さんの時間割を参考に紹介します。


(ここで紹介した授業は変更になる場合があります。)



**人文社会科学部**  
人文社会科学科  
人文科学コース  
(心理学プログラム)  
Aさん  
2年生第1学期の  
時の時間割

	月	火	水	木	金	集中講義等
1時限		臨床心理基礎論				
2時限	専門英語 I	認知心理学	ドイツ語中級 I	心理学概論 I		
3時限	人間関係論/ 社会心理学入門	基礎演習(心理統計学/ 心理学データ分析)		恋愛・結婚・親しい 対人関係の心理学	心理学実験 I	
4時限	基礎演習(心理学実験法/ 心理学研究法)			認知発達心理学		
5時限						

※平成28年度から人文科学部は人文社会科学部に改組しました。 ➡人文社会科学部の詳しい情報は11ページへ



**教育学部**  
学校教育教員  
養成課程  
池田啓彰さん  
2年生第2学期の  
時の時間割

3年 | 宮崎県立延岡星雲高校出身 |

	月	火	水	木	金	集中講義等
1時限	道徳教育		生徒指導(小学校)	教育相談(初等)	中国語 I	
2時限		中国語 I		スポーツ社会学	初等体育科指導法	
3時限		初等家庭科指導法		教育学概論 A		
4時限	知的障害生理・病理学	教育の方法・技術		スポーツ運動学		
5時限	教育課程論					

➡教育学部の詳しい情報は17ページへ



**理学部**  
理学科  
水野秋穂さん  
2年生第2学期の  
時の時間割

4年 | 愛知県立豊田高校出身 |

	月	火	水	木	金	集中講義等
1時限				教育学概論	代数IB	
2時限	数の概念	専門情報処理	中等数学指導法Ⅱ	統計IB	代数IB 演習	
3時限	道徳教育	解析IB		科学英語	幾何IB	
4時限	特別活動	解析IB 演習			幾何IB 演習	
5時限	教育相談	教職入門				

※教職関連科目を履修しています。  
※平成29年度に理学部を再編し、理工学部(仮称)を設置するよう、  
文部科学省に許可申請中です。(平成28年5月現在) ➡理工学部(仮称)の詳しい情報は23ページへ



**医学部**  
医学科  
小松明日香さん  
4年生第1学期の  
時の時間割

4年 | 高知県 私立高知学芸高校出身 |

	月	火	水	木	金	集中講義等
1時限	腎臓病学	乳腺	神経精神科学	産科・婦人科学	消化器病学	
2時限	応用社会医学	呼吸器病学	法医学	麻酔科学	歯科口腔外科学	
3時限	循環器病学	医療コミュニケーション学	救急医学総論	移植医学と輸血	呼吸器病学	
4時限	PBL IV		消化器病学	内分泌・代謝学		
5時限		泌尿器科学・生殖系	神経精神科学	耳鼻咽喉科学		

➡医学部の詳しい情報は29ページへ



**医学部**  
看護学科  
鍵山由衣さん  
3年生第1学期の  
時の時間割

4年 | 高知県立高知小津高校出身 |

	月	火	水	木	金	集中講義等
1時限	病態と治療	在宅看護援助論	疫学	母性看護援助論	がん看護学とターミナルケア	9月1日～ 9月30日 臨地実習
2時限	健康福祉行政論		地域援助論		保健統計論	
3時限	公衆衛生看護 援助論Ⅱ	小児看護援助論	看護研究の基礎	精神看護援助論		
4時限			保健医療情報学			
5時限						

➡医学部の詳しい情報は29ページへ





## 農林海洋 科学部

海洋資源科学科  
海底資源環境学コース

Bさん

2年生第1学期の  
時の時間割

	月	火	水	木	金	集中講義等
1時限	海底地形処理	地球科学概論	課題探求実践セミナー		水産学概論	
2時限	水質学		分析化学概論			
3時限	海洋情報化学		学生実験 地学基礎実験 海底資源学演習(地学)			
4時限	海底資源岩石鉱物学	海洋基礎生態学				
5時限		物理学概論		化学概論		

※平成28年度から、農学部は農林海洋科学部に改組しました。➡農林海洋科学部の詳しい情報は35ページへ



## 地域協働 学部

地域協働学科

青野郁都さん

1年生第2学期の  
時の時間割

	月	火	水	木	金	集中講義等
1時限			社会調査データの分析	質的調査法	地域組織論	ファシリテー ション演習
2時限	学問基礎論			大学英语入門(上級)	社会的経営論	
3時限	大学英语入門(上級)			統計解析の基礎	地域政策演習 (ふるさと活性ゼミ)	
4時限	企画立案事業計画基礎演習	地域理解実習		川と人の生活誌		
5時限				地域協働研究I		

1年 | 愛媛県立今治東中等教育学校出身 |

➡地域協働学部の詳しい情報は41ページへ



## 土佐さきがけ プログラム

グリーンサイエンス人材育成コース

小池美雪さん

2年生第1学期の  
時の時間割

	月	火	水	木	金	集中講義等
1時限			自然の法則	物性化学	科学英語	
2時限		有機化学I	色彩の世界	分析化学	里山・里川環境科学	
3時限		科学英語ゼミナール		健康D	無機化学I	
4時限		GS実験I		無機・分析化学 実験	無機・分析化学 実験	
5時限						

3年 | 香川県立香川中央高校出身 |

➡土佐さきがけプログラムの詳しい情報は45ページへ



## 土佐さきがけ プログラム

国際人材育成コース

幸崎李さん

3年生1学期2月～7月の  
クイーンズランド大学  
留学時の時間割

	月	火	水	木	金	集中講義等
9:00 ~ 9:50	Writing for International Student[Lecture]					
10:00 ~ 10:50			Crossing Bridge (Communication)[Tutorial]			
11:00 ~ 12:50	Writing for International Student[Tutorial]					
14:00 ~ 15:50		Crossing Bridge (Communication)[Lecture]		Contemporary Australia [Seminar]		

Lecture=大人数の講義形式の授業 Tutorial=少人数のディスカッション形式の授業  
Seminar=講義もディスカッションも行う授業

3年 | 高知県立高知南高校出身 |

➡土佐さきがけプログラムの詳しい情報は45ページへ



## 土佐さきがけ プログラム

生命・環境人材育成コース

渡邊宗平さん

2年生第1学期の  
時の時間割

	月	火	水	木	金	集中講義等
1時限	食品生化学	食品製造学	遺伝資源の利用と保全	生物化学I	有機化学I	生命と環境Ⅱ 実践英語 セミナー
2時限	分析化学	微生物学	動物生理学	分子遺伝学	植物感染病学	
3時限			研究室インターン実習Ⅰ・Ⅱ			
4時限			生命化学実験Ⅲ・Ⅳ			
5時限			食料科学実験Ⅲ・Ⅳ			

3年 | 愛媛県立宇和島東高校出身 |

➡土佐さきがけプログラムの詳しい情報は45ページへ



## 土佐さきがけ プログラム

スポーツ人材育成コース(副専攻)  
主専攻:教育学部

西埜植颯斗さん

2年生第2学期の  
時の時間割

	月	火	水	木	金	集中講義等
1時限	道徳教育			特別活動指導法	確率論	介護等体験
2時限	幾何学Ⅱ	教育行政学	中等数学科指導法Ⅱ	スポーツ科学講義A		
3時限	初等数学科指導法	トレーニング論		幾何学特講		
4時限		解析学Ⅱ				
5時限						

2年 | 和歌山県私立近畿大学附属和歌山高校出身 |

➡土佐さきがけプログラムの詳しい情報は45ページへ



# 卒業論文テーマ例



## 人文社会科学部 人文社会科学 人文科学コース

カント哲学における純粹理性の第一アンチノミーについての考察(哲学)／動物愛護における人間の責任(倫理学)／日本の神話・民話における異類婚姻譚—蛇から狐、狸への変遷について—(宗教学)／社会的迷惑行為に対する観察者羞恥—集団内外での検討—(心理学)／恋愛を不要とする青年の心理的特徴—性格特性の側面から—(心理学)／土佐型埴輪の起源(考古学)／植木枝盛の主権論(日本史)／中国古代の簪(東洋史)／イギリスの家事使用人と雇用主(西洋史)／地産地消型学校給食の取り組み実態と課題(地理学)／武者小路実篤と第一次世界大戦(日本近代文学)／和泉式部日記における「月」—月の描写と日記の構成意識をめぐって—(日本古典文学)／尊敬表現「をらる」—江戸時代を中心に—(日本語学)／Peter Panにおけるネバーランドの現実性(イギリス文学)／Absalom, Absalom! 論—喪と語りをめぐって—(アメリカ文学)／会話における言外の意味とその理解の仕組みについて(英語学)

## 人文社会科学部 人文社会科学 国際社会コース

The Factors that Affect Motivation of Swedish Learners of English / Toward a Better Understanding of Third World Women: The Possibility of Feminist Anthropology / 『嵐が丘』の幽霊たち／ワーキングホリデー制度と日本の若者—ワーキングホリデー—大國オーストラリアを例にして—／フェアトレードの可能性と限界—途上国のコーヒー生産者の暮らしを事例に—／中学校英語教育における生徒の動機を高める方法—自己決定理論、自己効力感の観点からの考察—／窪川原発騒争がもたらしたも—聞き取り調査から振り返る原発騒争に揺れた時代—／The Great Gatsbyにおける女性像—イメージを中心に—／外来語サ変動詞の文法的特徴について／韓国語の身体語彙を含む慣用表現—感情の捉え方と表現—／いじめを未然に防ぐために—構成的グループエンカウンターの有効性について—／中国における公害の概況、およびその原因について／英語読解力を促す批判的思考力—高等学校英語教科書における発問分析—

## 人文社会科学部 人文社会科学 社会科学コース

コモンズからアンチコモンズへの転換についてのゲーム理論的分析／農山村地域における共同行為の発言過程の分析／直接支払の農地経営の規模拡大と直接支払の帰着／トレーサビリティに関する研究／日曜市における「生活市」概念の検証／中山間地域における学生参加型地域づくり活動の有効性／高齢者世帯における老後の最低所得補償、農林漁家民宿における品質保証制度の検討／獣被害対策としての食肉流通の現状と課題／地方百貨店の再生法を考える／中小企業の実務における会計基準の適用と会計目的に及ぼす影響／雇用区分撤廃が変える非正規労働者の働き方／衣料品市場における競争環境の変容とアパレル間格差／憲法と民法の規範構造の関係について／自動販売機の設置・管理運営契約をめぐる法的検討／「知る権利」と「人権」の対立がもたらす犯罪報道の変化／児童虐待における援助と子どもの意見表明権／環境団体訴訟と合憲性／コーホート要因法による人口推計結果の推計乖離に関する研究

## 教育学部 学校教育教員養成課程

教職志望学生の教職アイデンティティ確立を促す心理教育プログラムに関する実践研究(教育科学)／教師が目の前の子どもの教育に従事できる仕組み—アメリカのチャータースクールの可能性に着目して—(教育科学)／学校におけるピア・サポート活動が被援助者の心理的機能に及ぼす効果—メタ分析による検討—(教育科学)／異年齢保育に関する—考察—疑似的きょうだい関係に着目して—(教育科学)／人とのつながりを実感することのできる学級づくり(教育科学)／斎藤隆介「モチモチの木」の研究(国語)／音声言語教育を中心とした伝え合う力育成に関する研究(国語)／過疎地域における祭りの変化と社会的機能(社会科)／児童虐待と法(社会科)／小学校における歴史授業(社会科)／笑いに関する哲学的考察(社会科)／唐代長安における商業発展と雇用労働(社会科)／数学教育における問題解決指導とその教材研究(数学)／中学校における図形の論証(数学)／結び目と不変量(数学)／組み合わせ論について(数学)／外洋棲ウミアメンボの生息と環境因子及び生物量との関係(理科)／室内に放散されるピレスロイド系殺虫剤の二次的な曝露に関する研究(理科)／児童の問題意識が生まれる理科授業構成—「具体」と「抽象」をキーワードとして—(理科)／The Role of The Roman Alphabet in Foreign Language Activities(英語)／A Generative Analysis of -ING Constructions in English(英語)／Difficulties in Mastering English Article Use(英語)／0歳児保育における音楽のかかわり(音楽)／剣道部員の試合前後におけるメンタルコンディションの変化—自己認知を深めることに着目した縦断的調査—(保健体育)／運動・スポーツの価値観と過去の運動・スポーツ経験が現在の運動実施に及ぼす影響に関する研究(保健体育)／逆上がりにおける運動学的—考察—学習過程における運動内観の変容に着目して—(保健体育)／高知大学サッカー部少年少女サッカー教室に関する親の期待と満足度に関する研究(保健体育)／地域の人との交流が子どもの発達に及ぼす影響—高齢者に着目して—(家庭科)／小学校家庭科における家族とのコミュニケーション能力の向上を目指した授業提案(家庭科)／シミュレーションプログラミングからの科学技術教育へのアプローチ(技術)／情報教育及び環境教育を融合した総合的なものづくり題材の開発(技術)

## 医学部 看護学科

前立腺がんのロボット支援手術に関わる看護師の役割／看護大学生の友人関係と抑うつに関連について／地震発生時の看護学生としての行動に関する知識と自信の実態調査／看護系女子大学生の子宮頸がん検診の受診経験と子宮頸がんに関する知識の関連／臨地実習中の看護学生の行動変容につながるふりかえり／臨地実習における看護学生の傾聴の捉え方と姿勢／幼児期の共感性の発達と日常生活における家庭内共有行動の関連について／小児看護にたずさわる看護師の日々の看護実践における「よりそう」看護の認識／妊婦からみた地域の暮らしやすさの現状とニーズ／新聞記事における精神疾患・障害者報道の傾向分析—一般人の精神障害者に対するイメージ形成に与える影響—／看護学生の調理習慣の有無と学習意欲との関連／K大学看護学生の日常生活場面における手洗いの実施状況とその要因／若年層が献血行動に至らない要因に関する実態調査／看護学実習における看護師への報告の困難さの要因／新人看護師のやりがいの構成要素とその関連要因／病棟における申し送りの短縮・廃止に伴う課題への看護管理者および看護師個人の対応





## 理工学部(仮称) 数学物理学科

### 数学コース

結び目理論/体の理論( $\pi$ の超越性)/シュワルツ超関数の例/ゲーデルの理論/硬貨投げで考える確率論入門/多面体的曲面の剛性を持つ変形について/一般化されたカントールの3進集合について/バナッハのマッチ箱の問題/ガロアの基本定理

### 物理学コース

Brownmillerite型酸化物 $\text{Sr}_2\text{Fe}_2\text{O}_5$ の $\text{CO}_2$ との反応における平衡論的評価/二種の非磁性イオンを含むペロブスカイト型マンガン酸化物における合成方法の再検討/高負荷振動試料型磁束計の安定性向上/大気透明度解析プログラムの検証/高密度クォーク物質中の自発磁化と磁気感受率/タングステン酸スカンジウム型結晶構造を持つ新規固体電解質の合成

## 理工学部(仮称) 情報科学科

カラー電子ホログラフィ再生システムの構築/自律型ロボットの移動計画問題に使われる台形分割アルゴリズムの拡張/分散処理フレームワークを用いた時空間データからのイベント検索システムの構築/推論による情報漏えいリスクの評価手法/ $p+1$ 法と楕円曲線法による素因数分解の研究/利用率向上を目的としたゲーミフィケーションを取り入れた習慣化支援システムの設計/手話トレーニングマシンの開発

## 理工学部(仮称) 生物科学科

日本産ソコイワシ科魚類の分類学的研究/化石記録から探る現生種マルスダレガイ科二枚貝の起源/ウシエビに存在するアスパラギン酸ラセマーゼホモログの単離と機能解析/河川域に成立する植物群落の組成と構造・立地環境/高知県三嶺カヤハゲに設置された植生マットと蘚苔類の関係/褐藻ワカメの細胞形態に及ぼす各種陽イオンの影響/アカウミガメの孵化幼体における遊泳活性の経時変化について/コルポダの休眠シスト形成誘導の可逆性について

## 理工学部(仮称) 化学生命理工学科

チオプロニンを用いた光学活性コバルト(III)錯体の合成と性質/ $\text{BaTiO}$ 配向性セラミックスの作製/ハイドロキシアパタイト表面の酸塩基性評価/鉄触媒によるベンジル位酸化反応に関する研究/海洋生物由来のテルペンの合成研究/カチオン性金ナノ粒子の合成と細菌検出への応用/カタウレイボヤ胚におけるMyc遺伝子の機能解析/ナメクジウオのインドールアミン2,3-ジオキシゲナーゼの酵素特性

## 理工学部(仮称) 地球環境防災学科

木材の長期耐久性に着目した丸太打設液状化対策工法の研究/入戸火砕流堆積物から抽出した粒子の自然残留磁化とその起源の検討/四国平野部における降雪の地域特性/様々な条件の砂質模型斜面の降雨浸透に伴うせん断変形/室戸岬ハンレイ岩体上部境界における砂岩の部分溶解/コスタリカ沖未固結堆積物の差応力下の物性と異方性の分布/台風201408号に伴い高知平野で発生した竜巻の解析

## 農林海洋科学部 農林資源環境科学科

### 暖地農学領域

GTLによる $\text{CO}_2$ 施肥がカンキツに及ぼす影響/緑色光とUV-Bの照射が蘭の器官形成に及ぼす影響/稲の晩生遺伝子と抑制遺伝子に関する遺伝学的研究/「複合発酵循環システム」を用いたトマトの養液栽培/フリーズドライ細胞を用いたウシ核移植胚の作出/イネの収量生産に及ぼす節水栽培の影響/GHPを活用したハウス内環境制御技術の開発/ブルーベリー栽培における竹堆肥の利用可能性/高知県の農産物の輸出を想定した海外への地産外商/ $\text{CO}_2$ 濃度下における野菜の生育に関する研究

### 自然環境学領域

インドネシア産担子菌類の抗がん作用/土着天敵メスグロハナレメイエバエの捕食能力に関する研究/「ふゆのめぐみ」を用いた良質小麦の自給率向上に関する基礎研究/エダナナフシとナナフシモドキを用いた系統学的研究/イネの抵抗性メカニズムの分子生物学的解明/蛇紋岩地におけるコソクバネツギの形態学的研究/水田面蒸発量の直接測定と微気象学的方法による蒸散量の分離評価

### 森林科学領域

高知県におけるニオウシメジの人工栽培と成分解析/作業道における排水施設の効果と配置/ヒノキ人工林の強度間伐が高木性広葉樹の発生・定着に及ぼす影響/イオン液体を活用した紙の表面処理とその効果/森林組合の作業班の労働条件に関する研究/マレーシア熱帯二次林における植生回復に影響を及ぼす要因に関する研究/薪活用を想定した分割材の自然乾燥/高知県における小規模森林管理の現状と課題

### 生産環境管理学領域

光センシングによる食用判別コードに関する研究/サウンドスケープに関する調査研究/クラリスロマイシンによる活性汚泥の硝化阻害とその抑制手法の検討/ADI法を用いた水平2次元モデルによる浦/内湾の流動解析/泥炭およびロームの化学成分がセメント硬化体の強度発現特性におよぼす影響/廃棄物を利用した資源循環土による芝の生育試験/リモートセンシングの豪雨災害への利用可能性の検討

## 農林海洋科学部 農芸化学科

ゼブラフィッシュ胚の凍結保存/アミノ酸脱水素酵素の諸性質/青枯病菌の遺伝子発現をモニターする新規レポーター株/過放牧が草原土壌微生物に与える影響/空気清浄器用鉄担持活性炭フィルターの評価/立体規則性ポリグルタミン酸のレアメタル吸着性/深海底コア試料を用いたD-アミノ酸/希少糖応答クロロンの網羅的探索/植物性乳酸菌を用いた豆乳ヨーグルト/木質焼却灰の施用が土壌pHに及ぼす影響/マンガン耐性植物の創生に向けた解析条件の検討/菌体外多糖の青枯病菌の病原性に関わる機能/ホスファチジン酸を介した植物免疫応答に関与する遺伝子群の単離/高知県産ユズとショウガの香気分析/高知県産野菜の酸化活性と関与する成分/イネに含まれるトピロウンカの産卵刺激物質の探求

## 農林海洋科学部 海洋資源科学科

### 海洋生物生産学コース

高知県内の河川に生息しているコイにおけるコイヘルペスウイルスの保有状況及び体内動態/ブリ稚魚のタウリン要求量/高知県浦/内湾の造成カジメ場に出現する魚類の群集構造/有用物質を超高生産する遺伝子組み換え海産微細藻創生の試み/クルマエビクラスタシアニンのパラログ遺伝子に関する研究/熱帯汽水域の放棄養殖池におけるエビ類と魚類の分布パターン

### 海底資源環境学コース ※分野新設

### 海洋生命科学コース

海洋産渦鞭毛藻Amphidinium sp.からの新規抗腫瘍性マクロリドIrimoteolide-13aの構造/Amphidinium属渦鞭毛藻から単離した細胞増殖活性化物質Amphionin-4の構造研究/海洋生物資源からの脂肪細胞の分化誘導物質の探索/環境調和型非対称チオエーテル合成法の開発/アミノ酸類縁体を用いた $\alpha,\beta$ -不飽和アルデヒドの不斉環化反応における機構解明

# 教員紹介

所属の表記は平成28年5月1日現在のものです。平成29年4月1日より理学部は理工学部(仮称)に改組予定です。

## 役員

理事	櫻井 克年	熱帯土壌学、土壌情報解析学、土壌生態学
理事	藤田 尚文	発達心理学と教育心理学、とくに親子関係、学力問題

## 人文社会科学部 人文社会科学科 人文科学コース

教授	安藤 恵崇	宗教学・近現代の哲学、宗教思想、思想の方向から見た神話学
教授	池田 和夫	人間の認知過程および家族構造の認知に関する研究
教授	上野 智子	日本語方言・四国地方方言・高知県方言の研究と海岸部地名の研究
教授	大柳 敦弘	戦国秦漢時代を中心とする中国古代史
教授	萩 慎一郎	日本近世社会史の研究、日本近世鉱山史、「浦」社会史
教授	小幡 尚	行刑史などを中心とする近代日本刑事政策史研究
教授	杉谷 隆	環境問題を地域や自然観・倫理観の問題として考察すること
教授	角 忍	カント哲学の本質を最高善の問題という観点から解明する
教授	高橋 克己	ドイツ思想詩・古代ギリシアと西歐・プラトーン主義と教父
教授	津野 倫明	朝鮮出兵・大名長宗我部氏・南海路の研究
教授	福島 尚	日本中世文学研究、古典文学における「説話」関連領域の研究
教授	藤吉 清次郎	19世紀アメリカ小説、アメリカ映像文化
教授	武藤 整司	西洋近世哲学史、倫理学、生涯学習論を研究中
教授	山本 秀人	日本語史学、特に漢字の訓、古辞書(漢和辞書等)に関わる研究
教授	吉尾 寛	明清期の民衆運動と地域社会、台湾における黒潮認知の歴史
特任アプロフェッサー	加藤 勉	英語の複数構文と総称表現を中心とした、言語の意味論的研究
准教授	川本 真浩	イギリス、イギリス帝国、コモンウェルス(英連邦)の近現代史
准教授	後藤 拓也	アグリビジネスの地理学的研究
准教授	鈴木 隆司	平安朝文学、おもに和歌・物語・日記文学の研究
准教授	宗 洋	イギリス小説、映像メディア
准教授	田鎖 数馬	谷崎潤一郎研究、芥川龍之介研究、大正期文芸思潮研究
准教授	西尾 美穂	統語論とは何か、またそれはどのように変化するのか
准教授	日比野 桂	日常生活における感情喚起とその後の時間経過に伴う変化の過程
准教授	増田 匡裕	様々な対人関係の発達・解消過程のコミュニケーション
講師	宮里 修	東北アジア考古学、弥生・古墳時代の考古学

## 人文社会科学部 人文社会科学科 国際社会コース

教授	岩佐 和幸	グローバル化とアジア地域の構造変動に関する政治経済学的研究
教授	奥村 訓代	デジタル化時代にふさわしい外国語としての日本語教授法研究
教授	小澤 萬記	進化論の日本への影響、比較日本文化論
教授	斎藤 昌人	19世紀末から20世紀初頭にかけてのウィーン
教授	周 雲喬	異文化間のコミュニケーション、比較文化、中国語学
教授	高橋 俊	近現代中国の社会・文化研究
教授	遠山 茂樹	社会ネットワーク論、デジタルメディア論、コミュニティ論
教授	中森 健二	中国の古代・中世文学、おもに詩文学と詩論の研究
教授	山下 興作	大衆文化論、演劇論、アートマネジメント
教授	吉門 牧雄	イギリス言語文化、特にロバート・ブラウニングの英詩研究
教授	LINGLEY DARREN SCOTT	異文化間コミュニケーション、英語教授法
准教授	今井 典子	第二言語習得研究より考察する英語教授法および学習法、英語教育
准教授	岩佐 光広	医療に関する人類学的・倫理学的研究、ラオス地域研究
准教授	古閑 恭子	アカン語(ガーナ)の記述研究、ガーナの言語状況の研究
准教授	佐野 健太郎	輸出主導型から内需主導型への経済構造転換における日中比較
准教授	佐野 由紀子	現代日本語の文法
准教授	塩原 俊彦	ロシアをめぐる諸問題
准教授	関 良子	19世紀英文学・文化の研究、特に当時の中世主義について
准教授	中西 三紀	ラテンアメリカ地域の社会・経済構造の変動に関する研究
准教授	崎崎 好子	音声の自然性・第3言語習得・日ソ連園の言語政策と英語教育
准教授	森 直	十八世紀ブリテンの政治・経済思想についての研究
准教授	DOYLE HOWARD BARRY	世界英語、リテラシー教育、外国語(第二言語)の研究
准教授	HARE JOANNA DOROTHY	和英翻訳や解説、特に四国遍路と深沢七郎の文学
講師	OTLOWSKI MARCUS GEORGE	英作文教授法、英語教授法
講師	土屋 京子	18世紀後半から19世紀初頭におけるドイツ語圏の思想や文学
講師	HUG STEFAN	ドイツ語の文法、文法の教え方、外来語

## 人文社会科学部 人文社会科学科 社会科学コース

教授	飯岡 芳明	北東アジアの条件不利地域における資源管理の解析と制度設計
教授	伊丹 清	金融関係の会計についての研究
教授	緒方 賢一	農山漁村と農林水産法に関する法社会学的研究
教授	新保 輝幸	黒潮圏の地域環境資源の持続可能な利用に関する経済学的研究
教授	中川 香代	人事労務管理を中心とした企業経営管理の日英比較研究
教授	山内 高太郎	国際会計基準、米国会計基準における現代会計理論の研究
教授	横川 和博	日本独占禁止法制・英国独占禁止法制・国際経済法
准教授	福田 朗子	医事刑法
准教授	岡田 健一郎	日独公法学における「国家による安全」の意義と問題点
准教授	切詰 和雅	商取引における外観信頼者保護の制度に関する研究
准教授	霜田 博史	ドイツ統一後の連邦財政調整制度
准教授	肖 紅燕	日本と中国の家族と社会構造研究、田園回帰と移住
准教授	田中 康一	企業の本社等の立地メカニズムに関する研究
准教授	西島 文香	社会保障・社会福祉の提供体制とその政策課題に関する研究
講師	赤間 聡	科学技術の発展およびリスク(原発事故等)とのつきあい方

講師	雨宮 祐樹	金融契約及び企業金融に関する研究
講師	新井 泰弘	知的財産権制度の経済学的研究
講師	海野 晋悟	経済学版ロールプレイングゲームを作る
講師	遠藤 晶久	現代日本の選挙と政党の研究、世論調査方法論
講師	野崎 華世	女性就業および子どもの発達に関する研究
講師	堀 美菜	漁村社会論、水産資源と地域住民のかかわりに関する研究

## 教育学部 学校教育教員養成課程 幼児教育コース

教授	玉瀬 友美	幼児のこたばの理解に関する教育心理学的研究
准教授	川俣 美砂子	保育者のキャリア形成に関する研究
講師	三ツ石 行宏	福祉教育の理論・歴史に関する研究、社会的養護に関する研究

## 教育学部 学校教育教員養成課程 教育科学コース

教授	岡谷 英明	ドイツの教育人間学に関する研究、道德教育学
准教授	加藤 誠之	思春期問題(主に不登校・非行)に関する現象学—実存主義的理解
准教授	金山 元春	相手の「持ち味」を活かすコミュニケーションの工夫について
准教授	柳林 信彦	アメリカ教育改革政策に関する研究、地方教育行政機構に関する研究
講師	野中 陽一郎	教授学習過程に関する教育心理学的研究

## 教育学部 学校教育教員養成課程 国語教育コース

教授	玉木 尚之	中国古代の芸術観(おもに音楽観)
准教授	岩城 裕之	方言誌の記述および分析と、災害・医療現場での方言利用のあり方について
准教授	武久 康高	平安時代を中心とした物語文学、および古典文学の享受に関する研究
准教授	吉田 茂樹	国語科教育法の研究

## 教育学部 学校教育教員養成課程 社会科教育コース

教授	遠藤 隆俊	中国の歴史、宋代以降の家族と宗族、東アジア交流史
教授	原崎 道彦	西洋哲学史(ヘーゲル)、快樂論、リラクゼーション論、ダイエット論
教授	藤田 詠司	意思決定能力育成のための社会科の学習内容構成
教授	藤本 富一	国籍について、外国人の人権について
准教授	柳川 平太郎	近世・近代のドイツを中心とするヨーロッパ史研究
准教授	山崎 聡	経済思想(ケンブリッジ学派)の研究
講師	中村 努	社会保障の地域格差研究、IT技術を活用した企業や組織の空間行動分析
講師	遠藤 尚	東南アジアの農村と農業の持続可能性に関する研究

## 教育学部 学校教育教員養成課程 数学教育コース

教授	佐藤 淳郎	可換代数学、とくにネーター環の拡大についての研究
教授	中野 俊幸	数学的認識の記号論的研究および算数・数学学習指導法の研究
教授	山口 俊博	やわらかい幾何学(トポロジー)の研究
講師	加納 理成	微分方程式とその周辺の領域
講師	服部 裕一郎	数学教育におけるクリティカルシンキングを育成する授業の実証的研究

## 教育学部 学校教育教員養成課程 理科教育コース・科学技術教育コース

教授	赤松 直	鉱物とその融解物の分子動力学シミュレーション、Web教材開発
教授	蒲生 啓司	環境および生体中の微量生体活性物質の化学分析に関する研究
教授	國府 俊一郎	固体の電子系と原子核を対象にした量子力学多体問題
教授	原田 哲夫	子どもの生活リズム研究、アメンボ類とくに外洋種ウミアメンボ研究、生物教材開発
教授	善喜 満生	宇宙放射線に関するコンピュータシミュレーション
准教授	伊谷 行	海洋生物(主に甲殻類、二枚貝類)の共生生態、環境教育
講師	草場 実	中等理科授業における学習者の認知と相互作用に関する実践的研究
講師	中城 満	理科における児童生徒の認知過程の研究、学び合いの効果の研究
講師	西脇 芳典	科学捜査のための微量成分分析を用いた犯罪遺留物の起源解明

## 教育学部 学校教育教員養成課程 英語教育コース

教授	谷口 雅基	英語音声学、音声教育、国際コミュニケーションのための英語教育、異文化理解
准教授	多良 静也	変種英語発音が非英語母語話者の理解に与える影響の研究
准教授	松原 史典	文法理論による様々な言語現象の解明と英語の語法・用法の研究
講師	長谷川 雅世	チャールズ・ディケンズの小説を中心とした19世紀ヴィクトリア朝のイギリス小説の研究

## 教育学部 学校教育教員養成課程 音楽教育コース

教授	小原 浄二	J.S.バッハを中心とするバロック期の音楽作品の研究
教授	宮田 信司	ピアノ演奏法、指導法についてロマン派作品を中心に研究
准教授	高橋 美樹	沖繩のポピュラー音楽に関する研究、レコード産業論
准教授	前田 克治	今日の作曲、および芸術表現を技法的、美学的側面から研究
講師	梶原 彰人	トロンボーンを中心とした管楽器の奏法と、独奏曲、アンサンブル作品の研究

## 教育学部 学校教育教員養成課程 美術教育コース

教授	金子 直正	日本とドイツの美術教育の理論と実践に関する研究
教授	土井原 崇浩	油彩画による具象表現の研究と古典インク(没食子インク)の研究
教授	吉光 誠之	木工芸における、指物、挽物、割物の技法および表現に関する研究
准教授	中村 るい	古代ギリシャ美術の造形表現と美意識の研究
講師	阿部 鉄太郎	塑造による具象彫刻の研究
講師	野角 孝一	日本画における心象表現の追求、及び材料研究

## 教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育コース

教授	神家 一成	スポーツ運動の学習過程および指導過程に関する研究
----	-------	--------------------------



教授	駒井 詔夫	全身持久力に関する研究、身体運動と健康・体力について
准教授	宮本 隆信	体育授業研究、日本と韓国の体育授業比較研究
准教授	矢野 宏光	スポーツ・身体運動が心理的側面にどのような影響を与えるのか
講師	常行 泰子	運動・スポーツと社会的課題に関する実証的研究
講師	幸 篤武	生活習慣病の予防に関する研究

**教育学部 学校教育教員養成課程 技術教育コース・科学技術教育コース**

教授	道法 浩孝	ニューロコンピューティング、電気・情報に関する教育
教授	増尾 慶裕	児童生徒の学力を育成するための構成主義学習指導に関する研究
講師	北川 晃	フォトニック結晶における電磁場の伝搬に関する理論的研究

**教育学部 学校教育教員養成課程 家庭科教育コース**

教授	小島 郷子	家庭科教育および消費者教育に関する理論的・実証的研究
教授	田村 和子	被服心理や色彩に関する研究、スポーツウェアや消防服などの被服設計と開発
准教授	森田 美佐	生活経営学・家族関係学・ジェンダー平等に関する研究
講師	柴 英里	健康科学を基盤とした食物学の意義と実践の研究

**教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース**

教授	喜多尾 哲	知的障害児における学習特性の理解と指導法に関する研究
教授	寺田 信一	脳発達障害の生理心理学的機能評価法・指導法の開発と実践研究
准教授	是永 かな子	北欧における特別ニーズ教育システムと実践についての研究
講師	鈴木 恵太	学習障害など発達障害のある子ども達の理解と指導に関する研究

**教育学部 附属教育実践総合センター**

准教授	鹿嶋 真弓	教師による自律支援の指導態度に関する研究
准教授	古口 高志	ストレスと心身の健康との関連、心身症への認知行動療法
講師	横山 卓	子どもの社会化(発達)に関する研究、地域防犯活動に関する研究

**理学部 理学科 数学コース**

教授	大坪 義夫	非線形評価関数を伴うマルコフ決定過程論とその応用に関する研究
教授	下村 克己	安定ホモトピー論、球面のホモトピー群
教授	野村 昇	数理統計学における数値計算法とその応用
教授	福岡 慶明	代数幾何学、特に偏極多様体の不変量による分類とその応用
教授	逸見 豊	代数的および組み合わせ論的方法を用いたボロゾーの研究
教授	諸澤 俊介	複素力学系、クライン群論、フラクタル幾何学
准教授	小野寺 栄治	偏微分方程式、幾何解析
准教授	小松 和志	準周期タイリング、分子の立体構造の配置空間
准教授	土基 善文	非可換代数幾何学、非可換環論
助教	三角 淳	相転移を含む確率モデル

**理学部 理学科 物理学コース**

教授	飯田 圭	高密度物質の理論
教授	津江 保彦	強い相互作用する粒子集団が示す物性の理論的研究
教授	中村 亨	極高エネルギー宇宙線、および低周波自然電磁波の研究
教授	西岡 孝	極低温・高圧下における希土類化合物の磁性研究
准教授	加藤 治一	遷移金属酸化物など強相関電子系の合成およびNMR測定
准教授	島内 理恵	燃料電池など電力用電池に必要な機能性セラミックスの開発と物性
講師	仲野 英司	理論物理学:QCD物性、相転移、ソリトン、冷却原子 など
助教	斎藤 卓也	格子量子色力学理論を用いたハドロン物理の研究
助教	藤代 史	環境・エネルギー材料の合成および物性評価

**理学部 理学科 生物科学コース**

教授	石川 慎吾	植生の動態と攪乱地に生育する植物の生活様式の研究
教授	遠藤 広光	魚類の分類・系統学に関する研究
教授	奥田 一雄	植物の細胞の形を決めるしくみを明らかにする研究
教授	佐々木 邦夫	魚類の形態学的研究
教授	松井 透	コケ植物の分類を中心に、系統、生態、形態等を研究
教授	松岡 達臣	原生動物の環境応答と休眠シスト形成の分子機構
准教授	有川 幹彦	原生動物に見られる特異な細胞機能の分子機構解明
准教授	岡本 達哉	地衣学
准教授	関田 諭子	渦鞭毛藻の細胞外被の形態構築機構
准教授	峯 一朗	藻類の細胞形態形成と細胞壁の微細構造と性質
准教授	三宅 尚	植物化石の分析に基づく第四紀の植生史の解明
講師	加藤 元海	山・川・海の生き物を野外調査や論理的思考をとおして解明
助教	比嘉 基紀	植物の分布と環境要因との関連性およびその変化の予測

**理学部 理学科 地球科学コース**

教授	石塚 英男	太古代大陸地殻の形成プロセスと進化に関する研究
教授	近藤 康生	二枚貝類を中心とした古生物の進化と絶滅
准教授	中川 昌治	四国付加体のマンガン鉱床、資源鉱物の鉱物学鉱床学
准教授	奈良 正和	地球環境変動下の古環境ならびに古生態系の復元に関する研究
講師	川畑 博	野外調査と岩石の観察・分析を通して、マグマの一生を読み解く研究

**理学部 応用理学科 情報科学コース**

教授	岡本 竜	知識工学と学習科学
教授	豊永 昌彦	組合せ最適解の計算機算法(回路の配置・配線自動化)

教授	中込 照明	量子モナド論、情報多体系、オブジェクト指向、統計
准教授	伊藤 宗彦	層型空間の開基、多角形の位的性質
准教授	塩田 研一	暗号、計算代数、実験整数論、グラフ理論、符号理論
准教授	高田 直樹	高性能計算、GPGPU、計算電磁工学、電子ホログラフィ
准教授	本田 理恵	データマイニング、機械学習、画像認識、惑星情報学
准教授	森 雄一郎	フジイ工学、バイオメトリクス認証、聴覚障害者支援技術
講師	三好 康夫	学習支援環境デザイン、Webインテリジェンス
助教	鈴木 一弘	離散数学とその応用(グラフ理論、離散幾何学、情報セキュリティ)

**理学部 理学科/化学コース、応用理学科/応用化学コース**

教授	藤山 亮治	有機 $\pi$ 電子系の置換基効果解析
教授	北條 正司	非水浴媒環境下における溶存化学種の同定と定量
教授	米村 俊昭	生体関連無機—有機ハイブリッド化合物の開発と作用機序の解明
教授	渡辺 茂	有機—無機複合ナノ粒子を利用した超高感度バイオセンサーの開発
助教	今村 和也	太陽光を利用する物質変換反応のための、触媒・光触媒の開発
助教	永野 高志	鉄やハロゲンの性質を活用する触媒的有機分子変換反応の開発
助教	仁子 陽輔	超分子蛍光プローブの開発とその生命科学への応用
助教	波多野 慎悟	機能性高分子材料の合成と分離膜、分子センサー開発への応用
助教	松本 健司	天然物から着想した新規機能性金属錯体の開発

**理学部 応用理学科 海洋生命・分子工学コース**

教授	市川 善康	天然物化学、生物有機化学、糖化学に関する研究
教授	川村 和夫	海産動物ホヤを用いた加齢と生殖に関する研究
教授	鈴木 知彦	グアニジキナーゼの構造、機能および進化
教授	藤原 滋樹	動物の胚発生、再生、無性生殖を制御する遺伝子の研究
准教授	中野 啓二	有機金属錯体合成、触媒反応の開発、機能性有機化合物の開発
准教授	湯浅 創	酵素の生化学と分子進化
講師	宇田 幸司	酵素の構造と機能の進化に関する研究
講師	砂長 毅	群体ホヤの幹細胞システムを制御する遺伝子の研究

**理学部 応用理学科 災害科学コース**

教授	佐々 浩司	レーダー観測と模擬実験による竜巻等突風の発生メカニズムの解明
教授	田部 隆雄	GPSによる地殻変動計測、地殻変動のシミュレーション
教授	村上 英記	地震火山活動に関連する流体の研究、月内部構造の研究
准教授	橋本 善孝	沈み込みプレート境界地震発生帯物質科学・物質—流体相互作用
准教授	松岡 裕美	浅海底活断層の研究、津波堆積物の研究
講師	村田 文絵	バングラデシュに洪水をもたらす降水システムの研究
助教	藤内 智士	野外調査を中心とした地殻変動に関する研究

**理学部 附属高知地震観測所**

准教授	大久保 慎人	地震観測記録を用いた地震発生機構と地球内部構造の研究
-----	--------	----------------------------

**理学部 附属水熱化学実験所**

教授	柳澤 和道	水熱反応による機能性材料の合成と廃棄物の処理・処分
准教授	梶芳 浩二	水熱法・電気化学法による機能性無機材料の合成と物性評価
講師	恩田 歩武	バイオマス資源から有用な有機化合物に変換する触媒化学

**医学部 医学科 解剖学**

教授	由利 和也	神経情報伝達系とステロイドホルモン
准教授	大迫 洋治	社会性発現における脳内メカニズムの解析
准教授	冨田 江一	大脳皮質における視覚中枢の発達機序
助教	高橋 弘	精神・神経疾患の病態解明と創薬研究
助教	田中 健二郎	情動や社会性の発達メカニズム
助教	VADYM ZINCHUK	蛍光標識によるタンパク質の相互関係の定量化

**医学部 医学科 病理学**

教授	降幡 睦夫	ヒト腫瘍におけるがん関連遺伝子発現異常と腫瘍動態
教授	村上 一郎	ランゲルハンス細胞組織球症の研究
准教授	倉林 睦	VHL遺伝子と糖代謝
准教授	長沼 誠二	食道がんの浸潤転移のメカニズム
助教	井口 みつこ	人体病理
助教	藤澤 和音	人体病理

**医学部 医学科 生理学(統合生理学)**

教授	山口 正洋	大人の脳で生まれる新しい神経細胞の役割、食行動の神経機構
准教授	谷口 睦男	香り・フェロモンを感じる脳の仕組み
助教	越智 経浩	脂肪肝(非アルコール性脂肪性肝疾患)と糖代謝
助教	村田 芳博	化学感覚情報に基づく記憶形成のメカニズム

**医学部 医学科 生理学(循環制御学)**

教授	佐藤 隆幸	医療機器の開発と事業化支援
准教授	池田 哲朗	心不全時の自律神経系の制御機構
助教	戸高 寛	自律神経による心筋保護作用のメカニズム

**医学部 医学科 生化学**

教授	本家 孝一	遺伝子を超えた生命の不思議—生体膜のダイナミズムとはたらき
----	-------	-------------------------------

# 教員紹介

准教授 戸田 勝巳 エストロゲンの生理作用の解析  
 助教 久下 英明 神経分化に関わる生理活性脂質  
 助教 宮原 馨 糖脂質の細胞内輸送とその制御

## 医学部 医学科 遺伝子機能解析学

教授 麻生 梯二郎 遺伝子発現調節と生命現象(発生、分化、発癌等)との関連の解明  
 助教 安川 孝史 転写伸長因子の発生・分化における役割の解明、タンパク質修飾

## 医学部 医学科 生体分子構造学

教授 関 安孝 天然変性タンパク質の構造と機能発現メカニズムの解明

## 医学部 医学科 薬理学

教授 齋藤 源顕 下部尿路・性器の薬理学  
 准教授 清水 孝洋 脳内大麻によるストレス反応制御機構の解明  
 助教 東 洋一郎 目指せ! 高次脳機能障害患者の救済  
 助教 清水 翔吾 脳内神経伝達事項による排尿機能メカニズム

## 医学部 医学科 微生物学

教授 大畑 雅典 ウイルス感染による発がん、微生物と血液疾患の関係、血液腫瘍の病態解明  
 准教授 松崎 茂展 バクテリオファージを利用する細菌感染症制御法の開発  
 助教 橋田 裕美子 皮膚微生物叢と疾患との関係、微生物感染と発がんに関する研究

## 医学部 医学科 寄生虫学

准教授 是永 正敬 寄生虫病学、寄生虫感染防御機構の研究

## 医学部 医学科 免疫学

教授 宇高 恵子 T細胞認識・抗腫瘍免疫  
 准教授 清水 健之 免疫反応の調節や成熟のメカニズムの解明  
 助教 木嶋 美香 CTL誘導型ワクチンの開発  
 助教 小松 利広 T細胞の腫瘍内浸潤機構の解明

## 医学部 医学科 法医学

教授 古宮 淳一 外傷病理病態、法アルコール学、法医学防医学的研究  
 助教 中西 祥徳 法医学分子生物学(個人識別、物体検査、病理病態解析)  
 助教 西村 拓起 法中毒学、法医学防医学的研究、体組織中薬物濃度を指標とした病態解析に関する研究

## 医学部 医学科 医療学(環境医学)

教授 菅沼 成文 産業医学、環境医学、国際保健、特に職業性呼吸器病  
 特任准教授 清澤 秀孔 蛋白質をコードしないRNAとエピジェネティクスに関する研究  
 講師 弘田 量二 温泉療法と地域活性化、PM2.5・抗菌剤のアレルギー  
 助教 栄徳 勝光 神経分化、肺疾患におけるエピジェネティクス解析

## 医学部 医学科 医療学(公衆衛生学)

教授 安田 誠史 高齢者の介護予防、日本人での生活習慣病予防  
 講師 宮野 伊知郎 健康長寿および高齢者の在宅生活維持に関する研究

## 医学部 医学科 医療学(医療管理学)

教授 小林 道也 消化器癌に対する内視鏡外科手術の開発・教育と癌化学療法の臨床試験  
 講師 岡本 健 大腸癌に対する腹腔鏡手術と化学療法

## 医学部 医学科 家庭医療学(寄附講座)

寄附講座教授 阿波谷 敏英 地域における医学教育、プライマリ・ケアの医療経済的な意義  
 准教授 松下 雅英 高齢者におけるインフルエンザワクチン接種後の効果に関する研究  
 特任准教授 西村 真紀 家庭医が行うWomen's Health  
 特任助教 森尾 真明 高血圧新規発症予測因子、要介護新規発症予測因子に関する研究  
 特任助教 山内 紘子 プライマリ・ケア、在宅医療の実践に基づく研究

## 医学部 医学科 災害・救急医療学(寄附講座)

特任教授 長野 修 災害医学教育、救急医学教育、重症患者管理、南海トラフ地震における高知県の災害医療対応に関する研究

## 医学部 医学科 医学教育創造・推進室

教授 高田 淳 医学英語教育、高齢者の心血管疾患に関する研究  
 准教授 藤田 博一 医学教育、統合失調症、気分障害の心理教育

## 医学部 医学科 医学教育創造・推進室、体育

講師 野田 智洋 学習者が運動経過を把握する能力に関する研究

## 医学部 医学科 消化器内科学・内科(消化器)

教授 西原 利治 肝癌抑止と生活習慣病研究  
 准教授 岩崎 信二 原発性胆汁性肝硬変・自己免疫性肝炎の病態と治療  
 講師 耕崎 拓大 胆膵疾患の先進治療  
 講師 岡本 宣人 上部消化管の先進医療  
 助教 麻植 啓輔 胆膵疾患の先進治療  
 助教 小笠原 光成 非アルコール性脂肪性肝疾患の病態と診断  
 助教 廣瀬 享 肝硬変の診断と治療  
 助教 藤村 靖子 肝がんの診断と治療

助教 水田 洋 ビロリ菌遺伝子変異と各種疾患の病態との関連について

## 医学部 医学科 内分泌代謝・腎臓内科学・内科(内分泌代謝・腎臓)

教授 寺田 典生 腎臓病などの生活習慣病の病態と再生医学を含めた新規治療法の研究  
 教授 藤本 新平 糖尿病の病態解明、新規治療に関する研究  
 准教授 西山 充 食欲調節機構の解明と新規肥満症治療法の研究  
 講師 堀野 太郎 腎臓病診断のための新規バイオマーカーの開発  
 講師 田口 崇文 内分泌・甲状腺疾患の画像診断研究と病態解析  
 助教 井上 紘輔 急性腎障害における尿中バイオマーカーの研究  
 助教 島村 芳子 慢性腎臓病における新規バイオマーカーの研究  
 助教 高田 浩史 糖尿病における合併症発症の機序の解明と新規治療の開発  
 助教 谷口 義典 難治性リウマチ性疾患の新規画像診断法と治療法の開発  
 助教 中山 修一 肥満患者における食欲調節の解明  
 助教 平野 世紀 糖尿病における膵β細胞不全および再生の機序の解明  
 特任助教 近江 訓子 非アルコール性肝炎と糖尿病の関連について  
 特任助教 船越 生吾 糖尿病における骨代謝について

## 医学部 医学科 血液・呼吸器内科学・内科(血液・呼吸器)

教授 横山 彰仁 呼吸器・アレルギー疾患の病態、診断および治療  
 准教授 窪田 哲也 肺癌の治療  
 講師 砥谷 和人 造血器腫瘍の治療  
 助教 秋田 慎 呼吸器疾患の病態・治療  
 助教 大西 広志 閉塞性肺疾患および間質性肺炎の病態、診断および治療  
 助教 酒井 瑞 呼吸器疾患の病態・治療  
 助教 谷口 亜裕子 血液疾患の治療  
 助教 森 正和 リンパ系腫瘍の診断・治療  
 特任助教 高山 裕介 呼吸器疾患の病態・治療

## 医学部 医学科 老年病・循環器内科学・内科(老年病・循環器)

教授 北岡 裕章 虚血性心疾患、心筋症、心不全  
 准教授 山崎 直仁 心臓病の身体所見(心音、心機図)  
 講師 久保 亨 心筋症・心不全の病態形成機構の究明と新たな治療法の開発  
 助教 谷岡 克敏 虚血性心疾患  
 助教 馬場 裕一 心筋症・心不全  
 助教 弘田 隆省 不整脈疾患  
 助教 野口 達哉 動脈硬化性疾患に対する理学的・薬物的な血管新生の誘導  
 助教 宮川 和也 虚血性心疾患・BLS/ICLS(心肺蘇生講習)

## 医学部 医学科 神経内科学・内科(神経)

教授 古谷 博和 認知症、難治性神経・筋疾患の研究と治療法の開発  
 講師 大崎 康史 パーキンソン病・類縁疾患  
 助教 森田 ゆかり パーキンソン病・類縁疾患

## 医学部 医学科 小児思春期医学・小児科

教授 藤枝 幹也 免疫抑制状態と感染症  
 准教授 久川 浩章 小児癌に対する免疫療法、化学療法後の免疫能  
 講師 堂野 純孝 小児悪性疾患患者の免疫能について  
 講師 松下 憲司 合併症妊娠から出生した新生児の成長と発達  
 助教 石原 正行 小児腎疾患と腎再生について  
 助教 大石 拓 アレルギー疾患の患者教育の方法について  
 助教 山本 雅樹 先天性心疾患および不整脈、心臓電気生理に関する研究  
 特任助教 菊地 広朗 GVHDの予防と治療について  
 特任助教 三浦 紀子 超低出生体重児の循環管理

## 医学部 医学科 神経精神科学・精神科

教授 森信 繁 うつ病の病態解明と新規診断法の開発  
 准教授 下寺 信次 精神疾患の心理教育と国際共同研究、中高生のメンタルヘルス  
 講師 上村 直人 認知症と自動車運転  
 助教 赤松 正規 一般精神医学  
 助教 掛田 恭子 精神腫瘍学、緩和医療、リエゾン精神医学、医学教育  
 助教 永野 志歩 発達障害児への支援、女性心身医学  
 特任助教 岩河 千栄 一般精神医学  
 特任助教 須賀 楓介 うつ病の病態解明、高知県における自殺予防対策  
 特任助教 安岡 江里奈 一般精神医学

## 医学部 医学科 皮膚科学・皮膚科

教授 佐野 栄紀 乾癬、皮膚癌、膠原病、アトピー性皮膚炎  
 准教授 中島 喜美子 乾癬、アトピー性皮膚炎における免疫変調の研究  
 講師 中島 英貴 メルケル細胞癌のポリオーマウイルス  
 助教 大湖 健太郎 乾癬、掌蹠膿疱症におけるケモカインの動態  
 助教 志賀 建夫 乾癬における生物学的製剤の作用機序  
 助教 高石 樹朗 乾癬発症に関わる分子機構の解明、上皮細胞の生物学  
 助教 山本 真有子 関節症性乾癬  
 特任助教 藤岡 愛 自己免疫性水疱症、薬疹

## 医学部 医学科 放射線医学・放射線科



教授	山上 卓士	インターベンショナル・ラジオロジー、画像診断
特任講師	村田 和子	PETおよびMRIを用いた画像診断に関する研究
講師	小林 加奈	各種癌治療における低侵襲画像誘導放射線治療の開発
助教	岩佐 瞳	画像診断一般、核医学
助教	田所 満子	心臓CT、心臓MRI
助教	山西 伴明	放射線増感剤併用動脈塞栓療法の開発
助教	宮武 加苗	CT・MRI診断学

## 医学部 医学科 外科学(外科1)・外科(一)

教授	花崎 和弘	肝胆膵癌の新規治療、人工膵臓研究、漢方の薬物動態研究
特任教授	大島 雅之	胆道閉鎖症早期発見、カテーテル感染、新生児・小児内視鏡手術
准教授	杉本 健樹	乳癌治療、遺伝性腫瘍、マンモグラフィ遠隔診断
講師	駄場中 研	乳癌、一般外科、骨盤機能(便秘)治療
講師	並川 努	胃・小腸・大腸、消化器腹腔鏡手術、癌化学療法
助教	沖 豊和	乳腺・内分泌、造影超音波の乳癌への応用
助教	北川 博之	食道外科、食道癌の胸腔鏡手術、蛍光イメージングを用いた手術の工夫、術後管理
助教	坂本 浩一	小児外科、新生児外科
助教	志賀 舞	消化器腹腔鏡手術、大腸癌
助教	宗景 匡哉	一般外科
特任助教	小河 真帆	乳腺、内分泌、遺伝性乳癌・卵巣癌
特任助教	宗景 絵里	消化器一般・胃癌

## 医学部 医学科 外科学(外科2)・外科(二)

教授	渡橋 和政	心臓手術の死角を減らし安全性と確実性を高める技術の開発
准教授	西森 秀明	心臓血管外科治療における脳合併症予防法の確立
講師	穴山 貴嗣	低侵襲肺切除術を支える新技術の開発、気管支インターベンション、抗癌剤感受性試験
講師	栗山 元根	遊離皮弁における再灌流障害について
助教	岡田 浩晋	肺癌の転移リンパ節におけるバイオマーカー検索
助教	福富 敬	Shaggy aortalに対する治療デバイスの開発に関する基礎的検討
助教	宮崎 涼平	抗癌剤感受性試験を用いた分子標的薬の効果予測
助教	矢野 晶子	足病変における下肢救済へ向けた治療戦略の確立
助教	山本 正樹	確実性を追求する心臓手術のための術中検査システム開発
特任助教	木原 一樹	心臓血管外科手術における低侵襲手術の検討

## 医学部 医学科 麻酔科学・麻酔科

教授	横山 正尚	疼痛の機序、術後管理、集中治療、局所麻酔薬
准教授	山下 幸一	術後管理における呼吸・循環・代謝管理に関する研究
講師	河野 崇	術後管理に関連した疼痛、代謝、循環生理学に関する研究
講師	北岡 智子	緩和ケアにおけるがん性疼痛に関する研究
助教	神元 裕子	術後疼痛の制御、慢性疼痛の心理社会的要因
助教	山本 佳子	術後管理の呼吸障害に関する研究
特任助教	北村 園恵	術後管理の疼痛に関する研究

## 医学部 医学科 産科婦人科学・産科婦人科

教授	前田 長正	①子宮内胎症の謎に迫ろう②臍帯血を用いた再生医療
助教	牛若 昂志	①タムラブスを用いた子宮内胎症胎盤細胞の解析②卵巣がん再発予防のための免疫活性化
助教	谷口 佳代	子宮内胎症のメカニズムと薬物療法
特任助教	渡邊 理史	①周産期災害救急をともに学ぼう②臍帯血を用いた再生医療

## 医学部 医学科 整形外科・整形外科

教授	池内 昌彦	関節・スポーツ関連疾患の診療および関節痛の基礎研究
准教授	武政 龍一	脊椎脊髄病、骨粗鬆症、人工材料、脊柱変形、脊椎スポーツ障害、脊椎低侵襲手術
講師	川崎 元敬	骨転移や運動器疼痛性疾患に対する集束超音波治療法の開発
助教	泉 仁	肩、肘、スポーツ、運動器の痛み
助教	岡上 裕介	人工関節、関節バイオメカニクス
助教	喜安 克仁	脊椎脊髄病、骨粗鬆症の臨床研究、手術
助教	田所 伸朗	脊椎脊髄病診療における臨床神経生理学

## 医学部 医学科 眼科学・眼科

教授	福島 敦樹	眼炎症疾患発症機序の解析と新しい治療の開発
准教授	福田 憲	眼アレルギー疾患に対する新しい治療法の開発
講師	岸 茂	眼循環
助教	角 環	角膜結膜疾患、涙道疾患、眼表面再建手術
助教	多田 憲太郎	網膜硝子体疾患、網膜硝子体手術
助教	中平 麻美	緑内障、緑内障手術
助教	西内 貴史	網膜硝子体疾患、網膜硝子体手術
助教	松下 恵理子	網膜硝子体疾患、加齢黄斑変性の治療
特任助教	石田 わか	眼炎症疾患発症機序の解析と新しい治療の開発

## 医学部 医学科 耳鼻咽喉科学・耳鼻咽喉科

教授	兵頭 政光	発声および嚥下の機能解析と治療、嚥下機能の年齢変化
准教授	小林 泰輔	中耳・内耳疾患の病態解析、鼻副鼻腔疾患に対する内視鏡手術
講師	小森 正博	中耳の慢性炎症の病態解析、睡眠時呼吸障害
助教	池永 弘之	嗅覚障害および味覚障害の診断と治療
助教	長尾 明日香	音声障害の病態評価と治療、高速度カメラによる声帯振動の解析
助教	弘瀬 かほり	唾液分泌機能の中核調節機能

助教	松本 宗一	顔面神経麻痺におけるウイルス動態
特任助教	伊藤 広明	めまいの基礎的臨床的研究

## 医学部 医学科 脳神経外科学・脳神経外科

教授	上羽 哲也	悪性脳腫瘍の分化制御におけるメチル化CPG結合タンパクMBD1の機能的解析
講師	福井 直樹	3Dモデルを使用した、手術・血管内手術シミュレーション
助教	中居 永一	脳脊髄液減少症診断の臨床研究
助教	八幡 俊男	ゲノム可塑性から悪性幹細胞の弱点を探る
助教	川西 裕	悪性脳腫瘍に対する免疫療法
助教	上羽 佑亮	脳卒中後のロボットリハビリテーションの可能性

## 医学部 医学科 泌尿器科学・泌尿器科

教授	井上 啓史	癌の浸潤・転移、血管新生における分子生物学、および光力学に基づく癌の診断・治療
講師	辛島 尚	癌の浸潤・転移に関わる血管新生の役割と抗血管新生治療
講師	蘆田 真吾	遺伝子発現解析に基づく前立腺癌に対する間質の役割に関する研究
助教	佐竹 宏文	前立腺癌の発癌に関わる原因ウイルスの探求
助教	深田 聡	腎細胞癌における降圧薬ARBの腫瘍増殖作用の危険性の提唱
助教	福原 秀雄	泌尿器癌に対する新規治療法の開発
特任助教	久野 貴平	前立腺癌に対する分子標的の同定と機能解析

## 医学部 医学科 歯科口腔外科学・歯科口腔外科

教授	山本 哲也	口腔癌の集学的治療、口腔粘膜疾患の免疫学的検討
講師	北村 直也	口腔癌のセンチネルリンパ節同定法の開発
講師	笹部 衣里	口腔癌におけるHIF-1αの機能解析
助教	久保 慶子	口腔カンジダ症の病原因子に関する研究
助教	吉澤 泰昌	ナノアパタイトを用いた再生医療に関する研究

## 医学部 医学科 病態情報診断学

教授	松村 敬久	臨床検査医学・心臓超音波検査
助教	上岡 樹生	ウイルス発癌

## 医学部 附属病院 検査部

講師	竹内 啓亮	ヘリコバクター属関連疾患の病態解析、薬剤耐性化機構の解明と院内感染対策
助教	岡崎 瑞穂	長寿遺伝子SIRTの分子調節機構の研究

## 医学部 附属病院 手術部

講師	山崎 一郎	CGH等の分子生物学的手法を用いた前立腺癌研究
助教	吉田 行貴	乳房再建に関する形態学的研究

## 医学部 附属病院 放射線部

准教授	刈谷 真爾	小線源放射線治療の確立、放射線による癌細胞死のメカニズム
助教	田村 泰治	動脈性出血や悪性腫瘍に対するIVR(インターベンショナル・ラジオロジー)
助教	吉松 梨香	インターベンショナル・ラジオロジー

## 医学部 附属病院 救急部

特任准教授	山内 英雄	病院前救護体制の改革、災害医療、医学教育
特任講師	門田 知倫	いかにして災害関連死をなくすか
特任講師	古田 興之介	神経疾患(特に脳卒中)における再生医療の研究
助教	阿部 秀宏	モニタリングによる術後期輸液管理についての検討
特任助教	濱田 知幸	虚血性心疾患、心不全

## 医学部 附属病院 輸血・細胞治療部

講師	今村 潤	輸血・細胞治療の研究と臨床応用
----	------	-----------------

## 医学部 附属病院 集中治療部

講師	矢田部 智昭	術後管理の血糖管理における人工膵臓の有用性に関する研究
助教	立岩 浩規	神経障害性疼痛の病態機序の解明と新規治療法の開発に関する研究
助教	田村 貴彦	重症患者における栄養管理に関する研究

## 医学部 附属病院 周産母子センター

講師	池上 信夫	周産期(出生前診断)、更年期(ホルモン補充療法)
講師	泉谷 知明	子宮内胎症の腹腔免疫メカニズム
助教	荒木 まり子	小児内分泌疾患、早産児の成長、内分泌機能について
助教	玉城 渉	重症仮死に対する心機能の経時的変化について

## 医学部 附属病院 リハビリテーション部

助教	永野 靖典	地域医療におけるリハビリテーション医学の研究
----	-------	------------------------

## 医学部 附属病院 総合診療部

教授	瀬尾 宏美	能動的学習や臨床技能教育に関する研究
准教授	武内 世生	感染管理、臨床推論、HIV感染症、医学教育
講師	小松 直樹	総合診療、プライマリケア/地域医療
助教	北村 聡子	総合診療、心臓蘇生教育、禁煙外来、不整脈治療

## 医学部 附属病院 光学医療診療部

准教授	小野 正文	非アルコール性脂肪性肝疾患の疫学と治療
-----	-------	---------------------

# 教員紹介

特任准教授 谷内 恵介 膵臓がんペプチドワクチンの開発  
 助教 木岐 淳 悪性胆膵疾患の治療

## 医学部 附属病院 病理診断部

准教授 弘井 誠 造血管疾患の臨床病理学的研究  
 講師 戸井 慎 人体病理

## 医学部 附属病院 がん治療センター

特任助教 前田 広道 外的刺激に対する肝細胞、膵細胞の反応に関する研究

## 医学部 附属病院 次世代医療創造センター

教授 仲 哲治 がん・自己免疫病・炎症性疾患における診断薬・創薬開発  
 特任准教授 浅野 健人 臨床試験プロジェクトマネジメント、レギュラトリサイエンス、データマネジメント  
 特任准教授 二宮 仁志 情報科学、統計学、データマネジメント、プロジェクト・リスクマネジメント、意思決定論  
 特任講師 田井 麻美 品質管理、モニタリング、レギュラトリサイエンス  
 特任助教 藤本 匡志 データマネジメント、臨床研究情報管理、データベース設計  
 特任助教 加藤 諒 統計学、データマネジメント、位相幾何学

## 医学部 附属病院 医療安全管理部

准教授 久米 基彦 ヒト肺癌細胞株の生物学的特徴に基づく予後予測の試み

## 医学部 附属病院 薬剤部

教授 宮村 充彦 臨床薬理学、天然物化学

## 医学部 医学科 英語

講師 RIBBLE DANIEL BROWNSON 比較音楽学、尺八の国際化に関する研究、英語圏の語源学

## 医学部 医学科 分子細胞生物学

教授 富永 明 免疫担当細胞・サイトカインによる生体制御機構の解明、海洋生物資源による免疫応答の調節  
 准教授 田口 尚弘 造礁サンゴ染色体解析およびDNAマーカー作製、ヒト・魚・昆虫・住血吸虫の遺伝子解析

## 医学部 医学情報センター

教授 奥原 義保 医療情報システム、医療情報データの解析  
 准教授 畠山 豊 医療情報解析、データマイニング  
 講師 渡部 輝明 予防医学における医療情報データベースを利用した研究  
 助教 中島 典昭 医療情報データベース解析、医療情報システムの研究

## 医学部 先端医療学推進センター

講師 沈 淵 臍帯血幹細胞分化誘導及びその組織修復再生への応用  
 助教 王 飛霏 脳性麻痺モデルに対する臍帯血幹細胞移植の治療メカニズム  
 助教 馬場 伸育 臍帯血幹細胞の分化増殖能と損傷組織修復のメカニズムの解析  
 助教 山下 竜幸 組織幹細胞の分化増殖法、保存法の開発、および幹細胞を用いた損傷組織の修復  
 特任助教 太田 信哉 分子細胞生物学とプロテオミクスによる分裂期染色体構造の理解  
 特任助教 ABDERRAHIM NAJI 癌を引き起す組織の解明

## 医学部 看護学科 基礎看護学

教授 池内 和代 シングルマザーの生きる力に関する研究  
 教授 栗原 幸男 保健医療データの解析、安心・安全な医療情報利用のしくみの研究  
 教授 森木 妙子 看護師長、副看護師長、時間管理、経営、災害看護に関する研究  
 准教授 赤松 恵美 女性の健康予防と浮き指に関する研究、育児・指導に関する研究  
 講師 岡田 久子 知的障がい児・者の女子の性発達支援に関する研究  
 助教 下田 真梨子 中堅看護師の離職に関する研究

## 医学部 看護学科 臨床看護学

教授 大井 美紀 精神障がいをもつ人のリカバリー(自分の人生を歩むこと)支援に関する研究  
 教授 溝渕 俊二 自然免疫(身体の抵抗力)を活性化させる食品の研究・開発  
 教授 山脇 京子 慢性疾患患者のQOL  
 准教授 松岡 真里 子どもの在宅ケア、小児緩和ケアに関する研究、子育て支援に関する研究  
 講師 青木 早苗 がん看護・緩和ケア・ターミナルケアに関する研究  
 講師 小松 輝子 助産師学生の感性に関する研究、女性の骨盤に関する研究  
 講師 高橋 美美 大学生の精神看護技術修得について、対人援助技術(治療的コミュニケーション)に関する研究  
 講師 濱田 佳代子 妊娠、出産、育児の支援に関する研究  
 講師 吉村 澄佳 働く女性の健康に関する研究  
 助教 寺下 憲一郎 がん患者・高齢者の癒し・生きがいに関する研究  
 助教 川合 弘恭 小児慢性疾患のある子どもや思春期・青年期の人に関する研究  
 特任助教 渡部 嘉哉 天然由来成分の機能性に関する免疫学的解析

## 医学部 看護学科 地域看護学

教授 奥谷 文乃 においや味の情報は脳でどのように処理されているか  
 准教授 藤田 晶子 病院から在宅への移行期の看護  
 講師 齋藤 美和 へき地に関する研究、人材育成に関する研究  
 講師 杉本 加代 高齢者が地域で生活継続するための保健に関する研究  
 講師 廣野 祥子 在宅療養者が地域で生活し続けるためのケアマネジメントおよび看護  
 助教 林 昌子 脳卒中高齢者の在宅におけるケアに関する研究  
 助教 和田 庸平 在宅看護領域の連携やパートナーシップに関する研究

## 農林海洋科学部 農林資源環境科学科 暖地農学主専攻領域

教授 尾形 凡生 果樹の成長制御機構の解明とケミカルコントロール技術の開発  
 教授 島崎 一彦 草花の成長制御・組織培養による植物苗の生産・野生植物の生態調査  
 教授 村井 正之 稲遺伝、良食味、米粉パン用極多収晩生品種、老人・病院用ご飯、鑑賞用稲  
 准教授 西村 安代 野菜の養液栽培・生理障害・園芸施設的光環境・環境保全型農業  
 准教授 増田 和也 農山漁村における資源利用と社会変容に関する研究  
 准教授 松川 和嗣 高知県独特の和牛である土佐あかうしの飼養、増頭、保存  
 准教授 宮内 樹代史 園芸ハウスの環境制御技術の開発、植物生産流通システムの最適化  
 准教授 宮崎 彰 水稲の高温登熟性・水分生理に関する研究、熱帯有用植物の栽培生理  
 講師 濱田 和俊 果樹の開花・果実発育の制御およびメカニズムの解明  
 講師 松島 貴則 労働力問題と農業サービス、土地利用型農業の研究  
 講師 山根 信三 スイカの肉質、水耕栽培によるトマト、果菜の研究

## 農林海洋科学部 農林資源環境科学科 自然環境学主専攻領域

教授 荒川 良 天敵昆虫を利用した農林・衛生害虫の防除の研究、害虫管理技術開発  
 教授 石川 勝美 バン適性小麦、天然資源・麦飯石の高度利用、水の構造化、植物工場  
 教授 大谷 和弘 生物活性天然化合物の探索と地域保健への応用  
 准教授 伊藤 桂 ハダニ・昆虫類を用いた行動生態学・進化生態学  
 准教授 手林 慎一 植物の病害虫や環境に対する抵抗性の化学的・分子生物学的解明  
 准教授 福田 達哉 マメ科植物の蝶形花を用いた相対性に関する進化発生学的研究  
 准教授 森 敦人 広域農林生態系の気象環境学的評価

## 農林海洋科学部 農林資源環境科学科 森林科学主専攻領域

教授 大谷 慶人 きのこの生態と栽培、樹木精油の機能、木材・非木材ハルブ・紙  
 教授 後藤 純一 林業機械の開発、林業作業計画のための森林空間情報システムの開発  
 教授 塚本 次郎 環境・生物多様性保全に配慮した森林管理技術、落葉分解系の空間分布パターン  
 准教授 市浦 英明 機能紙に関する研究、バイオマス産業廃棄物の再資源化に関する研究  
 准教授 市栄 智明 樹木の成長や繁殖、環境ストレス応答に関する研究  
 准教授 鈴木 保志 林道・架線、森林作業システム、木質バイオマスの収穫と利用  
 准教授 古川 泰 地方自治体の林業政策、林業労働問題、南アジア林業  
 講師 松本 美香 中山間地域における森林管理、林業林産業構造、集落構造

## 農林海洋科学部 農林資源環境科学科 生産環境管理学主専攻領域

教授 河野 俊夫 食品偽装防止技術、食品への異物混入検出技術などの食品安全工学  
 教授 藤原 拓 地球温暖化を考慮した流域水環境管理に関する研究  
 教授 松本 伸介 農業水利施設の構造設計、建設材料の新規開発、音環境の調査  
 准教授 齋 幸治 地域水環境悪化の原因メカニズム解明と改善  
 准教授 佐藤 周之 流域水環境管理および流域社会基盤管理に向けた総合的な工学的研究  
 准教授 佐藤 泰一郎 中山間地域の水・土・里環境保全、環境型傾斜地農業の推進  
 准教授 松岡 真如 衛星データやデジタル地図を活用した陸域環境の解析

## 農林海洋科学部 農芸化学科

教授 芦内 誠 バイオベース新素材の開発と応用、環境先進型の微生物分子育種技術の確立  
 教授 岩崎 貢三 土壌—植物生態系、植物の物質吸収・蓄積機構、環境保全型農業  
 教授 枝重 圭祐 動物の生殖細胞の凍結保存技術の開発と耐凍性に関する遺伝子の探索  
 教授 木場 章範 植物の発病・免疫機構の解明～病気に罹らない植物をつくらう！～  
 教授 金 哲史 昆虫行動を制御する化学因子・植物の生理活性物質に関する研究  
 教授 康 峪梅 土壌・水の有害金属汚染、草原退化の機構解明と対策  
 教授 田中 壮太 熱帯土壌学、土壌生態学、持続可能な農業  
 教授 永田 信治 食と健康と環境に役立つ有用微生物探索と産業利用  
 教授 曳地 康史 植物細菌・ウイルスと植物の相互作用の解明、植物病害防除技術開発  
 准教授 上野 大勢 高等植物の栄養生理に関する研究  
 准教授 柏木 丈祐 食品中の生体調節物質の探求、食品の香り成分の有効利用  
 准教授 島村 智子 食品成分に関する研究、食品の機能性の解明  
 准教授 村松 久司 産業用酵素の探索・機能解析・応用法の開発  
 講師 若松 泰介 新規有用たんぱく質の探索、機能解析・構造解析、そして応用

## 農林海洋科学部 海洋資源科学科 海洋生物生産学コース

教授 足立 真佐雄 赤潮有毒プランクトンの研究、プランクトンによるバイオ燃料生産  
 教授 池島 耕 沿岸の環境、水生生物の生態と保全に関する研究  
 教授 大嶋 俊一郎 魚病原因微生物の診断・感染機構・防除法、養殖魚の生産に関する研究  
 教授 関 伸吾 魚介類の品種改良、野生集団の遺伝的保全に関する研究  
 教授 森岡 克司 養殖魚の品質、鮮度保持に関する研究、未利用資源の有効利用  
 教授 益本 俊郎 魚が必要とする栄養素の働きを調べ、餌の開発に利用する研究  
 准教授 足立 亨介 海産無脊椎動物と深海動物を用いたバイオテクノロジー  
 准教授 中村 洋平 魚類生息場の機能解明、海産魚類の生態  
 准教授 深田 陽久 魚類の食欲・消化・成長に関する研究、ブランド養殖魚の開発  
 准教授 山口 晴生 海洋植物プランクトンに関する研究、内湾赤潮の解明  
 講師 今城 雅之 魚類病原微生物(ウイルスと細菌)に関する研究

## 農林海洋科学部 海洋資源科学科 海底資源環境学コース

教授 上田 忠治 新規金属錯体の合成および酸化還元反応解析  
 教授 岡村 慶 海底鉱床探査のための現場型化学センサ開発  
 教授 村山 雅史 海洋の物質循環と海底資源形成に関する研究  
 教授 寄高 博行 海洋表層流の変動に関する研究



准教授 西尾 嘉朗 化学を用いた地球の謎(海底資源成因や地震火山機構等)の解明  
准教授 野口 拓郎 海底熱水活動に伴う有用金属・有害金属の動態解明

#### 農林海洋科学部 海洋資源科学科 海洋生命科学コース

教授 久保田 賢 造礁サンゴなどの海洋生物のタンパク質や遺伝子に関する研究  
教授 津田 正史 海洋微生物からの有用物質の探索と開発、およびDNP-NMR研究  
教授 長崎 慶三 海洋生態系におけるウイルスの役割と存在意義に関する研究  
教授 深見 公雄 海洋微生物の生理・生態とその働きを利用した環境保全・修復  
准教授 金野 大助 有機反応化学および量子化学計算による分子構造・反応解析  
准教授 櫻井 哲也 藻類等の生命情報を網羅的に用いた比較解析によるゲノム研究  
准教授 寺本 真紀 有益な物質の生産や環境浄化にむけた有益な微生物の探索・構築  
准教授 三浦 収 海産無脊椎動物の生態と進化の研究  
助教 Dana Ulanova 海洋微生物の二次代謝産物生成研究  
助教 小野寺 健一 海洋共生微生物を大量に培養し未利用物質資源を探索する研究

#### 農学部 農学科 自然環境学コース ※平成29年4月より理工学部(仮称)に異動

教授 笹原 克夫 降雨による斜面崩壊発生メカニズム、深層崩壊の発生予測

#### 農学部 農学科 流域環境工学コース ※平成29年4月より理工学部(仮称)に異動

教授 原 忠 液状化や斜面崩壊などの地盤災害と地震防災に関する工学的研究

#### 農学部 農学科 森林科学コース ※平成29年4月より理工学部(仮称)に異動

講師 野口 昌宏 中・大規模木質構造や木質部材の開発、木造住宅の地震防災に関する研究

#### 地域協働学部 地域協働学科

教授 池田 啓実 自律創発型組織の構造特性及びその社会基盤に関する分析  
教授 市川 昌広 人や村落の土地利用・森林利用と暮らし、日本の中山間地域問題  
教授 上田 健作 非営利組織の機能及び非営利組織の経営に関する研究  
教授 受田 浩之 食品成分の分析技術の開発、健康維持成分の検索  
教授 内田 純一 成人教育学、社会教育学、地域づくり教育、生涯学習論  
教授 大石 達良 日本企業の海外活動とくに欧州域内における活動の研究  
教授 鈴木 啓之 現代日本の財政政策、地域経済と地域政策、公信用論  
教授 玉里 恵美子 中山間地域における集落の変容と再生および地域福祉に関する研究  
教授 辻田 宏 スポーツ法学、スポーツ政策論、地域スポーツ振興論、スポーツサービスマーケティング  
准教授 石筒 寛 工業団地政策、マレーシアにおける地域政策・産業政策  
准教授 大槻 知史 持続的な地域運営の支援(防災、地域活性、遺産保全)、防災教育  
准教授 霜浦 森平 都市農村交流と農村ツーリズムに関する研究  
准教授 中澤 純治 産業連関分析を中心とした地域経済の数量分析  
准教授 中村 哲也 地域スポーツ社会学、運動部活論、スポーツと体罰研究  
准教授 松本 明 持続可能な地域づくりに資する計画論、評価方法、人材育成等  
准教授 湊 邦生 地域研究(モンゴル)、モンゴル・東アジアにおける社会意識分析  
准教授 吉岡 一洋 グラフィックデザインにおけるマス・イメージの創造  
講師 今城 逸雄 地域と協働した教育開発の研究、商店街活性化に関する研究  
講師 須藤 順 コミュニティデザイン、地域活性化、ソーシャルビジネス、アイデア創出、場づくり  
講師 田中 康 日本・熱帯諸地域の農山漁村における多様な豊かさの再構築研究  
講師 藤岡 正樹 防災教育、地域防災、避難シミュレーション、社会的起業  
講師 俣野 秀典 組織における知の創造、大学教職員の能力開発、ファシリテーション  
助教 斉藤 雅洋 市民活動における成人の学びに関する研究、自然環境の共同管理に関する研究  
助教 佐藤 洋子 地方都市・農村における女性の労働と生活に関する研究

#### 全学教育機構(土佐さきがけプログラム担当)

准教授 前西 繁成 非営利組織のマネジメント、企業の社会的責任  
特任講師 柴田 雄介 マルチメディアを活用した英語音声教育の研究  
特任講師 SHARPE MICHAEL JOHN 第二言語習得法・教授法

#### 大学教育創造センター

教授 塩崎 俊彦 17・18世紀日本文学の注釈的研究、文学受容と社会変動に関する研究  
准教授 立川 明 科学教育における能動学習の効果、高等教育における能動学習の効果  
特任准教授 杉田 郁代 授業の中の学生支援(学生の居場所がある授業づくり)に関する研究  
特任助教 竹岡 篤永 インストラクショナル・デザイン、学修コミュニティ、学修支援

#### アドミッションセンター

准教授 大塚 智子 入試data解析、学力・適性など評価方法の研究

#### 学生総合支援センター

特任准教授 松尾 寛子 キャリア教育・支援、組織における採用・評価・育成に関する研究  
特任准教授 松本 秀彦 特別支援教育、発達障害者支援、学習困難者に対する学習支援  
特任講師 坂本 智香 大学初年次教育、日本語文法、英語教育に関する研究

#### 教師教育センター

准教授 松島 朝秀 科学的手法を用いた文化財資料の調査及び保存環境の研究  
特任准教授 楠瀬 弘哲 メタ認知能力の育成を図る理科問題解決学習指導法の開発

#### 総合研究センター(理・農林海洋科学部担当)

教授 木下 泉 魚類の初期生活史および個体発生に関する研究  
准教授 平岡 雅規 海藻類の生殖、生態、増養殖に関する研究

#### 総合研究センター(理学部担当)

准教授 斉藤 知己 海洋生物(甲殻類、ウミガメ等)の生態、繁殖、分類に関する研究

#### 総合研究センター(医学部担当)

准教授 坂本 修士 非翻訳RNAの産生変動が及ぼすがん化や筋分化制御の解明  
准教授 津田 雅之 発生工学的手法を用いたマウスの発生や再生に関する研究  
助教 都留 英美 自然免疫系細胞を中心とした生体防御システムの解析  
助教 樋口 琢磨 小分子RNAを介した癌化制御に関する研究

#### 総合研究センター(農林海洋科学部担当)

教授 大西 浩平 病原細菌の病原性関連遺伝子の発現調節機構の解明  
准教授 加藤 伸一郎 遺伝子工学的手法による含硫化合物合成系の機能解析

#### 総合研究センター

特任教授 小槻 日吉三 有機合成化学、高圧有機化学、天然物合成化学、不斉合成化学

#### 地域連携推進センター(人文社会科学部担当)

准教授 石塚 悟史 産学官民連携、地域再生事業、科学技術振興、環境保全学

#### 地域連携推進センター(教育学部担当)

特任教授 野地 照樹 サッカーのコーチングと高知大サッカー部の指導研究、サッカーの地域連携推進  
特任助教 川田 尚弘 日本サッカーとドイツサッカーのコーチング比較研究、スポーツを通じた地域貢献

#### 地域連携推進センター(地域協働学部担当)

准教授 吉用 武史 域学連携、自治体との連携に基づく地域活性化事業の企画立案  
助教 森 明香 環境社会学、川の文化、大規模開発をめぐる住民運動の基盤と論理

#### 国際連携推進センター(人文社会科学部担当)

助教 GARCIA DEL SAZ EVA 国際交流・協力・支援、海外との産学官民連携の推進

#### 国際連携推進センター(教育学部担当)

教授 林 翠芳 日本語の語彙に関する研究、日中対照研究  
准教授 大塚 薫 日本語教授法、メディア教育研究、日本語教育教材開発研究

#### 国際連携推進センター(農林海洋科学部担当)

准教授 神崎 道太郎 読解と論述・作文との教授法における関連付け

#### 学術情報基盤図書館(理学部担当)

准教授 佐々木 正人 分散システムの管理運用技術の研究  
助教 石黒 克也 量子色力学における真空構造の解明、格子上の量子色力学

#### 防災推進センター

特任教授 岡村 眞 津波堆積物および地震履歴復元にもとづく地震長期予測研究  
准教授 張 浩 流域における水・土砂災害および環境保全に関する研究  
※平成29年4月より理工学部(仮称)に異動

#### 海洋コア総合研究センター(理学部担当)

教授 池原 実 新生代における地球環境システム変動の解明  
教授 小玉 一人 古地磁気学・岩石磁気学、および磁性測定全般  
教授 安田 尚登 メタンハイドレート生成やガス生産時における海底地層に及ぼす影響評価  
准教授 氏家 由利香 微化石生物を用いた海洋生態系と地球環境の進化  
准教授 山本 裕二 地質試料の残留磁気記録に基づく古地球磁場変動の解明

#### 海洋コア総合研究センター(農林海洋科学部担当)

助教 Kars Myriam 環境磁気学的手法による統合作用および古環境・古気候変動の研究

#### 海洋コア総合研究センター

特任教授 臼井 朗 海底鉱物資源の形成過程、形成条件の研究  
特任教授 徳山 英一 海底鉱物・エネルギー資源の形成プロセスに関する研究

#### 保健管理センター

教授 岩崎 泰正 ストレスの分子機構解明と肥満・生活習慣病治療への応用  
准教授 渋谷 恵子 医学部学生、医療従事者のメンタルヘルス支援体制の構築  
講師 北添 紀子 児童期・青年期の精神保健に関する研究

#### 安全・安心機構(人文社会科学部担当)

准教授 小島 優子 ヘーゲル哲学における行動と言葉に関する研究

#### 安全・安心機構

准教授 廣瀬 淳一 地域課題の解決に向けた男女共同参画人材の育成

#### 教職大学院設置準備室

准教授 森 有希 道徳教育及び道徳科の指導に関する研究

## 国立大学では日本初! 一元化された文理統合型の大学院

高知大学では、平成20年度から日本の国立大学では初となる一元化された文理統合型の大学院「総合人間自然科学研究科」を開設しました。本研究科の修士課程では、人文社会科学、教育学、理学、医科学、看護学、農学という6つの学問領域を包括しており、新しい履修システムや教育プログラムによって領域横断型の学びを効果的に実現します。

博士課程では、応用自然科学、医学、黒潮圏総合科学の各専攻の専門性を保ちつつ、これまでは他研究科の科目であった近接分野の科目を履修することができます。これにより、本研究科に進学した学生はそれぞれの基礎的学問分野の専門性を深めると同時に、幅広い素養や研究視点を修得することができます。

### 履修の特徴

#### 修士課程

##### 目的・目標に応じて、異分野科目も無理なく履修

所属する専攻の専門科目を学ぶ「主専攻履修」と、専門科目に異分野科目を取り入れた「準専攻履修」の2つの履修システムから履修方法を選択できます。

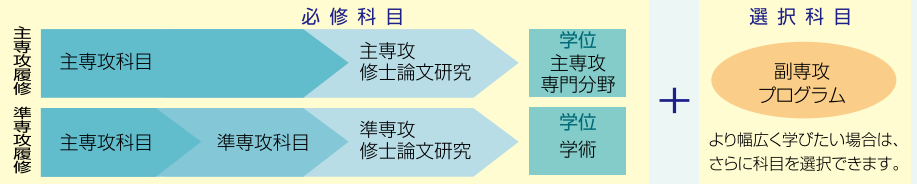
また、高知大学のフィールド特性を活かした横断的科目群「副専攻プログラム」を、目的に応じて履修できます。

#### 博士課程

##### 他分野・近接分野を学び、より高度な専門性を獲得

各専攻における専門性を深める一方で、他分野知識の修得を目的とする共通科目の導入や、近接分野の履修を可能にします。

#### 修士課程の履修システム



#### <準専攻履修について>

当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養する従来型の教育課程の他に、平成20年度の大学院改組により大学院が一元化となったことを活用した領域横断型の教育を行う「準専攻」が開始され、現在では以下の3つの準専攻履修制度が設けられています。

##### ■黒潮圏総合科学準専攻

黒潮流域圏のフィールドを中心に、異分野履修により領域横断的かつ文理統合的な幅広い課題探求能力を身につけることを目的としています。

##### ■植物医学準専攻

植物学の広汎な知識を基礎として、植物の健全な生育と利用に関する最先端の研究能力を領域横断的に身につけることを目的としています。

##### ■海洋鉱物資源科学準専攻

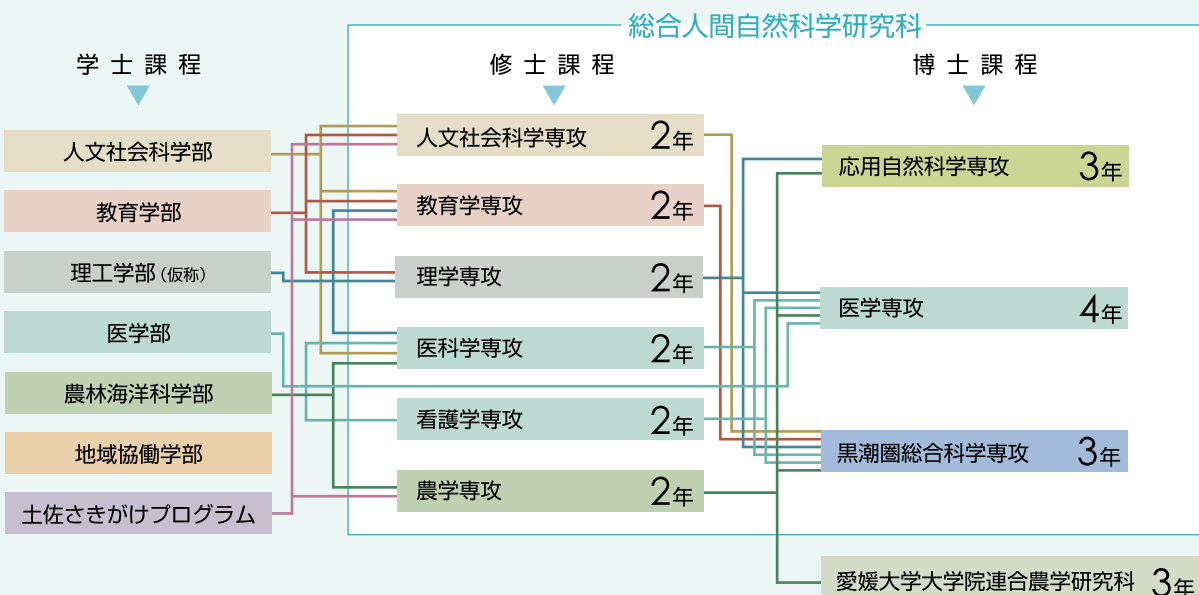
海洋鉱物資源(レアメタル)をキーワードとした最先端の研究能力を領域横断的に身につけることを目的としています。

#### <副専攻プログラムについて>

特定のねらいのもとに用意された4つのレディーメイド副専攻プログラムと、個々の目的に応じて構成し認定を受けるオーダーメイド副専攻プログラムがあります。

■レディーメイド副専攻プログラム例  
「環境科学」「医療福祉学」「高(知・智・地)の科学(ISK)」「現代教育学」

### 進学イメージ図





## 修士課程

### 人文社会科学専攻

グローバル化の進展とそれに伴って進行する日本社会の構造転換を背景として、経済・社会・文化・生活のすべての領域において、地域社会の主体的発展を保证する高度な専門知識と柔軟な判断力を持った人材が必要とされています。本専攻は、地域社会の要請に応え、人文科学・社会科学諸分野の学際的結合を基盤に、多彩で柔軟な教育プログラムを創出し、変貌する地域社会の発展に貢献し得る人材を養成します。

■ 人文科学研究コース  
■ グローバル社会研究コース  
■ 社会科学研究コース

定員10名

### 教育学専攻

社会構造の急激な変化は学校教育現場に様々な深刻な問題を引き起こしており、教員にはそれらの複雑な問題に対応するための資質がより深く求められています。本専攻では、学校教育現場の抱える課題を正確に判断し、それに適切に対応できる実践力のある教員、また人間発達や教科内容に関わる深い学問的で実践的な知識を有しながら、それを教育現場において応用し発展できる創造的な資質を持った教員を養成します。

■ 学校教育コース  
■ 特別支援教育コース  
■ 授業実践コース

定員30名

### 理学専攻

学術研究の高度化、多様化、情報化、グローバル化やIT革命に代表される社会の急激な変化に柔軟に対応できる大学院教育を行います。理学コースでは、数学・物理科学・生物科学・地球科学の諸分野、更に学内・外の研究施設や機関と連携し、多様で創造的な教育・研究を推進し、新しい先端的な基礎理学を創り出すことのできる人材を養成します。応用理学コースでは、情報科学、応用化学、海洋生命・分子工学、災害科学の諸分野において、科学・技術における国際的な激しい競争の中で基礎研究から応用研究までを見据え、高度な課題探求能力を發揮できる人材を養成します。

■ 理学コース  
■ 応用理学コース

定員75名

### 医科学専攻

近年、先端医療の進歩とともに医学・医療を取り巻く社会環境は大きく変革しています。この状況に的確に対応するために、自然科学のみならず人文科学と医学の調和を目指した医科学の発展・充実が望まれます。本専攻では、自然科学系学部や人文科学系学部を含む幅広い学部修了者を医科学へと導き、高度に専門化した知識と技術を身につけた医科学分野の研究者、さらには社会的諸問題を医科学を基礎として包括的に捉え得る人材を育成します。

■ 医科学コース  
■ 情報医科学コース  
■ 環境保健学コース

定員15名

### 看護学専攻

健康で文化的な生活を送るという国民の権利を支援することが医療者には求められています。看護学専攻においては、高知大学の教育理念に鑑み「現場主義」を重視し、社会の一員として求められるソーシャルスキルを基盤とした、課題解決能力を身に付けた人間力豊かな人材を養成します。さらに、医療の場を含む日常生活の場で人間にとって最も重要な健康の増進を目指しつつ、生活者の視点で包括的な支援を行う高度に専門的な知識・技能を身に付けた論理的・創造的な看護の実践者・看護学教育者・看護管理者を養成します。

■ 看護学コース 定員12名

### 農学専攻

地域社会及び国際社会の健全な発展に貢献するために「安全・安心な食料の確保」「生物資源の高次有効利用」「地域・地球環境の保全と修復」に関する教育・研究を展開することは、農・林・水産学分野の使命です。本専攻では、多様化した社会の要請や研究分野へ柔軟に対応できる教育システムにより、個々の学生の資質や進路に応じた個別の履修計画に基づく教育を行って、高度な知識と技術を併せ持つ人材を養成します。

■ 農学コース 定員59名

## 博士課程

### 応用自然科学専攻

海洋高知の持つ自然環境の特性を活かして、自然科学の諸分野を海洋・資源・環境に特化した「海洋自然科学」と物質・情報・量子に特化した「物質機能科学」のもとに結集し、基礎理学を包含した応用自然科学の幅広い分野で、高度な専門性を培います。また、文理統合の教育理念に基づいた大学院教育を行うことで、健全な自然観、地球観、人間観を備え、自ら課題を探求し解決できる高度専門職業人を養成します。

■ 海洋自然科学コース  
■ 物質機能科学コース

定員6名

### 医学専攻

医学専攻では、高い倫理観と豊かな人間性の涵養ならびに高度な医学的知識と技能の習得を教育理念とし、多様な社会的ニーズに対する柔軟な対応が可能で、底辺が広くレベルの高い医学研究及び医療の達成を目指し、地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材、国際的に通用する優れた医学研究者、リサーチマインドを持つ優れた臨床専門医(良医)を養成します。

■ 生命科学コース  
■ 医療学コース  
■ 情報医療学コース  
■ 小児神経精神医学コース

定員30名

### 黒潮圏総合科学専攻

人口問題、食料問題、資源の枯渇や環境変化など人類が直面している諸問題の多くは我々にとって未曾有の経験であり、その解決には従来型の学問だけでなく、分野を横断して物事を把握するなど新しいアプローチが必要であることが世界的に認識されています。そこで、文理融合の新しい視点でこうした問題の解決に取り組み、それを通して資源の持続的有効活用と循環型社会の発展による自然と人間の共存・共生系の確立を強く意識した人材を養成します。

■ 共生科学コース  
■ 人間科学コース

定員6名

## 愛媛大学大学院連合農学研究科 博士課程(後期3年)

連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学及び高知大学によって構成され、各大学の連携により、個々の大学では期待し難い広い分野にわたり、水準の高い教育研究を行うことを目的として設置された博士課程大学院(3年)です。生物資源の生産と利用に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者を養成しており、国内の大学院修士課程修了者はいずれもなく、外国人にも門戸を開いています。

# 海外へ行って学ぶ

海外に出て行き学ぶことは、語学力や研究力の研鑽はもちろん、異文化理解、国際的視野の獲得、日本文化の発信など様々な意義を持っています。

## 苦勞した分、得たものは多かった


清水 栄里 理学部理学科地球科学コース4年  
(高知県 私立土佐塾高校出身)



私は、アメリカのカリフォルニア州立大学フレズノ校に1年間留学しました。理学部なのに何故、という声もたくさんありましたが、理系こそ自分の専門を英語で語れるくらいにと思い、英語で専門分野を学べる交換留学を選択しました。フレズノ校では、地質学専攻の学生となり、アメリカ人のなかでただひとりの日本人として授業をうけました。言語の壁、課題の多さ、ディスカッション形式の授業などに大変苦勞し、もう辞めたいと何度も思いました。しかし、苦勞した分、英語の能力は向上し、始めは何を言っているのかさっぱりわからなかった先生の授業が完璧に理解できた時は非常に嬉しく、全単位を取得できたことは大きな自信となりました。また、授業の一環として、月2回ほど、泊まりがけキャンプで、デスバレーやグランドキャニオンに巡検(地質見学)に行きました。これら最高の教材を用いて学ぶことは、現地にいないと決してできないことであり、非常に貴重な経験でした。今後は、アメリカの学会で、フレズノ校の先生とクラスメイトに再会することを目標に、研究も英語も頑張ります。



### 留学先DATA

カリフォルニア州立大学フレズノ校   
アメリカ合衆国

- 学部 農学・テクノロジー学部、教養・人文科学部、経営学部、教育学部、工学部、健康科学・人間科学部、理学部、社会科学部
- 概要 1400エーカー(東京ドーム110個分)という全米でも最大級の広大なキャンパスを有する。スポーツではアメリカンフットボールやバスケットボールが盛ん。

※学生の所属・学年表記は平成27年度のものであります。

## 国際交流協定

高知大学では、アメリカや中国など20の国と地域、60の大学、研究所と大学間で国際交流協定を結んでいます。協定校は交換留学先となるほか、毎年たくさんの学生が短期海外研修で高知大学を訪れます。

大学間協定校一覧 2016.3.1現在

インドネシア	●ブラビジャヤ大学 ●チェンダラワシ大学 ●ボゴール農業大学 ●スリウィジャヤ大学 ●ハルオレオ大学 ●タンジュンブラ大学	中国	●佳木斯大学 ●陝西科技大学 ●揚州大学 ●安徽大学 ●瀋陽薬科大学 ●河南大学 ●常州大学	オーストラリア	●クイーンズランド大学
カンボジア	●カンボジア工科大学			アメリカ	●カリフォルニア州立大学フレズノ校 ●ロードアイランド大学 ●テキサス大学ダラス校
タイ	●コンケン大学 ●カセサート大学 ●チェンマイ大学 ●タマサート大学	ベトナム	●ハノイ科学工業大学 ●ハノイ科学大学 ●ハノイ国立教育大学 ●タイグエン大学	ブラジル	●南マットグロッソ連邦大学
韓国	●漢陽大学校 ●韓瑞大学校 ●金剛大学校 ●白石大学校	マレーシア	●マレーシアアボラ大学 ●マレーシアサラワク大学	メキシコ	●国立ポリテック工科大学 応用研究所 サルティジョ校 ●サルティジョ工科大学
フィリピン	●フィリピン大学 ●ピコール大学	台湾	●国立中山大学 ●東海大学 ●中国文化大学 ●国立嘉義大学 ●国立東華大学	イタリア	●サッカリ大学
				オランダ	●ハンゼン応用科学大学
				スウェーデン	●イエーテボリ大学
				チェコ	●南ボヘミア大学 ●チェコ科学アカデミー生物学センター
				ノルウェー	●ヘッドマーク大学
				バーレーン	●アイルランド王立外科医学院バーレーン医科大学 ●アラビア湾岸諸国立大学
				ガーナ	●ガーナ大学



# 留学

学生時代の留学は一生の思い出となり、また大きな自信にもつながります。海外留学に少しでも興味があるという方は、ぜひ国際連携推進センターに相談に来てください。交換留学の情報や国際交流イベントのお知らせなどは、高知大学のHPからチェックできます。 <http://www.kochi-u.ac.jp/international/>

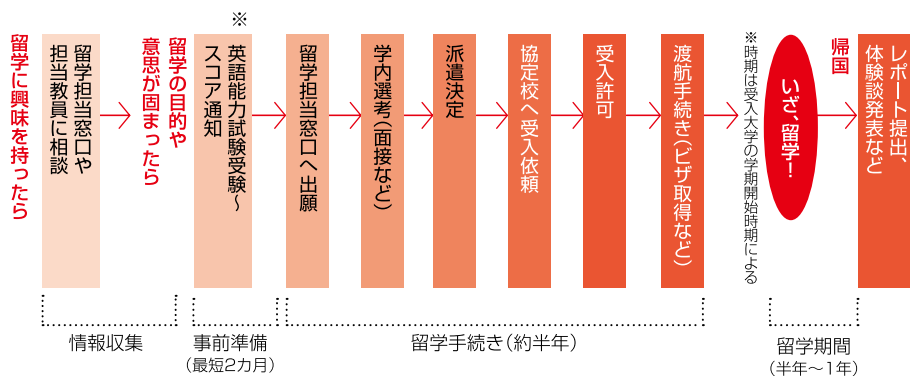


## ▶ 留学の種類

- **交換留学** 留学先の大学で取得した単位が高知大学の単位として認定されます。留学期間中は高知大学に授業料を納付します。留学先での授業料は必要ありません。期間は半年または1年間で、4年間で卒業も可能です。
- **私費留学** 高知大学を休学し、自分の希望する留学先で学びます。休学中は、高知大学の授業料は免除されますが、留学先で授業料等の費用が発生します。

## ▶ 留学の流れ — 協定校への留学 —

留学の種類や期間、行き先によって要件や手続きの流れは異なります。



※ 英語圏の大学への留学は、英語能力をはかる試験で一定以上のスコアをクリアする必要があります。主にTOEFLかIELTSのスコアが用いられます。

### TOEFL

英語を母語としない人の英語能力をはかるテストです。リーディング・リスニング・スピーキング・ライティングのテストからなります。

### IELTS

海外留学や研修のための英語力を証明するテストです。英語力証明のグローバルスタンダードテストとして世界中で受験者が増え続けています。高知大学でも年2回受験できます(平成28年度)。

## ▶ 海外留学説明会

協定校への交換留学を希望している学生に対し、手続きや奨学金などについての説明会を開催しています。先輩学生の留学体験談や海外経験豊富な先生からの危機管理についての講義のほか、個別相談も行っています。



## ▶ 国際交流基金

高知大学では、国際交流基金という独自の奨学金制度があり、複数の事業で毎年多くの学生を助成しています。そのうちのひとつが海外へ留学する学生への奨学事業で、海外の大学で学ぶ日本人学生に奨学金を支給しています。海外で生活するうえでの負担を少しでも軽減しよう、という趣旨のもとで行っています。(実績:平成25年度5人、平成26年度6人、平成27年度3人)



## ▶ 短期英語研修プログラム

短期間で英語能力を伸ばしたい人や海外経験をしてみたい人のために、春休みと夏休みに約1ヶ月間、海外の協定校で英語を学ぶプログラムを実施しています。2016年2月～3月は、オーストラリアのクイーンズランド大学に併設されている語学学校に通うプログラムに6名が参加。ホームステイ先のホストファミリーや他国から来た留学生との生きた英語によるコミュニケーションを体感しました。9月には、マレーシアプトラ大学でのプログラムを実施予定。アカデミックな雰囲気の中で英語を学びながら、異なる文化や背景を持った学生と過ごす日々は、帰国後の学生生活にもきっと刺激を与えてくれるはずです。

## ▶ 国際連携推進センター

国際連携推進センターでは、外国人留学生に対する修学上及び生活上の指導助言を行うとともに、交換留学を希望する学生に対して、説明会や留学相談の実施をはじめ、協定校の情報提供、留学先の修学上及び生活上の指導助言を行っています。個人相談も受け付けています。

また、「海外留学メーリングリスト」に登録すると、留学に関する情報をメールで受け取ることができます。なお、朝倉キャンパスの国際交流課では、実際に交換留学を経験した先輩学生の留学体験レポートや、協定校のパンフレットを閲覧できます。

海外での経験はあなたの人生をきっと豊かなものにしてくれるはず。勇気を出して挑戦してみませんか？



# 学内で世界に触れる

## 留学生の受け入れ

アンデション, カール マグナス アンドレ  
ANDERSSON, KARL MAGNUS ANDRE



イエーテボリ大学  
(スウェーデン)からの  
交換留学生

先輩や先生から留学先候補の中で日本語が一番上達するのは高知だと勧められて、高知大学を留学先を選びました。実際に高知に来ると確かに日常生活を送るのに、日本語が欠かせません。それに地元の人が街で歩いているときや、お店に入った時によく話しかけてくれたり、親切にしてくれます。高知は温かい感じがしていいですね。イエーテボリ大学に留学していた高知大学生が、高知に来てから勉強面でも生活面でもサポートしてくれていて、高知での生活に不安はありませんでした。彼女の友達や授業のグループワークをきっかけに親しくなった人など日本人学生とのつながりも増えていて、週末は一緒に出掛けたり、外食を楽しんでいます。



家族で東京へ。日本語が分かるのが私だけなので、案内するのが大変でしたが、おもてなしの心や街中の綺麗さに感動しました。

ニンダ・ヌツライダ  
NINDA NURLAIDA



リア外国語大学  
(インドネシア)からの  
交換留学生

小学生の頃に親戚が持っていた日本語のテキストを見て、まったく異なる文字に興味を持ったのが日本語の勉強を始めたきっかけです。インドネシアの都市部で生活していたので、高知に到着した時には、人もお店も少なくとても寂しく感じました。話しかけてくれる方の土佐弁が理解できないことも。でも、今は、安心して生活できる高知での日々を楽しんでいます。大学のチューター制度でチューターになってくれた学生に週1回は勉強の相談をしたり、休みの日にはお互いの国の料理を作ったり、お花見にもいきました。また、私の大学にはない卓球の授業を取りました。卓球をするのは初めてでしたが、ペアになった人に教えてもらって、とても上手になりましたよ。



指導教員である藤田先生のゼミ生とゼミ旅行へ。昔からの建物がきちんと保護されていることが印象的でした。色々なお城も見に行きたいです。

## キャンパスで異文化交流

高知大学では、世界21か国154人の外国人留学生が学んでいます(2015年5月1日現在)。授業やサークル、キャンパスで見かけたら思い切って話しかけてみましょう!



活用しよう!

### 自律学習支援センター(OASIS)

オアシス

語学学習の教材を備えた学習スペース「OASIS」では、IELTS対策講座やTOEIC対策講座のほか、日本人学生と留学生の交流活動を支援しています。(OASISについては65ページをご覧ください。)

#### ▶ パートナーシッププログラム

外国語を学びたい日本人学生と日本語の上達を目指す留学生との間で行われている交流活動がパートナーシッププログラムです。英語⇄日本語、中国語⇄日本語など、自分の学びたい言語を話す留学生とペアになってお互いの言葉を教え合います。会話が上達するにつれて、より深い考えや意見を交換することができるようになります。



#### カルチャーカフェ



カルチャーカフェは、日本人、外国人、学生、先生、誰でも参加OKなカフェです。みんなでお茶を飲みながら、国際交流を楽しみます。みなさんも入学したらぜひ一度、カフェに顔を出してみてください。

#### ▶ OASIS英会話クラブ



気軽に英会話を楽しみたいという日本人学生と留学生が、定期的集まって英語で異文化交流をしています。英語に自信がない人でも、留学経験のある日本人学生や留学生がサポートしてくれます。



# 教育研究施設 Facilities

## ■ 学内施設

### 学術情報基盤図書館 中央館

▶ 朝倉キャンパス



#### メディアの森

外観が特徴的な「メディアの森」。様々な図書や電子ジャーナル、データベースを利用できる図書館としての機能と、高速で安定的なインターネットが利用できるネットワーク機能が備わっています。



- **レファレンスカウンター** 図書館利用を支援するサービスを行っています。図書館資料の利用方法や情報検索指導、資料の所在調査等の相談に応じるほか、高知大学にない本や論文のコピーなどを学外から取寄せることもできます。
- **開架閲覧室** 蔵書は2階から5階まで分野別に並んでいます。
- **雑誌コーナー** 話題の新刊や一般雑誌も豊富です。
- **グループ学習室・個人用キャレル**  
1人用学習スペースと、3人から10人で利用できるグループ学習室があります。
- **情報コンセントコーナー** 約20箇所の情報コンセントが設置されています。ノートパソコンを接続して、電子メールやWebブラウジング、ネットワークプリンタへの印刷が可能です。
- **教育端末室** 主に各学部の専門授業で利用されています。授業時間外では、自習使用することが可能です。

#### 勉強用なら出力無料

学生の学習を支援するため、学術研究用のプリントアウトは年間上限枚数まで無料です。

### 学術情報基盤図書館 医学部分館

▶ 岡豊キャンパス



時計台が目印になる岡豊キャンパスの図書館です。学習量の多い医学部生のために、閉館時も許可制のカードキーを使用すれば、入退館を可能としています。また県内の医療関係者を支援し、地域貢献の役割も担っています。



専門図書閲覧室

- **開架閲覧室**
- **グループ学習室・個室**
- **情報検索コーナー**
- **雑誌室**

### 学術情報基盤図書館 物部分館

▶ 物部キャンパス



物部の自然の中にあるアットホームな雰囲気図書館です。物部キャンパスに通う学生のみならず、共同研究ならびに近隣の研究者もよく利用する地域に開かれた図書館です。



南閲覧室

- **南・北閲覧室**
- **グループ学習室**
- **情報コンセントブラウズ室**
- **多目的室**
- **雑誌コーナー**

オアシス  
**自律学習支援センター(OASIS)** Open-Access Center for Self-regulated Independent Study ▶ 朝倉キャンパス



自習コーナー

主に語学についての教材貸出しや自学自習を目的としたスペースで、人文社会科学部管理棟1階にあります。英語をはじめ様々な外国語学習や留学生との交換レッスンなど、自律的な学習を支援しています。

● **自習コーナー**

メディアの森と並んで利用度の高い学習スペースです。センター内は無線LANが整備されており、学生のPC持ち込み利用はもちろん、備え付けのデスクトップPCや館内貸出し用のノート型PCの利用も可能となっています。映画のDVDやDVDプレーヤーも多数あり、常時視聴が可能です。

● **マルチメディア教室**

定員20名のグループ学習室には各種視聴覚機器やプロジェクターなどが設置されており、TOEIC試験講座やグループ学習、授業などにも利用されています。

● **個別学習室**

パートナーシッププログラム(留学生との交換レッスン)や少人数での学習で利用できます。

● **ペア学習コーナー**



マルチメディア教室

**語学教材は10,000点以上!**

IELTS、TOEIC、英検などの各種検定試験対策問題集や、英語・中国語・ドイツ語・フランス語・韓国語・日本語や日本語教育関連の教材、月刊誌などがそろっています。



**保健管理センター**

▶ 朝倉キャンパス ▶ 岡豊キャンパス ▶ 物部キャンパス



朝倉キャンパス 保健管理センター

学生や教職員が健康で安全な大学生活を送れるようサポートしているのが保健管理センターです。何かの時にはすぐに対応できるよう内科の医師と看護師が常駐し\*、婦人科の専門医も定期的に診察を行っています。二次対応が必要な場合は、症状に合わせて医学部附属病院や近隣の病院を紹介します。

また近年は身体の健康だけでなく心の健康——メンタルヘルスにも力を注いでおり、精神科の専門医や

臨床心理士が、学生や教職員の心の不調や悩みの相談にのれる体制を整えています。

さらに、より積極的に学生の健康増進や病気の予防に関わろうと、食生活や生活習慣も含めたトータルな視点で学生をサポートしているのも大きな特徴です。\*物部キャンパスは看護師のみ常駐

**定期的な取組**

- 健康診断：全学生対象
- 特殊健診：実験で特殊な薬品や放射性物質を使う学生対象
- 心電図検査：  
インカレ出場者やスポーツを専攻する学生対象
- 骨密度検査
- 感染症対策、予防接種のチェック
- メンタルヘルスに関するアンケート調査：新入生が対象
- メンタルヘルス講演会

**イベントなど**

お料理教室、ヨガ教室、アルコールパッチテストなど

**理学部附属水熱化学実験所**

▶ 朝倉キャンパス

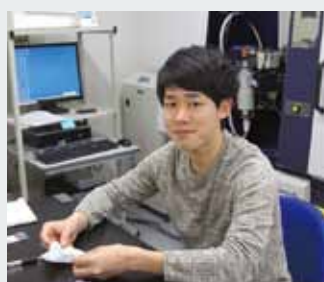
100℃、1気圧よりも高温、高圧の水が関与する水熱反応を専門に研究を行う世界でも希な施設です。この水熱反応を利用して、機能性セラミックス材料や高活性触媒の合成、セルロースなどからの高付加価値有機物への変換、有害物質や産業廃棄物の処理・処分に関する研究を行っています。卒業論文、修士論文、博士論文を作成するための学生や国内外の共同研究者に、実験の場を提供しています。



水熱反応の準備、生成物の分離、洗浄などの作業を行います。

**Voice** 学生の声 **田北直也** 理学部応用理学科応用化学コース3年生(大分県立大分高校出身)

私は、熱電材料について研究しています。熱電材料とは、熱を電気エネルギーに直接変換できる材料のことで、例えば自動車から発生し使わずに捨てられてしまっている熱(廃熱)から発電できるため、新たなクリーンな発電技術として期待されています。これまでに実用化された熱電材料は、毒性があり、資源的にも問題がありました。そこで私は、無毒性で豊富な元素からなる環境に優しい新たな熱電材料と注目されているカルコバイライトという化合物を、水熱反応を用いて合成することにより、熱電材料としての特性を向上させるために研究を行っています。





## 理学部附属高知地震観測所

▶ 朝倉キャンパス

地震観測や測地計測に基づいて地震の発生、地球内部構造、地殻変動等の研究を行っています。四国内8ヶ所に定常地震観測点を展開するとともに、気象庁や他大学、他機関の地震波形記録もリアルタイムで収録しています。併せて、高知県内の地震災害に関する資料の収集、場所と期間を限定した機動観測を随時実施しています。学生の実験実習や四国内の地震観測研究の拠点として使用されます。



## 海洋生物研究教育施設

▶ 高知県土佐市宇佐

当施設は、黒潮分岐流・仁淀川河口汽水域・リアス式内湾およびサンゴ群落の多様な環境に囲まれ、海洋生物学および水産科学に関する広い分野の研究を行っています。研究・実習用設備、海洋観測機器類(水温・塩分・濁度・溶存酸素・クロロフィル、流向・流速)および海洋調査実習船「豊旗丸」(19t)、「ねぶちゅーん」(5t)、「はまゆう」(2t)および船外機船を所有し、フィールド調査、飼育実験および臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用しています。



### Voice 東島昌太郎

学生の声 総合人間自然科学研究科 修士課程農学専攻2年(静岡県立韭山高校出身)

海洋生物研究教育施設がある宇佐は、田舎ですが、土佐節発祥の地で、ジョン万次郎が出港したことで有名な高知屈指の漁港です。施設は多様な環境に囲まれており、実習船豊旗丸をはじめとする調査機材や設備も充実し、先生方も自ら乗船して、私たちの世界に向けた研究を後押ししてくれます。私は魚類の初期生活史について研究していますが、海に出て塩分、水温等を調べ、網を曳くことで、自然を科学的に研究することの難しさや面白さを日々、学んでいます。海洋生物に興味がある、海に関する研究がしたい方には是非お勧めの場所です。



研究試料となる海洋生物の幼魚を飼育している水槽

## 海洋コア総合研究センター

▶ 物部キャンパス



海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的とし、全国共同利用施設として設立されました。2004年から海洋研究開発機構(JAMSTEC)と共同運用を行っています。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。2007年からは、国際共同研究プロジェクトである統合国際深海掘削計画[2013年10月～国際深海科学掘削計画](IODP)における世界3大拠点のひとつとして、本格的な活動を開始しました。2009年6月に文部科学大臣から「地球掘削科学共同利用・共同研究拠点」に認定され、2016年1月には、第2期(平成28年度～平成33年度)の拠点認定を受け、引き続き地球掘削科学の発展を望む研究者コミュニティの要望に応えるべく、本センターの卓越した設備・機能を活用した共同利用・共同研究の推進を図ることとしています。



海洋コア試料。海水面変動、地磁気の変化、海流系の変動、水温変化といった過去の地球環境変動が記録されています。

### Voice 学生の声 武田大海 総合人間自然科学研究科 修士課程理学専攻地球科学分野1年(高知県 私立高知学芸高校出身)

共通教育の講義で古地磁気を習い、面白そうだったからと研究対象にすると海洋コア総合研究センターで研究することになりました。たまたまやって来たここは世界でも有数の研究施設。目の前にあるたくさんの貴重な海洋コア試料と様々な最先端の分析機器の数々。そんな環境をどれだけ活かすことができるかは自分次第。想像力とやる気さえあればどんな研究も思うがまま。そして周りにはプロの研究者。プロの持つ空気を肌と感じ、研究に対する姿勢を見習いながら、他ではできない研究をする数年間は貴重な経験になっています。

# 総合研究センター

総合研究センターは、海洋部門、生命・機能物質部門からなり、①海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域貢献、②生命・機能物質部門に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域連携の2つの機能を担っています。

■ 海洋部門：海洋生物研究教育施設 (66ページ参照)

■ 生命・機能物質部門：  
遺伝子実験施設、実験実習機器施設、RI実験施設、動物実験施設

## 遺伝子実験施設 ▶ 物部キャンパス

遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした施設です。高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のための施設として重要な役割を果たしています。



## 実験実習機器施設 ▶ 岡豊キャンパス

形態系、生化学系、免疫系、生理系の各系に、それぞれの研究分野に必要な大型機器が完備されています。機器使用方法や使用上のルールを説明できる技術専門職員を配置し、施設機器の性能を最大限活かすことのできる体制を整えています。



## 動物実験施設 ▶ 岡豊キャンパス

生命科学分野の教育・研究の推進は、実験動物の尊い命の犠牲の上に成り立っています。このことを踏まえ、実験動物に関する基礎知識、人獣共通感染症、動物福祉と生命倫理を中心に教育を行い、今世紀の生命科学分野を担う人材の育成に貢献しています。



### 組織図



※平成28年5月1日現在



あしも  
おるぜよ

坂本龍馬

地域協働学部生 Presents!

# 高知、知っちゅう?

わたしたちが  
紹介しま〜す!!

山田彩人くん

古川森さん

岡上あさひさん

皆さんは、高知には何もないと思っていませんか?  
高知は、海・山・川がすぐ近くにあり、  
皆さんが思っているよりも魅力がたくさんあります。  
高知をアクティブに駆け回る地域協働学部の私たちが実習や  
普段仲間たちと訪れる場所から、高知のえいところを  
厳選して紹介します。



土佐の川では  
こいのぼりも泳ぐぞね!

日曜市

やきたての  
カツオのたたき  
最高!



ひろめ市場

高知といえ  
ば、まずはここ!  
高知の旬のうまいものと活気がギュッと  
集まっています。自然の恵みと高知の  
おもてなしを楽しんで。

仁淀川



こんなに澄んだ  
青見たことない!  
これが仁淀ブルー。  
BBQやラフティング  
を楽しむなら、朝倉キャン  
パスから車で20分の仁淀川!

よさこい祭り



8月に行われるよさこい祭り。  
高知で最も熱い日です。あな  
たも絶対踊りたくなる。高知  
大学にもよさこいサークルが  
たくさんあります。

やー!!



初めて訪れた時は、  
異国の地に来た  
ように感じました。

大豊町

空に近い町。体いっぱい自然を感じることができ  
ます。ここで見る星空は、感動もの。ゆとりすとパーク  
では、キャンプやアスレチックを楽しめます。

室戸  
ジオパーク



雄大な海、  
広がる地平線、  
大地の動きを感  
じる地形。ここでしか見ら  
れない風景があります。

黒潮町



太平洋沿岸に面し、サーフィンやホエール  
ウォッチングなどマリッジが人気の町。  
白浜が約4km続く入野海岸では、1年を通して様々  
なイベントが開催されます。  
毎年5月に開かれるTシャツアート展は必見!

高知にはまだまだ  
魅力あふれる場所、  
人、ものがたくさん!

ぜひ、高知に来て  
あなたのお気に入りの  
場所を見つけてね



アプリをダウンロードして  
スマホで読み込もう

詳しくは  
90ページ



年間行事

# キャンパスライフ Campus Life

## Year Calendar 2016-17

4  
Apr.

- 入学式
- オリエンテーション
- 第1学期授業開始

入学後すぐは新環境イベントが  
たくさん好きなことを見つけてよう!

5  
May

各種スポーツ大会  
イベント

6  
June



- 演習林トレイルランニングレース
- 医学部附属病院七夕コンサート

7  
July

11  
Nov.

- 黒潮祭 (10/29-30)
- 物部キャンパス1日公開

10  
Oct.

- 第2学期授業開始
- 南風祭 (10/8-9)

9  
Sep.

- 第2学期履修登録

よさこい祭り  
8/10・11

8  
Aug.

- 第1学期試験期間

一度踊ったらハマる人多ぞ!  
本場のよさこいを体感してみませんか?

12  
Dec.

- 医学部体育祭
- 学長杯争奪駅伝

文化系・芸術系の  
発表会や展示会も

1  
Jan.

- 寒中水泳

物部キャンパスでは  
あかうしのふれあいも!

2  
Feb.

- 第2学期試験
- 卒論発表会

卒業おめでとう!

3  
Mar.

- 卒業式

卒業おめでとう!



高知大生の毎日を  
教えてください！

わたしが  
お答えします！



## 図書館

テスト期間中には、図書館の勉強スペースをよく利用しています。周りの人が勉強していると、自分も頑張らなきゃとやる気になります。グループ学習室を借りて、友達と話し合いながら課題をすることも。  
2階のPCスペースは、レポートを書くのによく使います。勉強用の資料を印刷するのに、無料でコピー機が利用できるのでもとても便利！

高尾 和紗 さん

人文学部国際社会  
コミュニケーション学科1年

大阪府 私立清教学園高校出身



## 朝から晩までいろいろ使える学食

「鶏ほん唐揚げ」は  
高知大学生協  
不動の人気No.1!



高知大学生協  
IKUS

朝倉キャンパスの営業時間(日・祝日休み)  
平日:8:00~22:00 土曜:11:00~19:00  
※営業時間はキャンパスによって異なります。

私は寮生なので、基本的に食事は寮で取ります。でも、カフェテリアがお気に入り、美味しそうなものはないかなとよく見に行きます。おすすめは、クッキーシュー！大好きで、頑張った次の日のご褒美に週1で食べています。ミールカードを持っている友達が、食堂の「1円朝食」を利用しているのが羨ましいです。午前11時まで利用できるので、1限目の授業が終わったあとに遅めの朝食を食べることもできるとか。

## ミールカード

年間決まった額を先に支払うことで1日定められた額(コースによって1,200円、1,000円、600円)まで食堂メニューが食べ放題になるカードのことです。1カ月ごとに食事歴のレポートを保護者の方に送るサービスもあります。

1円朝食とは、ミールカードの利用者を対象に251円の朝食メニューを250円引きで利用できるサービスのこと。



高知には  
魅力的な人や自然が  
たくさん!!



学食でも  
カツオのたたきが  
メニューに登場する  
ことも!!

## 高知大生の約75%以上が高知県外から来ています 高知に住んでみてどうですか？

Q 寮での生活ってどうですか？

楽しいです！一緒に過ごす時間が長いので、友達がすぐにできるのが良いですね。ホームシックにもなりません。私の住むかつら寮では、平日の昼と夜に寮食が出るので、食についても安心です。

Q 授業以外は何をしていますか？

週4でラクロス部の活動、その後にはバイトが入っていたりして、スケジュールはみっちり詰まっています(笑)。  
オフの日には、友達とカフェに行くことが多いので、次はどこに行こうかとよく話しています。レンタカーを借りて四万十川や室戸ジオパークなどへ遠出もしたいですね。

Q 高知の魅力は何ですか？

生魚が食べられなかったのに、食べられるようにカツオのたたきから始まり、色んなお刺身を美味しく食べられるようになりました。食べ物は何でも美味しいんです。

相談できる場所があるのはホントに安心...



## 困ったことがあったら

### 学生何でも相談窓口

履修方法、成績、課外活動、就職、人間関係など学生生活の悩みでどこに相談したらよいか分からない時は、ひとまずこちらへ。気軽に利用してください。

受付時間:8:30~17:15  
(土・日・祝日を除く)

☎ 朝倉:088-888-8010

☎ 岡豊:088-880-2259

☎ 物部:088-864-5116

✉ gsoudan@kochi-u.ac.jp

### 保健管理センター

それぞれのキャンパスに医師・看護師(物部キャンパスは看護師のみ)が常駐し、安全な生活をサポート。病気やケガの応急手当てから、健康やメンタルヘルスに関する相談にもなっています。友達づくりなどのイベントも行っていますので参加してみてくださいね。



# サークル活動

大学生活において学業を人間形成の縦糸とするならば、サークルや同好会での活動はそこに彩りや厚み、深みを織り込んでくれる横糸のようなもの。同じ時間と思いを共有した仲間は、きっと一生の宝物になるはずです。

# Club Activities

全国制覇を目指し、  
合言葉は「総力結蹴」!

## 体育会サッカー部

主将 藤井 勇大 人文学部3年  
(兵庫県立三田祥雲館高校出身)

高知大学サッカー部は、2015年度総理大臣杯15年連続25回、天皇杯13年連続20回、インカレ22年連続31回の出場を果たしました。2016年度はさらに高みを目指して部員一同練習に励んでいます。2016年に38年間指導されていた野地監督が総監督となり川田特任助教が新監督に就任しました。野地総監督が築き上げてきたものと川田監督のヨーロッパでの経験が合わさった新体制の下、これまで以上に良いチームになっています。地域の子どもたちにサッカー指導をする少年少女サッカー教室を開催するなど地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。



## サークル一覧

### 体育系サークル

**朝倉キャンパス** 陸上競技部、水泳部、ヨット部、サイクリング部、Free Climbing Club、ワンダーフォーゲル部、ダンス部、硬式庭球部、ソフトテニス部、体育会サッカー部、ラグビー部、バレーボール部、男女ハンドボール部、硬式野球部、バドミントン部、アメリカンフットボール部、ソフトボール部、ライフル射撃部、柔道部、剣道部、合気道部、空手道部、少林寺拳法部、弓道部、洋弓部、体育会卓球部、体操競技部、武道空手部、バスケットボール部、軟式野球部、フットサル部、ラクロス部

**岡豊キャンパス** 医学部居合道部、医学部合気道部、医学部空手道部、医学部弓道部、医学部剣道部、医学部硬式庭球部、医学部ゴルフ部、医学部サッカー部、医学部蹴球会、医学部柔道部、医学部準硬式野球部、医学部ダイビング部、医学部卓球部、医学部バスケットボール部、医学部バドミントン部、医学部バレーボール部、医学部ヨット部、医学部ラグビー部、医学部ワンダーフォーゲル部、水泳部、陸上競技部、医学部自転車部

## 硬式野球部

硬式野球部は現在選手が34名、マネージャー4名、学生コーチ1名で活動しています。昨年の秋季リーグでは優勝し、全国で勝つことを目標に日々練習に取り組んでいます。また、野球を通しての人間の成長も大切にしています。



## 陸上競技部

陸上競技部では、陸上競技における技術の向上はもちろん、陸上競技を通しての豊かな人間関係の形成を目指しています。また、高知県内における陸上競技の振興活動、陸上競技を通しての地域貢献なども大きな目標として積極的な活動を行っています。



## ワンダーフォーゲル部

私たちワンダーフォーゲル部は春・夏の長期休暇に北に南に日本全国の山・島に旅しています。その他の休日には四国の山々にパーティを組んで登っています。大自然の中、自らの足で渡り歩いています。



## ラクロス部

南川 遥妃 農学部2年  
(和歌山県立桐蔭高校出身)

私たちラクロス部は、夏にある中四国リーグの決勝進出を目標に日々練習に励んでいます。ほとんどの人が大学から始めるスポーツなので、運動神経は問いません。楽しい時もつらい時も仲間とともに汗を流して成長する毎日まさに青春! ぜひ私たちと一緒に充実したキャンパスライフを送りましょう。

大学からは  
新しいスポーツ、  
デビューして  
みませんか?



## 医学部ゴルフ部

高知医科大学設立の頃から続く伝統あるゴルフ部。部員約40名。練習場で週2回の活動のほか、毎週土曜日は黒潮カントリークラブでボール拾い等のお手伝いをする代わりに無料でラウンドさせていただいています。







高知大学のサークル数は100以上！  
このほかに個性的な同好会もたくさんあります。  
詳しい情報は、高知大学のホームページを  
チェックしてみてください！

人とは違う  
学生生活を  
送りたいなら！

## 奇術部 Trick or Treat

道崎 和宏 理学部2年  
(兵庫県立姫路飾西高校出身)

奇術部はマジックやジャグリングをみんなで楽しく練習する部活です。テレビで見たすごいマジックや、ボールやボウリングのピンを器用に操るジャグリングを見たことはありませんか？何とそれが自分でできるようになります。さらに自分でできるようになったマジックやジャグリングを保育園や地域のお祭りなどいろんな場所で披露しています。みんなの驚く顔や喜ぶ顔を見られるのはとても楽しいですよ。



### 文化系サークル

**朝倉キャンパス** 高知大学交響楽団、吹奏楽団、合唱団、ギターマンドリンクラブ、邦楽部、フォークソング部、FOLK FOLK、軽音楽サークルBLUESKY、SEA BREEZE、美術部、表千家不白流茶道部、裏千家茶道部、囲碁将棋部、演劇研究会、天文系サークル星の会、野生生物研究会、ESS、写真部、子ども倶楽部、ニューシネマ☆パラダイス、総合映像研究会、放送研究会JAKKU、園芸部、奇術部Trick or Treat、Hand to hand、文芸創作サークル海老鏡、環境サークルESWIQ、防災すけっと隊

**岡豊キャンパス** アウトドア・HAM・サークル、医学部アジア僻地医療を支援する会、医学部ESS、医学部囲碁・将棋部、医学部映画研究会、ACLS南国、ACT-K、医学部合唱団、小原流華道部、医学部管弦楽団、医学部漢方研究会(うどん部)、医学部軽音楽部、医学部裏千家茶道部、医学部写真部、医学部ジャズ研究会、医学部ダンス部、医学部天文部、パソコンサークルDOS/V、Peer部、医学部美術部、フィールド医学研究会、高知大学Mental Health Care Club、医学部園芸部、地域医療研究会ARMS、医学部まんが研究部、医学部災害医療研究会

### 交響楽団

主な活動として年に1回定期演奏会を行っています。クラシックだけでなく、ポップスなど様々な曲を演奏することができます！また、弦楽器や木管楽器、金管楽器などを体験することができるので、初心者の方も経験者の方もぜひ一度見学に来てください！



### 軽音楽サークルBLUESKY

「BLUESKY」は部員が明るく積極的に音楽を楽しみ、定期的に大学や高知県内のライブハウスを中心に活動しています。部会も毎週行っています！気軽に遊びに来てください！



### 裏千家茶道部

自分磨きをしませんか？私たち裏千家茶道部は、毎週火曜日に外部から茶道の先生をお招きしてお稽古をしています。技術だけではなく大人としての振る舞いや気遣いも身につけることができます。気軽に見学に来てください。



### ギターマンドリンクラブ

マンドリンは、イタリア生まれの明るく、とても可愛い音色を奏でる弦楽器です。普段の活動では、マンドリンのほかにも、ギターやコントラスといった楽器でオーケストラ形式で演奏しています。毎年定期演奏会も開催しています。音楽好きはもちろん、音楽は初めてという方も大歓迎です。



### 合唱団

合唱団団長 彌勒寺 直子  
農学部2年(埼玉県立浦和第一女子高校出身)

私たちはコンクール、定期演奏会を中心に大学公式行事の演奏や訪問演奏など幅広く活動する高知で唯一の大学合唱団です。宗教曲からポップス、流行りの曲など様々な曲を歌っています。初心者も、経験者も、高知大生も、他大学生も一緒になって音楽を楽しんでいます。是非気軽に演奏を聞きに来て下さい！いつでも団員募集中です！



入学式・卒業式にも  
参加しています！



# Asakura 朝倉キャンパス

所在地  
高知市曙町2-5-1

アプリをダウンロードして  
スマホで  
読み込もう

▶詳しくは  
90ページ



## 充実キャンパスでのびのびライフ

### 1. メインストリート

メインストリートにそびえるワシントンヤシは、キャンパスのシンボル。おしゃれなパラソルの下は、勉強にもおしゃれにもぴったりな場所です。



朝倉での移動は  
自転車が一番便利！  
買物も通学もこれ一台！  
ただし、南国の日差しは  
きついので気を付けて



### 2. 高知大学生協 IKUS

朝倉キャンパスの学食にはカフェテリアとベーカリーが併設されています。特に焼き立てパンは種類も多くて大人気！季節ごとのアイデア商品も登場します。



カフェテリア



ベーカリー



書籍コーナー



パソコン購入



コンビニコーナー

ノートパソコンは授業で使うので必須です。生協で購入できますので、お問い合わせください。生協では、サポート修理も受付。安心です。

学生が多く、  
にぎやかなキャンパスです。  
メインストリートのヤシの木が  
南国土佐らしい！



# 3. hocco sweets

ホッコ・スイーツ

特別支援学校に通う生徒の就労支援の場でもある菓子工房「hocco sweets」。キャンパス内で、絶品ロールケーキや本格ドイツ菓子が食べられるのはここだけかも?!



メディアの森は大学の学びには欠かせない場所



# 4. メディアの森

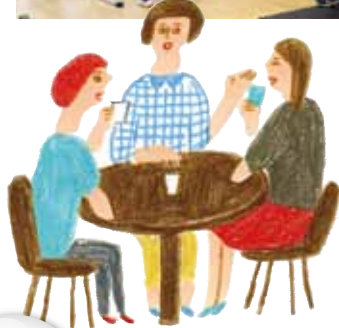
試験前の勉強やレポート作成は「メディアの森」で。

メディアの森とは、朝倉キャンパス学術情報基盤図書館の愛称です。新聞閲覧コーナーやアクティブラーニングフロア、グループ学習室など、様々な環境が整っています。資料や専門書も、もちろん、充実。



# 5. トレーニング室・武道館

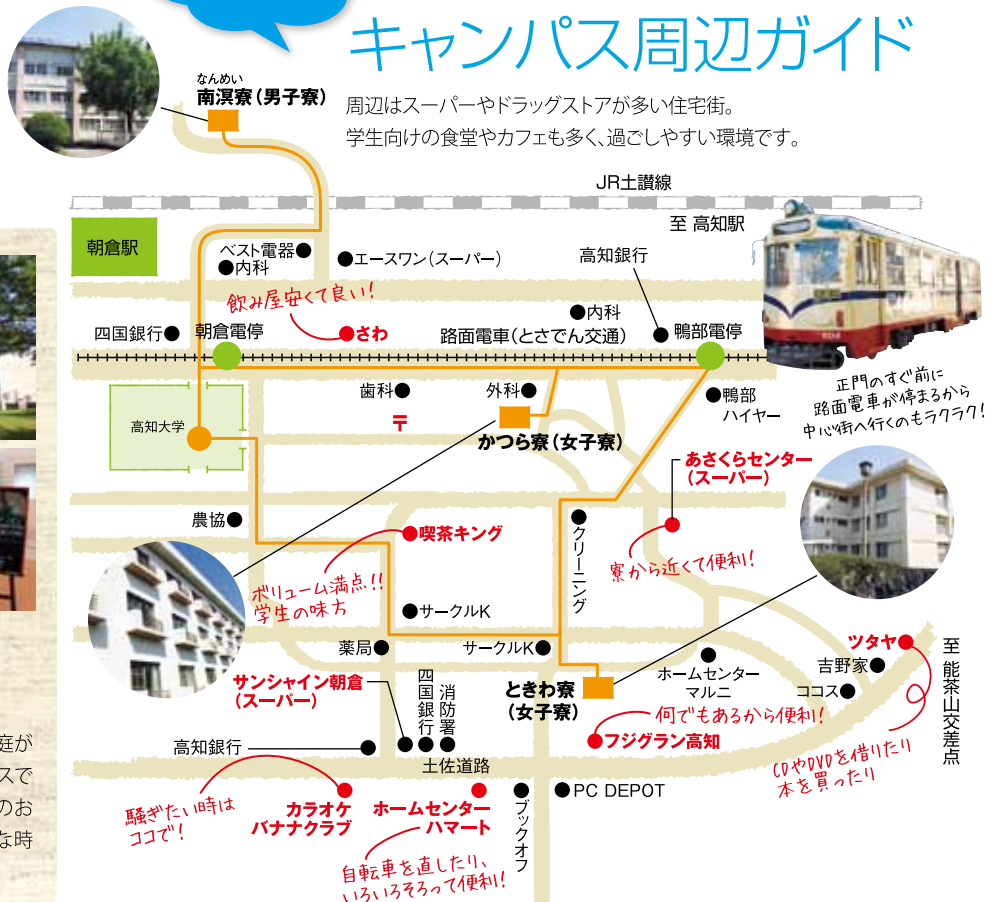
2013年に新設されたトレーニング室と、2014年に完成した武道館。授業でも使用しますが、特にスポーツをしている学生からは、体づくりに役立つと好評です。



学生さんに聞きました!

# キャンパス周辺ガイド

周辺はスーパーやドラッグストアが多い住宅街。学生向けの食堂やカフェも多く、過ごしやすい環境です。



Watching ASAKURA campus



## ほっとステーション

建物の前面にウッドデッキや池のある広い庭があるなど、開放的で明るい空間のフリースペースです。ここちよい風や四季を感じながら、友達とのおしゃべり・ミーティング・ランチ・勉強など自由な時間を過ごしてください。

シンボルツリー「おうちの木」

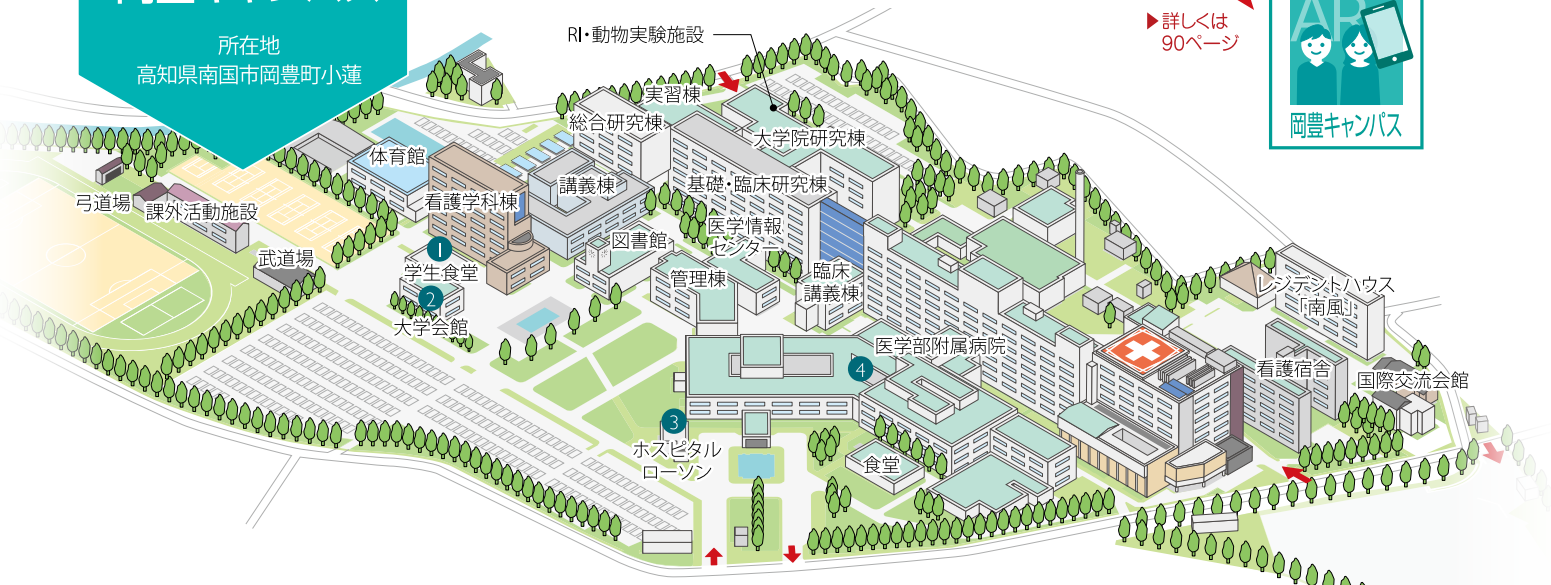
※ 櫛(おうち) = センダン



Oko  
岡豊キャンパス  
所在地  
高知県南国市岡豊町小蓮

アプリをダウンロードして  
スマホで読み込もう

詳しくは  
90ページ



# 医学部生は勉強も遊びも真剣！

キャンパス内にある附属病院には、2014年に屋上ヘリポートを備えた新病棟が完成。救急医療や災害時医療など、地域の期待が大きい病院での実習には自然と身が入ります。



研究施設

## 勉学編

医師や看護師を目指し勉強に励んでいます。テスト期間中は1日中図書館へ。授業がある講義棟では、友達同士で勉強することも。組織実習や看護実習など、実践的な授業が多いのも高知大学医学部の魅力です。



イベント

## 課外活動編

毎年10月に行われる学祭「南風祭」のほか、学部生みんなで盛り上がる体育祭も開催。イベントを通してみんなが仲良くなれます。勉強のストレスも発散できます！





Shop情報



1 学生食堂



2 書店



3 ホスビタルローソン



4 タリーズコーヒー



医学科ロビー



看護学科ロビー

生活編

学食はメニュー豊富でボリュームも満点。さらにリーズナブルなので、一人暮らしにはうれしい味方。キャンパス内には、患者さんのためにつくられたタリーズコーヒーや、ホスビタルローソンもあって便利です!



学生さんに聞きました!

キャンパスに面した川にはかわせみや鴨もいて、散歩すると和みますよ。また、敷地内には附属病院があり一般の方がたくさん来られます

キャンパス周辺ガイド

キャンパス近くには岡豊山があり、春には桜が咲き誇る自然豊かな環境です。学生の生活エリアは、スーパーやコンビニが充実している大津周辺や一宮(御座・薊野)周辺です。1年生で免許を取得し、車で通学する学生も多くいます。

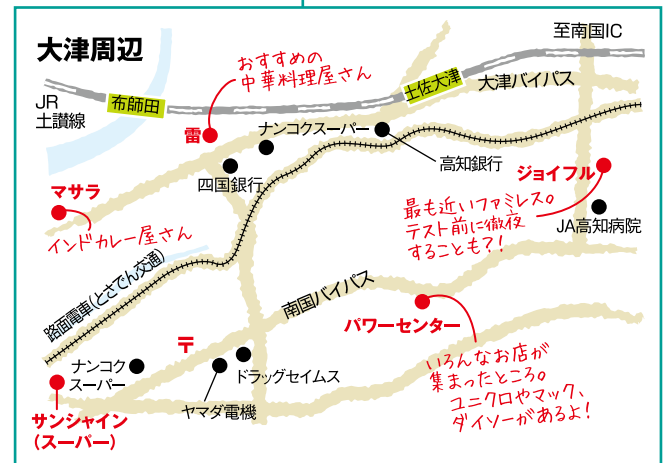
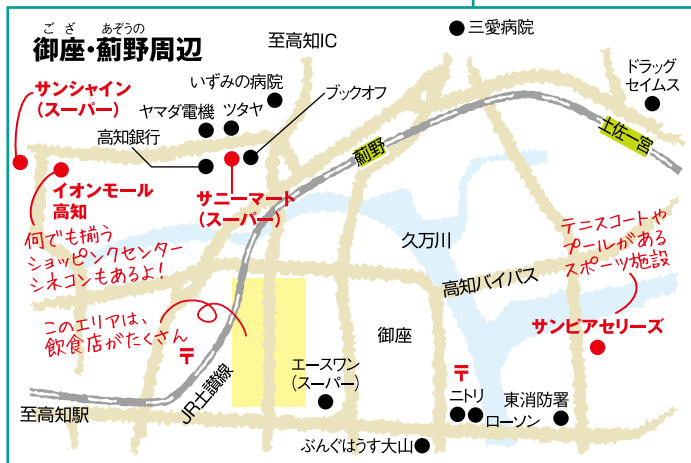
生活エリアは、ほかに南国エリアもあります。

▶ 詳しくは、物部キャンパス78ページ参照

※地図情報は「医学部周辺★地理ガイド」からも一部抜粋しています。



車通学には、大学からの許可証が必要。キャンパスから最短距離で2km以上離れたところに住んでいる学生にしか発行されないで、ご注意ください。





# Monobe 物部キャンパス

所在地  
高知県南国市物部乙200



アプリをダウンロードして  
スマホで  
読み込もう

▶ 詳しくは  
90ページ



## 広大な農場

教室のすぐ前に広がる農場。ここで栽培されたお米や季節の野菜を構内で販売しています。安くておいしいと評判ですよ。

## 周囲に海、山、川。 大自然がキャンパス

## 学習・研究・厚生施設



キャンパス内にある農場には、牛がたくさん。構内に農場がある大学は珍しいと思いますよ！

グラウンドやテニスコート、体育館も申請すれば自由に使える。アクティブな生活が満喫できます！



● 福利厚生施設



研究室



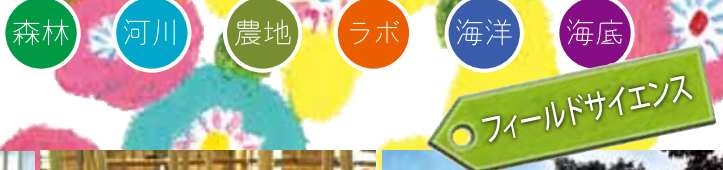
野菜販売





# 高知全体がフィールド

海、山、川に恵まれ、高知全体が農学を学ぶ最高のフィールドといえます。自然に恵まれた高知ならではの楽しい経験ができます。

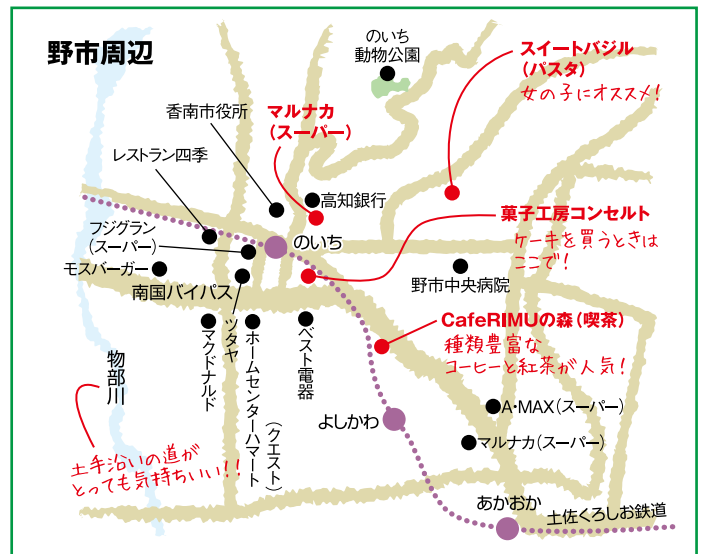


1 キャンパスに隣接する農場は、なんと東京ドーム4個分もの広さ！ 2 農場では田植え体験や、様々な農作物の栽培環境を学ぶ授業などがある 3 土佐あかうしの触れ合いや飼育管理の体験も！ 4 高知県の山は森林率日本一。亜熱帯から亜寒帯までの幅広い植生が特徴だ 5 水質日本一の仁淀川、四万十川、キャンパス横を流れる物部川など流域環境も多様 6 シュノーケリングや釣りを通して海と触れ合う授業や、実習船で水質調査を行う授業も！ 7 海底コア研究の最先端に触れ、太古の地球から未来へと思いを馳せる 8 食や環境、土壌中に見られる様々な微生物を生育させる作業と観察を行う



## キャンパス周辺ガイド

キャンパスから海や川までは歩いて数分、海辺や川原でバーベキューも楽しめます。また空港が近く、飛行機が大空へと飛び立つ迫力の景色も堪能できます！学生の生活エリアはキャンパス周辺のほか、スーパーやコンビニが充実した後免や野市です。



# 入学料・授業料と奨学金制度について

## Entrance fee, Tuition, Scholarship

### 入学料・授業料

高知大学の初年度納付金は、学部・プログラムに関わらず817,800円です。授業料の納付は、第1学期分については、5月中、第2学期分については11月中と決められていますが、経済的理由により入学料または授業料の納付が困難な場合は、入学料・授業料免除及び徴収猶予の制度があります。

▶ 初年度納付金 **817,800円**  
(入学料+授業料)

区分	金額	納入期日
入学料	282,000円	入学手続きの時
授業料	第1学期	267,900円
	第2学期	267,900円
	年額	535,800円

※入学料および授業料について改定が行われた場合は、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

■ 入学料・授業料に関するお問い合わせ先  
財務部経理室出納係 TEL 088-844-8125

### 奨学金制度

学業・人物ともに優秀で、健康であって経済的理由により学資の支弁が困難と認められる学生は、奨学金制度の申請が可能です。奨学金制度としては、日本学生支援機構の奨学金が主なものですが、そのほかに地方公共団体や民間育英団体等の奨学金があります。

#### ▶ 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金には、無利息の第一種奨学金と利息付の第二種奨学金があり、両方を併用することも可能です。貸与月額下表に示した中から選択することができます。また、入学時特別増額貸与奨学金制度も利用できます。

(学部奨学生)

種類	貸与月額		備考
	自宅通学	自宅外通学	
第一種	①30,000円	①30,000円 } 選択 ②45,000円 } できる	無利息
	②51,000円		
第二種	①30,000円	③80,000円 } 選択 ②50,000円 } できる	利息付
	⑤120,000円		
		④100,000円	

#### ▶ 入学時特別増額貸与奨学金制度

初回基本月額に、10万円・20万円・30万円・40万円・50万円の利息付奨学金を増額して貸与する制度です。

この奨学金は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を希望したが、融資を受けられなかった世帯の学生を対象とし、第1学年(編入学生の入学年次を含む)において、希望により第1回目振込み時の月額に10万円・20万円・30万円・40万円・50万円を増額して貸与(利息付)を受けることができます。

#### ▶ 年収・所得の上限額について [家計の基準について]

- 家計支持者(父及び母、又はこれに代わって家計を支えている者)の年収・所得金額(申込の前年1年分)が対象となります。
- 表の「年収・所得の上限額」は平成28年度に奨学生に採用される場合の額です。
- 表の「年収・所得の上限額」はあくまで目安です。世帯の人数・事情により増減します。
- 「給与所得世帯」の上限額は、源泉徴収票の「支払金額(税込)」です。
- 「給与所得以外の世帯」の上限額は、「確定申告書等の所得金額(税込)」です。

### 支援制度

#### 経済的理由による授業料免除及び徴収猶予

新入生で、入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害などの災害を受けたなどの理由により、入学料の納付が困難である学生は、申請により入学料の全額または半額が免除される場合があります。

また、経済的理由によって、授業料の納付が困難で、かつ学業優秀な学生は、申請により授業料の全額または半額の納付が免除される場合があります。

がんばる学生をサポート!

#### 卓越した学業等成績優秀者授業料免除

学業成績が特に優れている学部生・大学院生に対して、各学部、専攻からの推薦により授業料の年額が免除されることがあります。また、大学院生を対象に、授業料年額の4分の1が免除される制度もあります。どちらも推薦時期は、9月を予定しており、各学部・専攻で定めた選考基準により決定されます。

■ 入学料・授業料減免制度に関するお問い合わせ先  
学務部学生支援課(入学料・授業料免除担当) TEL 088-844-8146

#### ▶ 奨学金申込資格

##### 第一種奨学金(無利息)

区分	学力 (1年次に在学する者)	年収・所得の上限額(4人世帯の目安)	
		給与所得世帯	給与所得以外の世帯
国・公立 (自宅通学)	高校2~3年の成績が3.5以上の者	776万円程度	345万円程度

##### 第二種奨学金(利息付)

区分	学力 (1年次に在学する者)	年収・所得の上限額(4人世帯の目安)	
		給与所得世帯	給与所得以外の世帯
国・公立 (自宅通学)	① 高等学校等における成績が平均水準以上の者 ② 特定の分野において、特に優れた資質能力があると認められる者 ③ 学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者	1,120万円程度	688万円程度

■ 奨学金制度に関するお問い合わせ先  
朝倉キャンパス 学生支援課 TEL 088-844-8565  
岡豊キャンパス 学生課 TEL 088-880-2268  
物部キャンパス 物部総務課学務室 TEL 088-864-5113



## 住居・学生寮

アパートやマンションの情報提供は、朝倉キャンパス及び岡豊キャンパスは高知大学生生活協同組合で、物部キャンパスは高知大学生生活協同組合と物部総務課学務室の双方で、それぞれ行っています。賃料は建物の新旧や場所などの条件によって異なります。

### ▶相場の目安

アパート(6畳～8畳 1K・ワンルーム)  
月額:約25,000円～約50,000円

#### 生活費の内訳例

アパートで一人暮らしの場合

##### 収入

仕送り	50,000円
奨学金	50,000円
計	100,000円

##### 支出

住居費	40,000円
食費・光熱費	35,000円
教材費(学費を除く)	2,000円
交通・交際費(携帯電話・インターネット含む)	18,000円
部活動費	3,000円
雑費	2,000円
計	100,000円



■高知大学生生活協同組合 TEL 088-844-1501  
※高知大学生協では、大学生のための物件情報をホームページでご案内しています。  
<http://mycoop.jp/kouchi/sumai>



南浜寮



かつら寮



ときわ寮



日章寮

#### 学生寮情報

寮名	性別(定員)	月額寮費	部屋・その他	大学までの通学時間
南浜寮	男子 (242人)	約20,000円 (食費含む)	2人部屋(洋室) 3食 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約5分
かつら寮	女子 (60人)	約19,000円 (食費含む)	2人部屋(和室) 昼・夕 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約10分
ときわ寮	女子 (82人)	約7,500円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	朝倉キャンパス正門まで 自転車約10分
日章寮	男子 (60人)	約9,000円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	物部キャンパスに隣接

■学生寮に関するお問い合わせ先 学務部学生支援課(学生寮担当) TEL 088-844-8565

## 高知大学だけの奨学金制度

### ▶高知大学地方創生人材育成基金奨学金

高知の将来を考え、高知に根ざし、高知のために真に貢献しようとする学生を対象に奨学金を給付することにより、将来に渡り高知で生計を立て、その発展に貢献する人材の育成に資することを目的とする奨学金(給付)です。

### ▶高知大学医学部岡豊奨学会奨学金制度

医学部に在学する学資の支弁が困難な学生(外国人留学生を除く)に対して奨学金を1年間支給するものです。

### ▶高知大学池知奨学金

農学部農学科森林科学コース及び農林海洋科学部農林資源環境科学科に在学し、将来林業の振興に貢献しようとする学術優秀、志操堅実等であって、学資の支弁が困難で他から奨学金を受けられない学生に対して支給する奨学金です。

### ▶土佐さきがけプログラム奨学事業

土佐さきがけプログラムの学生で、学業成績等一定の基準を満たした者に対し、グリーンサイエンス人材育成コースの修士課程における留学や授業料、国際人材育成コースにおける留学、生命・環境人材育成コースにおける国内及び国際学会への参加、スポーツ人材育成コースにおける各種競技会への遠征等にかかる経費の支援を行います。

### ▶国際交流基金 詳しくは、国際交流ページ(62ページ)をご覧ください。

## 国際交流会館

外国人留学生・研究者専用住居として、平成5年度末に国際交流会館が、岡豊キャンパスと物部キャンパスに設置されました。



岡豊キャンパス



物部キャンパス

## 学生教育研究災害傷害保険制度

この保険制度は、大学に学ぶ学生が教育研究活動中に被った急激かつ偶然な外来の事故または通学中の事故により身体に被った被害を救済する災害補償制度です。学生は、安心して学業に専念できるよう、全員この保険に加入してください。

# 社会への扉を開く

学生の皆さんが実社会に自分の力を発揮できる場を見出し、大きく羽ばたいていけるよう、学生総合支援センターキャリア形成支援ユニットと学務部学生支援課就職室が連携して就職活動をサポートしています。

## きめ細やかな就活サポート 就職室を上手に利用しよう!

### サポート 1

いつでも、どんなことでも、  
専門スタッフが相談に応じます

就活に漠然とした不安を感じる、進路が定まらない、面接の練習がしたい...など何でも気軽に声を掛けてください。スタッフがいつでも相談に応じます。

私たちが全力で  
サポートします!!



### 経験豊富な就職相談員がいるので心強い!

高知大学の就職室にはスタッフ以外にも丁寧に相談に乗ってくれる経験豊富な外部の就職相談員が数多くいます。就職活動は社会状況や雇用状況などの就職環境を知ること、自分自身を知ること、採用する相手先を知ることが基本です。就職相談員は相談以外にも履歴書・応募書類・エントリーシートへの添削や個人面接の練習なども行ってくれます。

また、外部相談員以外にも「ハローワーク高知」の大卒ジョブサポーターが常駐していますし、2~3月は「ジョブカフェこうち」のキャリア・カウンセラーが大学に来てくれます。このように充実した進路・就職相談体制がありますので気軽に相談に来てください。

### ▶ 就職相談員からのメッセージ

「自分」の編集をサポート  
します!

国光 ゆかり 株式会社 南の風社 編集長

編集の仕事は、対象物のいいところを見出して輝かせること。就職活動での自己アピールも、<編集>の視点が活かせます。自分が本来持っているいいところを見つけ出し、整理し、魅力的に表現する...こうした「自分」を編集する作業は、将来の方向性を見つけるヒントになり、他者に自分をアピールする自信にもつながります。



### サポート 2

今すぐ役立つ、  
オリジナルガイドブックを配付!

学部3年生と大学院1年生に、就活支援ガイドブック「Ambition」を配付しています。就活の基本的な流れやそれぞれの段階におけるポイント、書類作成や面接のコツなど役立つ情報が満載で、学生に好評です。



### サポート 3

話題の就活本や、  
過去の「就職試験報告書」が  
閲覧できます!



就職室には、話題の書籍や新聞など最新の就活資料がいっぱい! また、就職試験報告書には先輩たちが受けた企業の採用スケジュールや試験内容、ポイントなどが詳細に記録されており、就活生は必見です!

### サポート 4 インターンシップの窓口として 学生と企業をつなぎます

インターンシップには様々な種類がありますが、就職室では皆さんの自分の目的に合ったインターンシップを果たせるよう、情報提供や事前指導を行っています。

#### インターンシップの種類

- 学部・学科が主体となって開設するインターンシップ授業(単位認定)
- 長期社会協働インターンシップ(CBI) ▶ 詳しくはP8を参照
- 正課外で行うインターンシップ(「企業研修(インターンシップ)」として単位認定)
- 企業が主体となって開設するインターンシップなど

### サポート 5

大学に来た求人情報もPCや携帯から簡単に閲覧!

大学に届いた求人情報は、「高知大学就職ナビ」からいつでも簡単に確認できます。就職セミナーや会社説明会などの開催情報も学内システム(KULAS)で案内しており、携帯に転送設定しておけば大事な情報も逃しません。



# 就活力を高めるプログラム

セミナーやガイダンスを活用しよう!

皆さん、ぜひ積極的に活用してくださいね!

## THINKING

何のための就職活動なのかを学生自身が考え、就職活動の目的、意義を見出すことをテーマとしています。

## ACTION

多彩な対策講座を開講しています。実際に経験し、そこで得た気づきを次の行動に活かせるようサポートしています。

### 就活(進学・就職)ガイダンス

外部から講師を招聘しています。講座に参加して「知る」だけでなく、続く演習で「確認」や「発見」を促します。

#### 平成28年度スケジュール

- 5月 進路の種類とスケジュール・選考方法  
インターンシップガイダンス
- 6月 SPI筆記試験対策
- 11月 ES対策
- 12月 面接対策:理論編
- 2月 就活直前対策:相談会&マナー・エチケット再確認



首都圏での就職対策合宿



学内写真撮影会

### 企業就職ガイダンスセミナー

就活力育成ガイダンスと連動しながら、より実践的な対策を行っていきます。

#### 平成28年度スケジュール

- 4月 PROGテストの解説(大学教育創造センター・学生総合支援センター)
- 5月 「PROGテスト解説会」(大学教育創造センター・学生総合支援センター)
- 6月~7月 第1回自己分析・自己理解セミナー
- 10月~11月 第2回自己分析・自己理解セミナー
- 1月~2月 第3回自己分析・自己理解セミナー
- 11月 ES対策実践編  
就職に必要なマナー・エチケット  
就職に必要な着こなしやメイク
- 12月~1月 就活・ES・面接beginnerシリーズ
- 1月 面接対策:実践編
- 2月 面接対策特訓



面接対策指導

### 教職・公務員ガイダンス

教員採用試験対策、公務員試験対策で実績のある外部講師を招聘し、ガイダンスを行っています。

#### 平成28年度のスケジュール

- 5月 採用試験の概要と対策(教職・公務員)
- 10月 自己理解のススメ(教職)
- 11月 合格者報告・座談会(教職)
- 12月 人物評価の実際(教職・公務員)
- 1月 人物評価対策:実践指導(教職・公務員)  
業界研究セミナー:公務のしごと(公務員)

### 就活イベント

集中形式での面接対策や地元への就職相談会など、多彩な内容のイベントを実施しています。首都圏・関西圏の合同企業説明会へのバスツアーや、プロカメラマンによる写真撮影会は学生に人気です。

#### 平成28年度のスケジュール

- 10月 Uターン就職相談会
- 11月~2月 業界研究セミナー
- 1月 写真撮影会
- 3月 合同企業説明会
- バスツアー  
セカンドキャンパス利用開始

就活生の強い味方!

### 首都圏・関西圏・岡山 バスツアー

「希望する地域や、あこがれの企業の企業説明会に参加したい」「でも遠方の地域へ何度も出向くのは、金銭的にも大変…」そこで、高知大学では就活生とご家族を応援するため、首都圏・関西圏・岡山エリアへの格安バスツアーを催行しています。大学内での就活支援にとどまらない県外の各都市へのバス運行サポートシステムは、多くの就活生から非常に好評です。





# 就職活動

# Q & A

学生たちの就職活動を最も身近で支えている就職室。そのスタッフに高知大学の就職の「今」について聞いてみました。

## 就職室に聞きました

### Q 県外出身者です。高知県以外の地方や都市圏への就職状況はどうなのでしょう？

高知大学は全国から多くの皆さんが入学してきます。入学生の約75%（年により若干変動します）は県外出身者です。そのため就職でも首都圏・関西圏や出身の都道府県への就職希望は多く、毎年、7割以上は県外企業等（大手企業を含め、公務員や教員など）に就職しています。「全国から集まり、全国へと羽ばたく」それが高知大学です。大都市圏・地方圏を問わずOB、OGが活躍していますので、県外への就職も強いのです。

### Q 就活といっても、よくわかりません。大学では就職情報の提供や説明会などは行っているのでしょうか？

高知大学では様々な就職支援を行っている就職室があり、以下のようなサービスを提供しています。①就職等進路に関する相談 ②就職ガイドブックの配布 ③就職支援ガイダンスの実施 ④就職情報検索用のパソコンの設置 ⑤企業の求人票・会社案内の閲覧 ⑥公務員試験問題集などの参考図書や雑誌の閲覧・貸出 ⑦企業説明会の開催などです。1年生でも大歓迎ですのでどしどし利用してください。

### Q 高知大学には学生の就職支援に携わる人はどのくらいいるのでしょうか？

就職室の専門スタッフの他、各学部の就職委員などを含めると50名以上になり、1学年1,000名規模の大学でこの人数はかなり多いと聞きます。ご安心ください。例えば、県外で就活中に悩みや相談したいことが出てきた場合もメール・電話で対応しています。

### Q 高知県外に就職希望です。県外の就活セミナー会場に行くのは交通費など負担が大きくなりそうで心配なのですが…

就活バスツアーをご利用ください。大学主催で東京・大阪・岡山行き的高速バスをチャーターしており格安料金で現地の合同企業説明会に参加できます。このほか、首都圏・関西圏などに就活拠点（セカンドキャンパス）を設けていますので、学生証を提示すれば、施設などを無料で利用できます。

### Q 教員志望です。教員採用試験対策は行われていますか？

高知大学では教育学部以外の学部にも教員志望者がいます。このため教員採用試験対策として外部講師を招いてのガイダンスの開催・採用面接実践指導、合格者による報告会・座談会や教員を目指す学生のための合宿の開催など様々な支援を行っています。

### Q セミナーやイベント以外に、個別のサポートなどはありますか？

要望にできるだけ対応しています。例えば面接やグループディスカッションの練習がしたいという申し出があれば、相談員が面接官役になって練習することも可能です。あなたのやる気や思いを私たちに伝えてください。

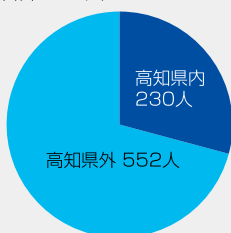
### Q 物部キャンパスでのサポート体制はどうなっていますか？

物部キャンパスでは学務室の中に就職担当があり、セミナーの開催や就職相談を行っています。また朝倉キャンパスで行った全てのガイダンスやセミナーのDVDを物部で視聴できます。

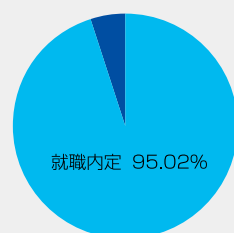
## 就職関連データ

■グラフ1 就職先の県内外比率 (平成26年度卒業生)

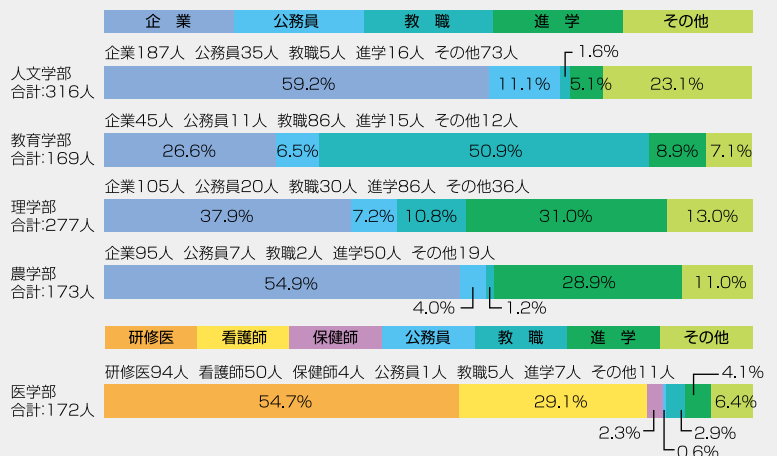
合計:782人



■グラフ2 就職希望者数に対する就職内定者率 (平成26年度卒業生)



■グラフ3 学部別就職状況 (平成26年度卒業生)





# 先輩たちの就活体験 ～就活ふりかえり座談会～



写真左から

**吉元ゆかり** 平成27年度 人文学部卒業  
読売新聞社 内定  
岡山県立岡山城東高校出身

**河部佑介** 平成27年度 教育学部卒業  
山陰合同銀行 内定  
島根県立益田高校出身

**福川恵利香** 平成27年度 理学部卒業  
GMOクラウド株式会社 内定  
山口県立宇部高校出身

**竹村実佐子** 平成27年度 理学部卒業  
四国銀行 内定  
高知県 私立土佐女子高校出身

## Q1 就職室のサポート、どう活用しましたか？

**竹村** 「業界研究セミナー」は、気軽な雰囲気の中で社会人の方から業界や仕事について話を聞くことができ、とても参考になりました。また、就活開始後は頻りに「個別相談」を利用し、履歴書の添削や面接の練習をしてもらいました。相談員の方が、私の心の奥の言葉になっていない思いを引き出してくれて、自分の長所・短所を客観的に見るができるようになりましたね。

**福川** 私は地元・山口県で就職希望でしたが、県外出身者の多い高知大学では都道府県別に求人やインターンシップ情報が入手でき、助かりました。

**竹村** また、過去の先輩方が記録した「就職試験報告書」はとても貴重な資料です。面接内容などが詳しく残されていて、事前対策に活用できました。

## Q2 インターンシップには参加しましたか？

**福川** 私は1年生の春休みに、SBI(人間関係形成インターンシップ)に参加しました。これは高知大学独自の取り組みで、学生数人が3週間、協働先の企業でインターンをするものです。私は老舗ホテルで基本業務体験の他、宿泊客向けの観光パンフレットの作成などに取り組みました。この時、おもてなしの視点を学ばせてもらい、ものの見方が変わりました。その後、2、3年生では地元企業数社のイ

ンターンシップにも参加しました。

**吉元** 私は小さい頃からの夢である新聞記者を目指し、新聞社のインターンシップに積極的に参加しました。特にいい経験となったのは3年生の夏休みに行った高知新聞社での2ヶ月間の記者体験です。期間中、記事数本と長い取材記事1本が採用され、紙面に掲載されました。厳しかったけれど、仕事だけでなく先輩記者たちの抱く思いに触れることができ、社会人としての将来像を描くことができました。他にも、内定先の読売新聞社で4回、地元・岡山の新聞社で1回、インターンシップに参加しています。

## Q3 就活ではどういう点をアピールしましたか？

**河部** 僕はゼミで、地域のいろんな世代の方が楽しめる新しいスポーツを考案し一緒に交流するという活動を通して、地域に貢献する喜びを知りました。また所属していたサッカー部では多くの部員がいる中で、レギュラーになることがすべてではなく、後輩指導など自分ができる役割を考え実行することに価値を見出し、モチベーションを上げていました。その二つを自分の学んだこととして面接で話しましたね。

**吉元** 面接官の記憶に残れるよう、自分しかやっていないだろうという経験を探して話しました。2ヶ月間のインターンシップでの記者体験もその

一つです。また、夏には大学チームでよさこい祭りに参加したこと、冬には室戸貫歩という大学イベントで80キロの道のりを24時間以上かけて歩き通したことなど、幅広く密度の濃い大学生活を送ってきたことを自己PRしました。

## Q4 高知大学で学んでよかったことは何ですか？

**竹村** 理学部の実習では、四国山地など自然の中に入って地域や環境の問題を自分の目で見て考えることができました。そこで体験した課題解決のプロセスは、社会に出ても役立つと思います。

**河部** 僕は、自分の可能性を限定しないこと。広い視野を持って動くことが大事だと、ここで学ばせてもらいました。

**福川** 就職活動が始まる前の1、2年生から、高知大学には社会に触れる機会がたくさんあります。就職室主催のガイダンスや様々な種類のインターンシップ、またアルバイトも含めて早い段階から社会を体験できたからこそ、自分の進むべき道が見つかったと思っています。

**吉元** 就活も大学生活も、ルールはありません。やるかやらないか迷ったら、「やる」ことを選ぼうと心がけてきました。面白いこと、興味を惹かれることには事欠かない場所であったように思います。

※内定先企業名等はすべてインタビュー時のものです。

New Goal

## 新たな目標を聞きました！

就職後もサッカーを続け、仕事だけでなくスポーツでも地域を元気にしたいですね

“雑草魂”をモットーに、いつまでも理想を忘れない大人でありたいです！

幅広い世代の方と触れ合いながら、地域の問題にも向き合っていきたいです

大学時代は人の話を聞くことが多かったので、今後は自分の思いも発信していきます！



# 入試データ Data

## 平成28年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試					AO入試					推薦入試													
			前期日程					後期日程					AO入試Ⅰ			AO入試Ⅱ		推薦入試Ⅰ			推薦入試Ⅱ					
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)					
人文社会科学部	人文科学コース	94	59	252	216	78	2.8	5	91	38	10	3.8						30	90	30						
	国際社会コース	83	38	70	62	46	1.3	10	165	56	15	3.7						A選抜	20	40	22					
																		B選抜	15	31	16					
	社会科学コース	98	A選抜	55	101	96	60	1.6																		
	小計	275	157	446	396	190	2.1	20	458	176	33	5.3	8	25	9			90	204	93						
教育学部	幼児教育コース		6	29	24	6	4.0															4	13	5		
	教育科学コース																									
	教科教育コース		52	348	321	69	4.7	5	172	69	8	8.6						8	24	8	21	52	21			
	特別支援教育コース																		4	5	4					
	音楽教育コース		2	3	3	3	1.0												3	2	2					
	美術教育コース		2	0	0	0	0.0												3	2	1					
	保健体育コース		6	18	17	6	2.8												6	16	6					
	小計	130	68	398	365	84	4.3	5	172	69	8	8.6		8	5	3			24	49	21	25	65	26		
理学部	理学科・応用理学科	240	数学受験	36	149	141	48	2.9										数学受験	13	35	13					
			理科受験	100	363	342	118	2.9	26	86	85	36	2.4					理科受験	45	89	45					
			情報受験	9	24	21	13	1.6										情報受験	9	11	9					
小計	240	145	536	504	179	2.8	26	86	85	36	2.4						67	135	67							
医学部	医学科	110	65	291	231	65	3.6						30	202	30						15	70	15			
	看護学科	60	25	61	58	25	2.3	10	139	45	10	4.5						25	73	25						
	小計	170	90	352	289	90	3.2	10	139	45	10	4.5	30	202	30			25	73	25	15	70	15			
農林海洋科学部	農林資源環境科学科		50	63	52	42	1.2	12	71	24	19	1.3									2	3	2	4	12	5
	暖地農学主専攻領域																									
	自然環境学主専攻領域												3	15	3							3	7	5		
	森林科学主専攻領域																									
	森林科学主専攻領域(一般推薦)																						5	5	3	
	森林科学主専攻領域(専門推薦)																						1	0	0	
	生産環境管理主専攻領域																		4	10	5	4	5	4		
	農芸化学科	45	35	99	84	37	2.3	5	67	22	7	3.1										5	6	3		
	海洋資源科学科												7	37	13	10	1.3									
	海洋生物生産学コース		18	61	54	20	2.7																6	29	8	
海洋生物生産学コース(一般推薦)																							2	1	0	
海洋生物生産学コース(専門推薦)																							5	5	5	
海底資源環境学コース		9	14	10	10	1.0																	4	8	4	
海洋生命科学コース		14	89	85	17	5.0																				
小計	200	126	326	285	126	2.3	24	175	59	36	1.6	3	15	3				8	19	10	39	78	37			
学部協働	地域協働学科	60	35	86	78	40	2.0						15	75	16				10	31	10					
	小計	60	35	86	78	40	2.0						15	75	16				10	31	10					
土佐さきがけプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース	(5)													(5)	1	1									
	国際人材育成コース	(10)											(10)	22	10											
	生命・環境人材育成コース	(10)													(10)	9	6									
	小計	(25)											(10)	22	10	(15)	10	7								
合計	1,075	621	2,144	1,917	709	2.7	85	1,030	434	123	3.5	56	339	68	8	15	10	224	511	226	79	213	78			

- □ は募集なし
- 農林海洋科学部農林資源環境科学科では、欠員補充第2次募集を実施。志願者=140名、合格者2名
- 社会人入試は志願者なし
- 私費外国人留学生の選抜は、志願者=39名、合格者=13名
- 実質倍率=受験者数/合格者数
- 医学部医学科(前期日程)の受験者数は、第1段階選抜実施後の数
- 入学定員及び募集人員の合計には「土佐さきがけプログラム」の数は含まない

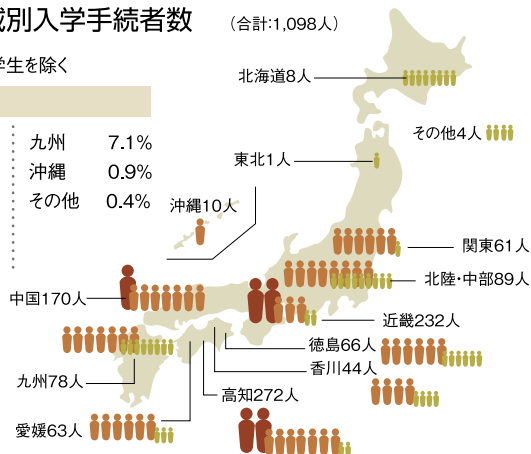
### 平成28年度の地域別入学手続者数

(合計:1,098人)

地域別入学手続者数\*私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道 0.7%	中国 15.5%	九州 7.1%
東北 0.1%	徳島 6.0%	沖縄 0.9%
関東 5.6%	香川 4.0%	その他 0.4%
北陸・中部 8.1%	愛媛 5.7%	
近畿 21.1%	高知 24.8%	





# 平成27年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試										AO入試						推薦入試										
			前期日程					後期日程					AO入試Ⅰ			AO入試Ⅱ			推薦入試Ⅰ			推薦入試Ⅱ							
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)					
人文学部	人間文化学科	94	59	145	126	74	1.7	5	46	20	5	4.0									30	82	30						
	国際社会コミュニケーション学科	83	38	84	72	44	1.6	10	98	27	21	1.3									A選抜	20	55	23					
	社会経済学科	A選抜	55	178	163	58	2.8	5	43	19	8	2.4	8	40	10							25	55	25					
		B選抜	5	57	49	5	9.8																						
	小計	275	157	464	410	181	2.3	20	187	66	34	1.9	8	40	10						90	214	93						
教育学部	幼児教育コース	130	6	48	44	8	5.5																	4	9	4			
	教育科学コース																												
	教科教育コース		52	184	163	81	2.0	5	107	29	7	4.1										8	10	3	21	41	21		
	特別支援教育コース																												
	音楽教育コース		2	2	2	1	2.0																4	2	1				
	美術教育コース		2	0	0	0	0.0																3	1	0				
	保健体育コース		6	80	75	6	12.5																6	15	7				
	科学技術教育コース														8	4	4												
	小計	130	68	314	284	96	3.0	5	107	29	7	4.1				8	4	4			24	31	12	25	50	25			
理学部	理学科・応用理学科	270	数学受験	40	95	93	50	1.9													15	35	16						
			理科受験	113	350	335	130	2.6	30	302	301	41	7.3									50	102	52					
			情報受験	10	42	38	15	2.5														10	20	11					
	小計	270	163	487	466	195	2.4	30	302	301	41	7.3									75	157	79						
医学部	医学科	110	65	431	241	66	3.7						30	208	30									15	69	15			
	看護学科	60	30	94	87	30	2.9	10	88	23	10	2.3									20	65	21						
	小計	170	95	525	328	96	3.4	10	88	23	10	2.3	30	208	30						20	65	21	15	69	15			
農学部	農学科	暖地農学コース	170																					一般	4	9	3		
		海洋生物生産学コース																							専門	2	1	0	
		食料科学コース																							一般	6	22	8	
		生命化学コース																							一般	2	3	2	
		自然環境学コース																								一般	4	20	4
		流域環境工学コース																								一般	2	14	3
		森林科学コース																								一般	2	6	2
		国際支援学コース																								一般	7	7	6
	小計	170	98	358	317	111	2.9	20	225	82	29	2.8									5	13	5	一般	7	7	6		
地域協働	地域協働学科	60	35	170	153	40	3.8						15	30	16						10	23	12						
	小計	60	35	170	153	40	3.8						15	30	16						10	23	12						
土佐さきがけプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース	(5)												(5)	2	1													
	国際人材育成コース	(10)											(10)	12	10														
	生命・環境人材育成コース	(10)												(10)	14	6													
	小計	(25)											(10)	12	10	(15)	16	7											
	合計	1,075	616	2,318	1,958	719	2.7	85	909	501	121	4.1	53	290	66	8	20	11			226	509	224	85	220	80			

- □ は募集なし
- 社会人入試は志願者なし
- 私費外国人留学生の選抜は、志願者=30名、合格者=9名
- 実質倍率=受験者数/合格者数
- 医学部医学科(前期日程)の受験者数は、第1段階選抜実施後の数
- 入学定員及び募集人員の合計には「土佐さきがけプログラム」の数含まない

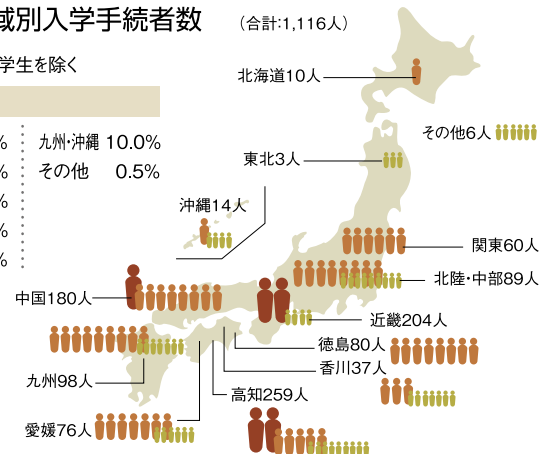
## 平成27年度の地域別入学手続き者数

(合計:1,116人)

地域別入学手続き者数 \*私費留学生を除く

地域別入学手続き者割合

北海道 0.9%	中国 16.1%	九州・沖縄 10.0%
東北 0.3%	徳島 7.2%	その他 0.5%
関東 5.4%	香川 3.3%	
北陸・中部 8.0%	愛媛 6.8%	
近畿 18.3%	高知 23.2%	



## ■合格者の最低得点率・平均得点率（一般入試）

### 平成28年度

	学部	学科・課程等		選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点	
					最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点	
前期日程	人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		90.8%	67.6%	75.7%	83.8%	68.8%	72.3%	800	
			国際社会コース		85.1%	63.1%	74.9%	76.6%	62.5%	68.2%	700	
		社会科学コース	A選抜	70.6%	56.6%	64.8%	72.8%	60.8%	65.5%	1,200		
	教育学部	教育科学、教科教育、特別支援教育			72.0%	56.8%	63.2%	74.7%	63.2%	65.5%	1,150	
	理学部	理学科・応用理学科		数学受験コース		69.0%	52.4%	61.0%	69.5%	58.0%	63.3%	1,300
				理科受験コース		73.2%	47.8%	61.8%	74.4%	59.7%	63.2%	1,300
				情報受験コース		61.5%	48.4%	54.5%	68.8%	54.7%	59.8%	1,300
	医学部	医学科		90.7%	80.2%	85.4%	84.2%	76.5%	78.6%	1,790		
		看護学科		76.5%	65.3%	70.2%	78.5%	68.9%	71.8%	790		
	農林海洋科学部	農林資源環境科学科			76.7%	49.5%	61.2%	77.5%	52.1%	63.7%	800	
		農芸化学科			70.8%	60.3%	64.1%	71.4%	63.5%	66.2%	700	
		海洋資源科学科	海洋生物生産学コース		76.0%	66.8%	70.0%	76.5%	68.2%	70.4%	900	
			海底資源環境学コース		66.5%	34.5%	53.4%	68.7%	28.3%	51.4%	1,400	
海洋生命科学コース				74.5%	58.5%	66.8%	74.6%	63.4%	67.5%	1,300		
地域協働学部	地域協働学科			86.2%	59.3%	68.8%	78.1%	64.5%	68.9%	900		
後期日程	学部	学科・課程等		選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点	
					最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点	
	人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		86.0%	71.8%	76.4%	83.5%	73.4%	76.9%	700	
			国際社会コース		83.8%	71.3%	77.5%	84.0%	75.2%	77.6%	700	
	理学部	理学科・応用理学科			86.5%	56.7%	70.0%	86.5%	56.7%	70.0%	800	
	医学部	看護学科			78.1%	67.3%	71.6%	77.7%	71.0%	73.4%	790	
	農林海洋科学部	農林資源環境科学科			80.4%	51.2%	62.1%	80.3%	57.9%	66.2%	900	
海洋資源科学科			74.6%	52.0%	60.5%	74.3%	54.9%	61.8%	800			

### 平成27年度

	学部	学科・課程等		選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点	
					最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点	
前期日程	人文学部	人間文化学科			86.7%	68.2%	76.7%	82.5%	63.0%	69.5%	800	
		国際社会コミュニケーション学科			85.0%	70.2%	74.9%	79.2%	69.7%	72.3%	700	
		社会経済学科		A選抜	80.1%	57.6%	65.7%	72.4%	60.9%	63.9%	1,200	
	教育学部	学校教育教員養成課程			75.1%	57.5%	63.8%	77.2%	62.7%	66.4%	1,150	
	理学部	理学科・応用理学科		数学受験コース		75.9%	51.6%	61.0%	72.8%	51.9%	57.4%	1,300
				理科受験コース		82.1%	55.3%	62.8%	78.7%	60.5%	64.8%	1,300
				情報受験コース		60.5%	52.5%	56.4%	66.3%	58.1%	61.5%	1,300
	医学部	医学科		92.3%	82.3%	85.5%	84.3%	76.3%	79.0%	1,790		
		看護学科		79.9%	66.6%	70.4%	81.4%	69.2%	72.0%	790		
農学部	農学科			75.1%	61.1%	65.8%	75.6%	65.6%	67.7%	800		
地域協働学部	地域協働学科			73.4%	47.9%	61.9%	78.1%	65.9%	69.7%	1,100		
後期日程	学部	学科・課程等		選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点	
					最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点	
	人文学部	国際社会コミュニケーション学科			84.0%	57.5%	72.5%	81.4%	66.1%	74.1%	700	
	理学部	理学科・応用理学科			83.5%	73.1%	76.8%	83.5%	73.1%	76.8%	800	
	医学部	看護学科			71.5%	61.2%	66.7%	69.0%	65.6%	67.4%	790	
農学部	農学科			80.2%	66.7%	72.0%	79.6%	66.3%	71.4%	800		

注:1 追加合格者は含んでいません。 注:2 合格者が10人未満の学科等については公表しません。



# 2011~2016年度入学者出身校一覧 ※学校名は入学時の名称

## ■北海道

千歳、北見北斗、釧路江南、釧路湖陵、札幌国際情報、札幌福雲、札幌南、小樽湖陵、旭川西、札幌西、函館、函館ラサール、北広島、静内、遺愛女子、室蘭美、札幌第一、岩見沢東、札幌新川、クラーク記念国際、札幌清田、札幌藻岩、旭川東、苫小牧工業高等専門学校、北星学園余市、旭川北、中標津、北嶺、土上楓、立命館慶祥

## ■青森

弘前中央、五所川原、三本木、青森山田

## ■岩手

前沢、福岡

## ■宮城

古川、泉、仙台三春、泉館山、東北学院、仙台向山

## ■秋田

秋田

## ■山形

鶴岡東、長井、山形西、基督教独立学園

## ■福島

磐城、富岡、福島東

## ■茨城

勝田、水戸桜ノ牧、水戸第二、並木、牛久、竹園、牛久栄進、竜ヶ崎第一、茨城キリスト教学園、江戸川学園取手、土浦第一、清真学園、常総学院、水戸第一、古河第三、藤代、鹿島学園、土浦日本大学、土浦第二、緑岡、茨城

## ■栃木

佐野東、小水、烏山、宇都宮、宇都宮女子、真岡、足利南、石橋、足利女子、鹿沼、大田原、那須高原海城、真岡女子

## ■群馬

高崎、富岡、太田女子、中之条、沼田、前橋(県立)、勢多農林、藤岡中央、桐生女子、東京農業大学第二

## ■埼玉

春日部、松山、西武学園文理、城北埼玉、川越東、熊谷、自由の森学園、春日部共栄、浦和学院、川越南、聖望学園、宋北、和光国際、藤、浦和明の星女子、獨協埼玉、武南、東京農業大学第三、本庄、城西女子付属川越、浦和第一女子、開智、川越、浦和(県立)、越谷北、大宮開成、川口北、熊谷女子、大妻嵐山

## ■千葉

市原中央、麗澤、習志野、佐原、東邦大学付属東邦、千葉(県立)、秀明八千代、君津、成田国際、渋谷教育学園幕張、敬愛大学八日市場、千葉敬愛、銚子(市立)、長生、幕張総合、東葛飾、日本大学習志野、流山おおたかの森、柏日体、木更津総合、佐原白船、船橋東、千葉英和、昭和学院秀英、千葉東、成田、専修大学松戸、木更津

## ■東京

聖学院、巢鴨、科学技術、八王子東、海城、東京大教育学部附属、筑波大学附属駒場、桜蔭、豊島岡女子学園、武蔵(私立)、鴎友学園女子、成蹊、お茶の水女子大学附属、富士、日野台、大泉、日本大学第三、東洋女子、三鷹(都立)、駒澤大学、成城、広尾学園、一橋、関東第一、八木、芝、西、東京学芸大学附属、駒場東邦、京華、田園調布、東京農業大学第一、城北(私立)、聖徳学園、筑波大学附属、青山、八王子学園八王子、東京、東大和南、安田学園、開成、日本放送協会学園、世田谷学園、砂川、多摩大学附属聖ヶ丘、小松川、早稲田、国分寺、吉祥女子、桐朋女子、自由学園高等科、麻布、光塩女子学院高等科、日比谷、錦城、町田、小川、武蔵(都立)、佼成学園、文京学院大学女子、暁星、駒場、成文学園、東京工業高等専門学校、三鷹、目黒(都立)、小金井北、府中、日本大学第二、都文館、東京工業大学附属科学技術、国際、立教女学院、戸山

## ■神奈川

川和、桐蔭学園、生田、逗子開成、湘南、聖光学院、横浜雙葉、横須賀(県立)、横須賀明光、横浜隼人、山手学院、鎌倉学園、横浜翠嵐、湘南学園、柏陽、大和、追分、東、横浜平沼、平塚江南、高木学園女子、湘南白百合学園、菅、横須賀大津、横浜緑ヶ丘、厚木、鶴岡、戸塚、川崎(県立)、日本大学緑蔭

## ■新潟

新潟明訓、新潟、北越、新潟江南、東京学館新潟、新潟第一、新潟南、新潟西、巻、長岡

## ■富山

高岡西、高岡南、高岡、八尾、片山学園、魚津、呉羽、富山東、氷見

## ■石川

金沢西、大聖寺、金沢錦丘、小松明峰、鹿西、金沢泉丘、金沢桜丘、星埜、金沢、小松大谷、小松、金沢学院東、金沢二水、飯田

## ■福井

高志、若狭、羽水、勝山、武生、北陸、美方、武生東

## ■山梨

富士河口湖、吉田、甲府第一、山梨梨和、韮崎

## ■長野

松本嬢ヶ崎、松本深志、上田西、飯田風越、木曾青峰、豊科、文化学園長野、須坂、松本美須ヶヶ丘、長野(県立)、伊那北、東海大学付属第三、飯田、松本県ヶ丘、中野西、長野吉田、長野西、岡谷南、佐久長聖、上田、諏訪二葉、諏訪清陵

## ■岐阜

瑞浪、大垣養老、大垣北、多治見、多治見北、大垣南、大垣東、中津、岐山、恵那、岐阜農林、可児、麗澤瑞浪、岐阜、斐太、益田清風、加茂、海津明誠、長良、加納、岐阜北、各務原西、多治見西、鶯谷、中京

## ■静岡

庵原、浜松市立、掛川西、浜松南、伊東、清水東、沼津東、韮山、静岡雙葉、静岡市立、常葉学園菊川、袋井、加藤学園秀秀、殿殿学園、静岡北、沼津西、浜松北、浜松西、清水西、掛川工業、浜松湖東、藤枝順心、藤枝東、藤原、富士東、富士宮西、静岡県西遠女子学園、富士、磐田北、浜松湖南、静岡東、藤枝明誠、三島北、静岡城北、下田、島田、伊豆中央、富士市立、浜松日体、掛川東、聖隷クリスミア、清流館、静岡学園、浜名、静岡、吉原、焼津中央、浜松学芸、磐田南、三島南

## ■愛知

名古屋、岡崎西、小坂井、緑、横須賀、南山、豊川、新川、昭和、知立東、名古屋大教育学部附属、東海、愛知産業大学三河、滝、春日丘、刈谷北、松蔭、津島、松平、成草、西尾東、五条、小牧南、聖霊、天白、大同大学大同、春日井南、吉良、岡崎東、豊田、熱田、国府、中部大学第一、瑞穂、鳴海、向陽、刈谷、豊橋南、知立、豊田西、長久手、東邦、半田東、東里、豊田南、名東、西尾、星城、愛知淑徳、春日井東、旭丘、一宮、桜丘、高蔵寺、愛知、丹羽、海陽、中京大学附属中京、津島東、愛知教育大学附属、岡崎城西、美和、半田、岡崎北、千種、中村、鶴城丘、大府、豊野、碧南、愛知工業大学名電、清林館、豊田北、一宮南、中央、旭野、藤ノ花女子、一宮西、名古屋西、名城大学附属、東郷、日進西、豊明、岡崎、桜花学園

## ■三重

津東、亀山、神戸、皇学館、津西、伊勢、名張西、上野、院、宇治山田、桑名、木本、津、尾鷲、ウィッツ青山学園、三重、四日市西、高田、川越、鈴鹿

## ■滋賀

河瀬、水口東、草津東、虎姫、東大津、膳所、彦根東、光泉、米原、安曇川、石山、ECC学園、近江兄弟社

## ■京都

菟道、峰山、園部、福知山、山城、北桑田、西舞鶴、京都文教、洛星、嵯峨野、福知山成美、紫野、東宇治、洛西、日吉ヶ丘、洛北、向陽、西城陽、網野、鳥羽、城南菱創、東舞鶴、龍岡、須知、京都女子、堀川、桂、洛南、京都成章、龍岡大学付属平安、東山、宮津、京都産業大学附属、京都教育大学附属、大谷、海洋、桃山、西京、京都橋、南陽、立命館

## ■大阪

四天王寺、八尾、浪速、興國、清教学園、夕陽丘、泉陽、三島、大阪桐蔭、大阪晴光、桃山学院、初芝富田林、大阪星光学院、北野、清風、住吉、大阪教育大学附属天王寺、豊中、大阪市立、大阪青凌、東、三國丘、布施、大手前、岸和田、山田、鳳、追手門学院、追手門学院大手前、大阪国際大和田、明星、開明、金剛千里、大阪教育大学附属平野、生野、池田、東海大学付属仰星、YMCA学園、千里、今宮、天王寺学園、箕面、桜宮、大阪学芸、四天王寺曳丘、堺山学院泉ヶ丘、河南、大阪信愛学園、堺、春日丘、東住吉、清風南海、八尾翠翔、和泉、関西大倉、高津、北千里、清水谷、近畿大学泉州、槻の木、都島工業、向陽台、関西大学第一、寝屋川、関西創価、港、高槻、大阪商業大学堺、茨木、四條畷、淀川工科、佐野、プール学院、香里丘、大阪信愛女学院、泉北、近畿大学附属、大谷、賢明学院、常翔啓光学園、上宮太子、上宮、枚方、大阪学芸、天王寺、常翔学園、豊島、初芝立命館、大阪

## 商業大学

## ■兵庫

琴丘、三木、相生、篠山鳳鳴、姫路、龍野、西宮北、川西緑台、伊川谷北、御影、北須磨、三田祥雲館、姫路飾西、愛徳学園、神戸星城、香寺、東洋大学附属姫路、姫路南、洲本、明石北、須磨東、北摂三田、姫路商業、伊丹(市立)、洲本実業、宝塚北、暮合、明石、神戸学院大学附属、神戸高塚、明石清水、灘、須磨学園、出石、東播磨、近畿大学附属豊岡、西脇、姫路東、淳心学院、加古川東、親和女子、長田、津名、舞子、滝川第二、星陵、明石南、武庫荘総合、小野、三田学園、兵庫県立大学附属、三木北、兵庫、明石西、社、雲雀丘学園、福崎、滝川、神戸商業、西宮(市立)、明石城西、柳学園、伊川谷、播磨南、三田西陵、柏原、報徳学園、尼崎(県立)、白陵、加古川西、西宮(県立)、豊岡、八鹿、神戸鈴蘭台、淡路三原、神戸、赤穂、農業、須磨翔風、有馬、神戸山手女子、夢野台、網干、六甲、姫路西、山崎、佐用、甲陽学院、尼崎福岡、国際、神戸龍谷、西宮今津、姫路工業、芦屋(県立)、高砂南、伊丹(県立)、須磨友が丘、尼崎北、加古川北、神戸国際、甲南、鳴尾、川西北陵、伊丹北、六甲アイトランド、賢明女子学院、明石商業、上野小田、神戸甲北、北条、仁川学院、和田山、上郡

## ■奈良

高田、奈良育英、天理、桜井、育英西、聖心学園、一条、帝塚山、奈良、智辯学園、平城、高田商業、奈良女子大学附属、奈良学園、生駒、青柳、西大和学園、奈良北、敬務、智辯学園奈良カレッジ高等部、登美ヶ丘、五條、奈良学園登美ヶ丘、樺原、天理敬教学園、香芝

## ■和歌山

耐久、田辺、串本古座、伊都、近畿大学附属和歌山、開智、向陽、橋本、日高、海南、桐蔭、和歌山信愛、星林、初芝橋本、和歌山北、智辯学園和歌山、近畿大学附属新宮、新宮、神島

## ■鳥取

鳥取東、鳥取中央育英、八頭、米子松蔭、倉吉西、倉吉東、鳥取西、境、鳥取城北、倉吉北、米子西、米子東、米子、鳥取工業

## ■島根

松江北、安来、松江南、大社、益田、松江東、出雲西、開星、浜田、島根中央、平田、大田、出雲、隠岐、飯南、隠岐島前、江津、松江西、石見智翠館、三刀屋、大東、矢上

## ■岡山

岡山大安寺、明誠学院、勝山、岡山県美作、津山東、井原、笠岡、倉敷古城池、岡山一宮、総社南、津山、林野、西大寺、玉島(県立)、総社、倉敷南、高梁、倉敷天城、津山商業、倉敷鷺羽、瀬戸、岡山芳泉、新見、岡山城東、就実、山陽女子、岡山県作陽、邑久、岡山操山、岡山理科大学附属、玉野光南、岡山工業、朝日塾、岡山白陵、倉敷青陵、金光学園、岡山学芸館、岡山東商業、倉敷中央、関西、玉野、岡山朝日、笠岡商業、備前線陽、和気開谷、倉敷翠松、岡山南、岡山後楽館、創志学園、大掛、おがやま山陽、興譲館、岡山大安寺

## ■広島

大門、尾道北、福山、舟入、祇園北、福山明玉台、三原、広島商業(県立)、尾道東、廿日市、広島皆実、油木、府中、如水館、呉青山、山陽、広島国泰寺、神辺広、広島国際学院、広島大学附属、ノートルダム清心、安芸南、安田女子、盈進、武田、福山院の星女子、安芸府中、広島城北、安古市、福山誠之館、銀河学院、世羅、美鈴が丘、基町、西条農業、安佐北、広島観音、五日市、海田、広島井口、兵、賀茂、比治山女子、広島文教女子大学附属、広島、広島大学附属福山、修道、近畿大学附属広島(東広島校)、広島学院、庄原格致、広島なぎさ、沼田、広島工業大学、戸手、広島県瀬戸内、御調、広島女学院、近畿大学附属広島(福山校)、呉三津田、三次、西、高陽、広陵、広、因島、AICJ、尾道商業、崇徳、福山葦陽

## ■山口

徳山、宇部フロンティア大学付属香川、小野田、豊浦、下関西、岩国、新南陽、下松、厚狹、柳井、光防府、野田学園、宇部、下関南、山口、青嶽、萩、高水、サビエル、大津、長府、下関、早稲、華陵、大津緑洋

## ■徳島

脇町、城北、阿波、富岡西、徳島北、辻、鳴門、城東、城南、徳島商業、池田、徳島市立、海部、名西、

富岡東、小島島、徳島文理、城ノ内、川島、徳島科学技術、阿波西、新野、鳴門渦潮、那賀

## ■香川

高松商業、三木、小豆島、高松西、坂出、観音寺第一、高松第一、高松桜井、高松工業、高松東、坂出第一、尽誠学園、三本松、坂出商業、香川県大手前、高松、丸亀、英明、普通寺第一、坂出工業、高瀬、香川誠陵、高松北、土庄、香川県大手前高松、観音寺中央、高松中央、丸亀城西、香川中央、高松南

## ■愛媛

宇和島東、川之江、伊予、今治北、南宇和、新居浜西、清美、松山東、新居浜東、野村、川之石、松山中央、大洲、八幡浜、今治西、松山商業、西条、三島、松山南、今治東、松山北、宇和、西条農業、小松、三瓶、愛媛大学附属、宇和島南、小田、東温、愛光、帝京富士、松山西、新居浜商業、松山工業、三崎、上浮穴、聖力タリナ女子、新田、松山聖陵、今治明徳、清美平成、今治南、新田青雲、丹原

## ■高知

高知北、高知西、土佐塾、土佐女子、中村、高知小津、清美学芸、高知追手前、高岡、室戸、岡豊、安芸、山田、高知南、須崎、土佐、明徳義塾、高知、宿毛、佐川、高知丸の内、高知商業、高知東工業、高知工業、高知東、中芸、春野、橋原、高知工業高等専門学校、幡多農業、清和女子、嶺北、清水、四万十、高知農業、伊野商業、大方、高知江の口養護、宿毛工業、窪川

## ■福岡

新宮、香住丘、小倉東、大牟田、小倉南、柏陵、門司大翔館、京都、福岡中央、京像、中間、嘉穂東、東筑、筑紫学園、久留米女子大附設、福岡雙葉、北筑、福岡大学附属大濠、山門、近畿大学附属福岡、春日、久留米信愛女学院、城南、八幡、筑紫北、川口、東福岡、久留米、筑紫台、三池、明治学園、門司学園、福岡、戸畑、八女学院、自由ヶ丘、輝翔館、九州国際大学付属、上智福岡、常盤、敬愛、修猷館、明善、小郡、福岡女学院、筑紫丘、東海大学付属第五、八幡南、福岡工業大学附属城東、小倉、育徳館、西南女子学院、嘉穂、精華女子、伝習館、毅手、糸島、福岡、筑前

## ■佐賀

東明館、佐賀西、武雄、佐賀清和、伊万里、唐津東、鳥栖、唐津西、致遠館、小城、佐賀北、白石、弘学院、佐賀商業、鹿島

## ■長崎

佐世保南、佐世保商業、長崎北陽台、長崎日本大学、長崎南山、猶興館、口加、五島、諫早、佐世保中央、佐世保北、川棚、西陵、長崎東、長崎南、島原翔南、吾岐、精道三川台、対馬、上五島、海星、佐世保西、純心女子、長崎北、大村、島原

## ■熊本

鹿本、玉名、球磨商業、清々巖、天草、御船、熊本西、八代、東後、熊本工業、第一、人吉、熊本信愛女学院、第二、熊本学園大学付属、熊本、大津、熊本北、水俣、氷川、真和、熊本農業、宇土

## ■大分

大分舞鶴、佐伯鶴城、大分雄城台、安心院、国東、臼杵、大分豊府、別府鶴見丘、竹田、中津南、宇佐、高田、日田、中津北、大分、森、明豊、大分、大分鶴崎、大分商業、杵築、大分南、藤蔭

## ■宮崎

宮崎南、日向学院、富島、高千穂、高鍋、日向、宮崎商業、宮崎大宮、小林、延岡星雲、都城泉ヶ丘、宮崎西、延岡、日南振徳、藤野、日南学園、佐土原、宮崎第一、宮崎北、延岡商業、妻、都城西、五ヶ瀬、宮崎学園、聖心ウルスラ学園、日南、高崎日本大学

## ■鹿児島

武岡台、鹿児島実業、屋久島、屋久島おおぞら、鹿屋中央、国分、大島、鳳凰、出水、川内、鹿児島、加治木、川辺、伊集院、池田学園池田、鹿児島、大川、鹿児島第一、ラサール、鹿児島玉穂、錦江湾、鹿児島情報、加世田、古仁屋、神村学園高等部、志布志、種子島、鹿児島中央、鶴丸、樟南、尚志館、甲南、指宿、松陽、出水中央

## ■沖縄

北山、八重山、読谷、浦添商業、首里、那覇、開邦、コガネ、浦添、向陽、宜野座、那覇国際、石川、名護、普天間、沖繩尚学、糸満、宮古、昭和薬科大学附属、興南、球陽、ヒューマンキャンパス、知念、与勝

# 入試 Q&A

## Q 高知大学の推薦入試について教えてください。

高知大学など国立大学の推薦入試(以下、AO入試も同じ)は「公募制」です。私立大学に見られる「指定校制」とは全く異なるため、出願資格(評定〇以上など)を満たしていれば全国各地の高校からも受験可能です。そのため、概して志望倍率は高めで、当日の試験の出来によって合否が決まると言っても過言ではありません。入試科目は面接や作文、あるいは教科試験や口頭試問が課される学部学科もありますので、事前に学生募集要項などで必ずお確かめください。

## Q 高知大学の合格偏差値はどれくらいですか？

難しい質問ですね。というのも、偏差値などの入試難易度は大手予備校等が独自の方法で算出しているため、大学側に質問されても全く分からないのが正直なところ。高校の先生に聞いたり、受験情報誌で調べてみてください。

## Q 高知大学(国立大学)と私立大学の違いを教えてください。

国立大学は学費等の条件がどこもほぼ同じなので、「高知大学と私立大学」ではなく、「国立大学と私立大学」との違い、でお答えします。国立大学は、私立大学と比べて①学費(授業料等)が安いこと、②教員一人あたりの学生数が少ないという特徴があります。

①学費(授業料など)は年間535,800円で、一般に私立大学文系学部の約半分、同系系学部の3分の1程度とされています。国立大学の学費は、学部学科に関係なく同じ額なので医学部ではもっと違いが出ることもあります。

②大学の授業は1~2年次では大人数の教室などで一斉に受講しますが、高学年になると研究室(ゼミナール)に配属され、専門性を身につけます。国立大学の多くで、いち研究室あたりの指導学生数は5人前後と言われています。教員一人あたりの学生数が少ない=教員と学生の距離が近く、一人ひとりの学生に対してきめ細かく指導できると言えるでしょう。

## インターネット出願サイト

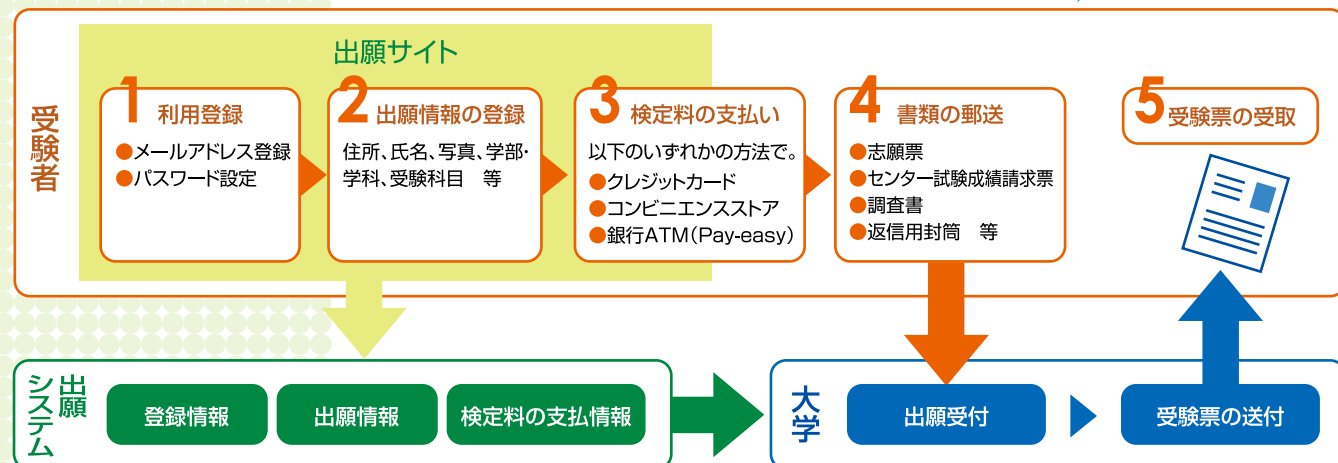
# ネット出願、できます!!

## 便利! ネット出願のメリット

- 紙の願書は取り寄せ不要
- 記入漏れ防止のチェック機能つき
- 24時間、出願データの送信が可能
- 検定料はクレジットカードやコンビニエンスストア、銀行ATM(Pay-easy)での支払いが可能
- 検定料の支払手数料が無料
- 本人写真のプリントが不要
- 願書の受付状況がインターネットで確認できる

※平成29年度入試は、インターネットを利用しない従来通りの出願もできます。

四国の5国立大学(高知大学、徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学)共通の出願サイトです。あらかじめ住所・氏名等を登録しておけば、出願時の再入力が必要となり、5大学への出願がスムーズに行えます。





# オープンキャンパス

高校生の皆さんに大学を様々な角度から体験してもらえるオープンキャンパス。  
高知大学では、教員はもちろん学生生活の先輩である大学生たち自身も参加して、充実した内容の説明会や体験型イベントを行っています。あなたもぜひ、高知大学を感じに来てください。



	8月6日(土)	8月7日(日)	
		午前	午後
朝倉 キャンパス	10:00~15:00 人文社会科学部 理工学部(仮称) 地域協働学部 土佐さきがけプログラム	朝倉 キャンパス	10:00~15:00 教育学部、地域協働学部
		岡豊 キャンパス	9:45~12:00 医学部看護学科 13:00~16:30 医学部医学科
		物部 キャンパス	9:00~15:00 農林海洋科学部 土佐さきがけプログラム(生命・環境)



## プログラム

各学科/コース紹介、入試相談、模擬授業、ミニゼミ、キャンパスツアー  
在学生の体験談/質問コーナーなど

※プログラムによっては事前予約が必要なものがあります。  
申込み方法等については大学HPをご覧ください。

[お問い合わせ先] 入試課

**☎ 088-844-8766** FAX 088-844-8147

高知大学入試情報サイト

<http://www.kochi-u.ac.jp/nyusi/index.html>

## 学生募集要項の請求方法

### 1 高知大学ホームページから資料請求する

<http://www.kochi-u.ac.jp/>

または

▶ 入試情報

▶ 学生募集要項の公表および請求方法

### 2 テレメールで資料請求する

 <http://telemail.jp/>

パソコン・携帯電話各社とも共通アドレスです。



## お問い合わせ先

- 入試情報サイト。入試に関する様々なデータや最新情報を提供しています!

<http://www.kochi-u.ac.jp/nyusi/index.html>

- 携帯電話からのアクセスはこちらから。メールマガジンも配信中!

<http://daigaku.jc.jp/kochi-u/>

### キャンパスライフ

に関するお問い合わせ先

学務部学生支援課

TEL 088-844-8149

E-mail [gs03@kochi-u.ac.jp](mailto:gs03@kochi-u.ac.jp)

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

### 入学者選抜

に関するお問い合わせ先

学務部入試課

TEL 088-844-8153

E-mail [nys-web@kochi-u.ac.jp](mailto:nys-web@kochi-u.ac.jp)

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

## LINEで情報配信中! @kochi-univ.adm

高知大学アドミッションセンターのLINE@アカウントができました。オープンキャンパス情報や、入試情報などを配信していくので、ぜひ「友だち」登録してご活用ください。


### 【登録方法】

LINEアプリから右のQRコードを読み取るか、「友だちをIDで検索」より「@kochi-univ.adm」を検索してください。



## スマートフォン用アプリ 「高知大学AR」ができました!

### 1. 大学案内の中から、マーカーを探そう

 このマークが添えられている「マーカー」を探してください。

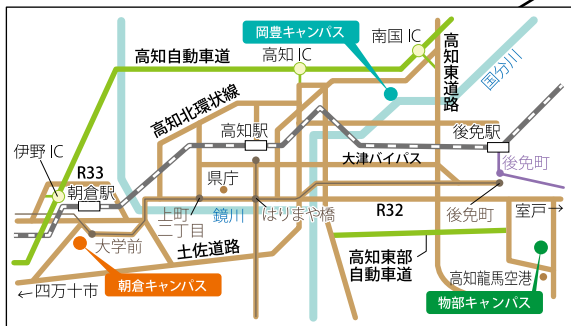
### 2. ARカメラを起動して、マーカーにかざしてみよう

先輩からのメッセージや大学構内、周辺の様子が動画でご覧になれます。またこのアプリは、ARカメラ以外にもラジオや広報誌等の情報にもアクセスできます。ダウンロードは無料ですので、ぜひご利用ください!!



アプリストアで「高知大学」と検索!





[キャンパス間の所要時間]



**■ 朝倉キャンパス: 人文社会科学部・教育学部・理工学部(仮称)・地域協働学部・土佐さきかけプログラム 高知市曙町2-5-1**

朝倉キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約45分  
空港連絡バスで約35分[「はりまや橋」か、約40分[JR高知駅]  
下車後、バス、路面電車又はJR土讃線へ乗換え
- 高知駅から 車で約20分又はバスで約25分  
路面電車で約30分、「朝倉(高知大学前)」下車  
JR土讃線約15分、「朝倉駅」下車、徒歩3分
- 高知インターチェンジから 車で約30分
- 伊野インターチェンジから 車で約5分

**■ 岡豊キャンパス: 医学部 南国市岡豊町小蓮**

岡豊キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約20分
- 高知駅から 車で約20分  
バスで約30分  
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約10分
- 高知インターチェンジから 車で約10分

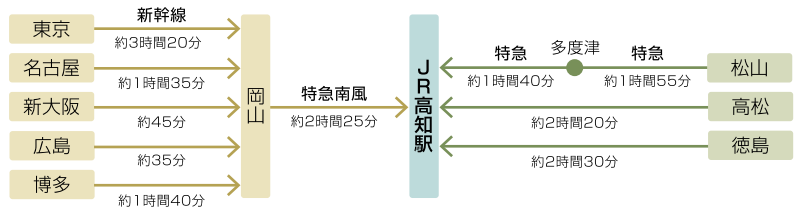
**■ 物部キャンパス: 農林海洋科学部・土佐さきかけプログラム生命・環境人材育成コース 南国市物部乙200**

物部キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

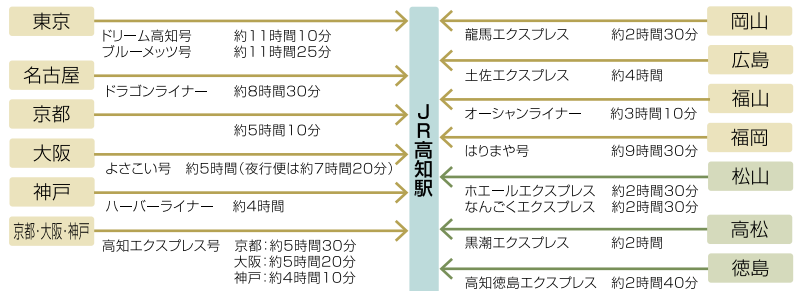
- 高知龍馬空港から 徒歩約15分  
車で約30分
- 高知駅から 空港連絡バスで約30分、「高知龍馬空港」下車、徒歩約15分  
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約20分
- 後免駅から 車で約15分

高知県までの交通アクセス

▶ JR ※乗換時間は含みません



▶ 高速バス



▶ 車



▶ 飛行機



高知大学案内

発行日 2016年6月 / 発行 高知大学総務課  
〒780-8520 高知市曙町2-5-1 TEL 088-844-8643 E-mail kh13@kochi-u.ac.jp